セットアップ編

このマニュアルは、以下の製品に対応しています。

C5510 MFP

◯このマニュアルには、MFPを安全に使用していただくための注意事項が書かれています。MFPをご使用になる前に、必ず本マニュアルをお読みください。
◯本マニュアルをMFPのそばに置いて、ご使用ください。

安全にお使いいただくために

本製品を安全に使用していただくために、ご使用前に必ずユーザーズマニュアル（本書）をお読みください。

安全上の注意表示

⚠警告 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があることを示しています。

⚠注意 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性があることを示しています。

一般的な注意

⚠警告	
	MFP内部の安全スイッチに触れないでください。 高電圧が発生し感電のおそれがあります。また、ギヤが回転するのでケガのおそれがあります。
	MFPの近くで強燃性スプレーを使用しないでください。 MFP内部には高温になる部分があるので火災のおそれがあります。
	カバーが異常に熱くなったり、煙が出たり、変なにおいがしたり、異常な音がする場合は、電源プラグをコンセントから抜いてお客様相談センターへ連絡してください。 火災のおそれがあります。
	水などの液体がMFP内部に入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いてお客様相談センターへ連絡してください。 火災のおそれがあります。
	クリップなどの異物をMFP内部に落とした場合は、電源プラグをコンセントから抜いて異物を取り出してください。 感電、火災、ケガのおそれがあります。
	ユーザーズマニュアルに指示している以外の操作や分解は行わないでください。 感電、火災、ケガのおそれがあります。

⚠警告

	MFPを落下させたり、カバーを傷つけた場合は、電源プラグをコンセントから抜いてお客様相談センターへ連絡してください。 感電、火災、ケガのおそれがあります。
	電源コード、USBケーブル、アース線は、ユーザーズマニュアルで指示されている以外の接続は行わないでください。 火災のおそれがあります。
	通気口に物を差し込まないでください。 感電、火災、ケガのおそれがあります。
	水の入ったコップなどをMFPの上にのせないでください。 感電、火災のおそれがあります。
	プリンタ部のカバーを開けたときは、定着器ユニットに触れないでください。 やけどのおそれがあります。
	トナーカートリッジ、イメージドラムカートリッジを火の中に投じないでください。粉じん爆発によりやけどのおそれがあります。
	UPS（無停電電源）を使用した場合の動作は保証していません。無停電電源は使用しないでください。 火災のおそれがあります。

⚠注意

	電源投入時および印刷中は、用紙の排出部に近づかないでください。 ケガをするおそれがあります。

マニュアルの構成

本製品には、次の説明書とCD-ROMマニュアルが付属しています。

設置ガイド

C5510MFPを設置する流れを説明した簡単なガイドです。

ユーザーズマニュアル(セットアップ編)…本書

必ずお読みください。
MFPの設置からドライバのインストールまでの手順、操作パネルの表示、基本的な印刷、消耗品の交換などが記載されています。

ユーザーズマニュアルCD-ROM(応用編、セットアップ編)

カラー調整などの各種ユーティリティ、拡大印刷や製本印刷などさまざまな機能の使い方を説明しています。ユーザーズマニュアルCD-ROMの内容(187ページ)をご覧ください。
セットアップ編(本書)もPDF形式で収納されています。

クイックガイド

用紙の設定、操作パネルのメッセージ、紙づまりの対処方法が記載されています。専用袋に入れ、MFPに貼り付けてご使用ください。

本書の見方

表　記

本書では、次のように表記している場合があります。

- Microsoft® Windows Server™ 2003 operating system 日本語版 → Windows Server 2003
- Microsoft® Windows® XP operating system 日本語版 → WindowsXP
- Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system 日本語版 → WindowsMe
- Microsoft® Windows® 98 operating system 日本語版 → Windows98
- Microsoft® Windows® 2000 operating system 日本語版 → Windows2000
- Microsoft® Windows NT® operating system Version4.0日本語版 → WindowsNT4.0
- Windows Server 2003、WindowsXP、WindowsMe、Windows98、Windows2000、WindowsNT4.0の総称→Windows

マーク

MFPを正しく動作させるための注意や制限です。
誤った操作をしないため、必ずお読みください。

MFPを使用するときに知っておくと便利なことや参考になることです。
お読みになることをお勧めします。

諸注意

紙幣、有価証券などのスキャン・コピー・印刷について

紙幣、有価証券などをMFPでスキャン・コピー・印刷すると、その印刷物の使用如何に拘わらず、法律に違反し、罰せられます。

関連法律　刑法　第148条、第149条、第162条
通貨及証券模造取締法　第1条、第2条　等

電波障害防止について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

高調波規制について

この装置は、「JIS C 61000-3-2適合品」です。

本製品を日本国外へ持ち出す場合の注意

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様のため、修理・保守サービスおよび技術サポートなどの対応は、日本国外ではお受けできませんのでご了承ください。また、日本国外ではその国の法律または規制により、本製品を使用できないことがあります。このような国では、本製品を運用した結果罰せられることがありますが、当社といたしましては一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

ACアダプタおよびACコードについて

本製品に同梱されているACアダプタ, ACコードおよびAC分岐コードを本製品以外の電気機器に使用しないでください。
また、本製品同梱されているもの以外のACアダプタ, ACコード, AC分岐コードを使用しないでください。

商標について

OKIは沖電気工業株式会社の登録商標です。
Microsoft、Windows、Windows NTは、米国Microsoft Corporationの米国及び、その他の国における登録商標または商標です。
その他各社名、製品名は各社の登録商標または商品名です。

本書について

1. 本書の内容の一部または全部を無断で転載することは固くお断りします。
2. 本書の内容に関して、将来予告なしに変更することがあります。
3. 本書の内容については万全を期して作成致しましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなど、お気付きの点がありましたらお買い求めの販売店にご連絡ください。
4. 本書の内容に関して、運用上の影響につきましては3項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

マニュアルの版権について

使用許諾契約

以下に記載されているものは、お客様がMFPのパッケージ内の製品をご使用になる前に同意して頂いたソフトウェア使用許諾契約書の内容です。

お客様へのお願い

MFPのパッケージ内の製品をご使用になる前に、この本契約書を必ずお読み下さい。お客様がこのパッケージ内の製品をご使用された場合には、本契約に同意いただいたものとみなします。
もし、本契約書の条項を承認いただけない場合には、速やかにお客様が購入された販売店に返却して下さい。

株式会社沖データ(以下「沖データ」といいます)は、お客様に対し下記条項に基づきこのパッケージに収納されているソフトウェア(ただし、Adobe Readerは除くものとし、以下「本ソフトウェア」といいます。)を非独占的に使用する権利を許諾します。沖データは本ソフトウェアをお客様に使用許諾する権利を有しております。

1. 使用範囲
お客様は、本ソフトウェアに対応する沖データMFPを所有する場合に限り、当該MFPに直接またはネットワークを通じて接続される複数のコンピュータにプログラムをインストールして、本ソフトウェアを使用することができます。また、お客様は、バックアップの目的として本ソフトウェアを1部複製することができます。

2. 財産権および義務
(1)本ソフトウェアおよびその複製物の著作権、版権、所有権は沖データまたは沖データのライセンサーにあります。本ソフトウェアの構成、編成、コードは沖データ及び沖データのライセンサーの業務上の重要な機密事項及び機密情報にあたります。本ソフトウェアは米国及び日本国の著作権法ならびに国際条約及びその使用される国において適用される法律の保護を受けており、書籍その他の著作物と同じに扱われなければなりません。
(2)第1条に定めた複製を除いて、本ソフトウェアの一部または全部の複製、貸与、レンタル、リース、譲渡、使用許諾することはできません。
(3)お客様は本ソフトウェアを、修正、改変、翻訳、リバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブルしないことに同意します。
(4)お客様は本ソフトウェアのファイル名を変更しないことに同意します。
(5)お客様には本契約で認められた権利を除き、本ソフトウェアに関するいかなる権利も付与されません。

3. 期間
(1)お客様への本ソフトウェアの使用許諾は、本契約が解除されるまで有効です。
(2)お客様は、本ソフトウェアおよびその複製物を全て破棄および消去することにより、本契約を解除することができます。
(3)お客様が本契約の条件に違反した場合には、沖データは、お客様に対してライセンス契約の解除を行うことがあります。この様な解除が行われた場合には、お客様は本ソフトウェアおよびその複製物の全てを破棄および消去し、本ソフトウェアの使用を中止するものとします。

4. 保証
(1)沖データ及び沖データのライセンサーは、本ソフトウェアに関して、以下のことを含む一切の保証をするものではありません。
・本ソフトウェアを使用する事によってお客様の要望する性能または結果が得られること。
・本ソフトウェアに瑕疵がないこと。
・第三者の権利を侵害していないこと。
・特定の目的に適合していること。
(2)本ソフトウェアは、予告なく改良、変更することがあります。

5. 責任の限定
沖データ及び沖データのライセンサーは、本ソフトウェアによって生じる、いかなる直接的、間接的、派生的な損害、損失に対しても、沖データがたとえそのような損害の発生の可能性について知らされていたとしても、また、それらの損害についての請求が不法行為(過失を含むがこれに限定されない)に基づくものであれ、その他の如何なる法律上の根拠に基づくものであれ、お客様に対して一切責任を負わないものとします。また、本ソフトウェアまたは本ソフトウェアに関連して生じた、第三者からなされるいかなる請求についても、沖データ及び沖データのライセンサーはお客様に対して一切責任を負担しないものとします。

6. 準拠法
   本ソフトウェアについての使用許諾契約に関しては、契約の成立も含め日本法を準拠法とします。

7. 契約の有効性
   本契約の一部が無効で法的拘束力がないとされた場合には、本契約の他の部分の有効性には影響を与えず、他の部分は有効かつ法的拘束力をもつものとします。

8. 輸出管理
   本ソフトウェアは、米国および日本国の輸出管理法、その他の関連法令・規則で禁止されている国へは輸出されないものとし、またかかる法令・規則で禁止されている態様で使用されないものとします。 お客様は、適切な米国 及び日本政府の輸出許可を得ずに本ソフトウェアや本ソフトウェアから作られた製品を輸出、再輸出しないことに同意します。もし、お客様がこの条項に違反された場合、自動的にこの契約は解除されるものとします。

9. 完全な合意
   お客様は、本契約を読んでこれを理解したこと、および本契約がお客様に対する本ソフトウェアのライセンスについて沖データとお客様との間の事前の口頭、書面またはその他の通信手段による一切の合意に優先するお客様と沖データとの間の完全かつ唯一の合意であることを確認します。また本契約に基づくお客様の義務は、本契約に基づいてライセンスされる権利の保有者すべてに対する義務を構成するものとします。

10. Notice to U.S. Government End Users（米国政府機関のエンドユーザへの注意）
   All Software provided to the U.S. Government pursuant to solicitations issued on or after December 1, 1995 is provided with the commercial license rights and restrictions described elsewhere herein. All Software provided to the U.S. Government pursuant to solicitations issued prior to December 1, 1995 is provided with "Restricted Rights" as provided for in FAR, 48 CFR 52.227-14 (JUNE 1987) or DFAR, 48 CFR 252.227-7013 (OCT 1988), as applicable.
   本条項中で使用される"Software"とは、本契約中で定義される本ソフトウェアを指すものとします。

＊＊＊＊＊

なお、本ソフトウェアには、個別に使用許諾契約を有するものが含まれている場合がありますが、個別の使用許諾契約に同意された場合には、そのソフトウェアに関してはそれぞれの個別の使用許諾契約が優先されるものとします。

※Adobe Reader の使用について
Adobe Readerは沖データがアドビシステムズ社との契約に基づきお客様に配布するものです。お客様はAdobe Readerに含まれているエンドユーザー使用許諾契約書に同意することにより、アドビシステムズ社からAdobe Readerの使用を許諾されることになります。

目　次

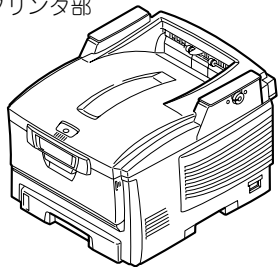
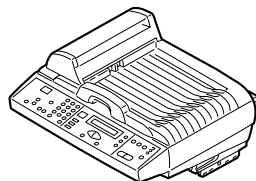
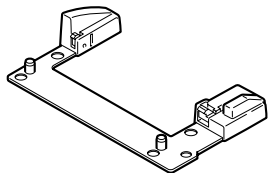
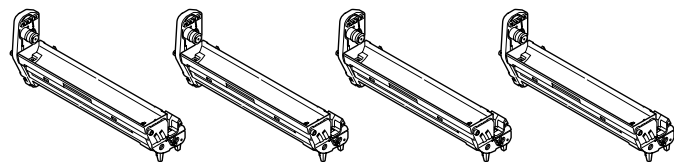
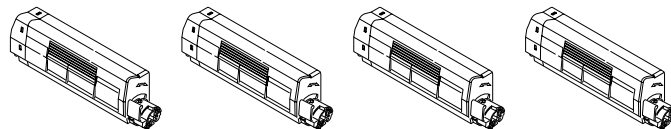
1 MFPを設置します

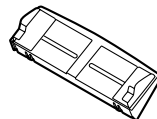
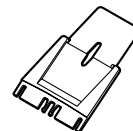
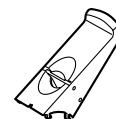
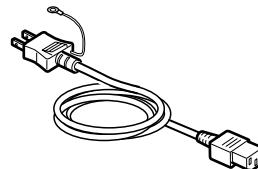
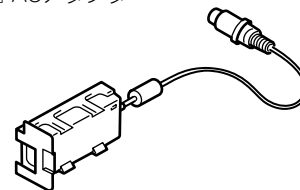
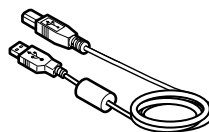
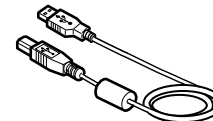
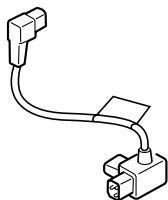
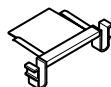
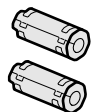
製品の確認

製品が揃っていることを確認してください。

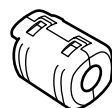
⚠注意 ケガをするおそれがあります。

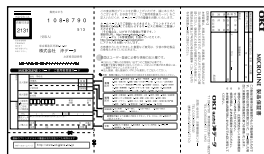
プリンタ部は重量が約26Kgありますので、2人以上で持ち上げてください。

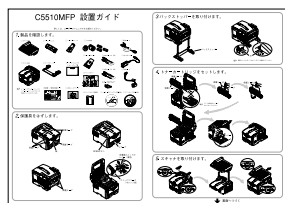
□ プリンタ部

□ スキャナ部
□ バックストッパー

□ ケーブルクランプ
□ イメージドラムカートリッジ
（シアン、マゼンタ、イエロー、ブラック各1個ずつ）

□ スタータトナーカートリッジ
（シアン、マゼンタ、イエロー、ブラック各1個ずつ）

注 スタータトナーカートリッジをイメージドラムカートリッジに取り付けた状態で、プリンタ内部にセットされています。

□ ペーパトレイ

□ ペーパサポート
□ ペーパストッパ
□ 電源コード

□ ACアダプタ
□ USBケーブル（長）

□ USBケーブル（短）

☐ AC分岐コード

☐ ADF分離パッド(スペア)

☐ コア(5個)

（黒・細）

（白・細）

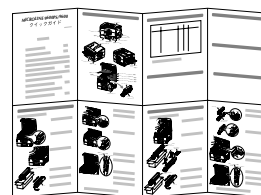
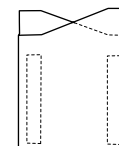
（黒）

（白・大）

☐ 保証書・ご愛用者登録カード

☐ ソフトウェア使用許諾契約書

☐ 設置ガイド

☐ ユーザーズマニュアル
（セットアップ編）（本書）

☐ ユーザーズマニュアルCD-ROM

☐ MFPソフトウェアCD-ROM

☐ クイックガイド

☐ クイックガイド専用袋

- 梱包箱、緩衝材は製品を輸送するときに使います。捨てずに保管してください。
- 本製品に同梱されているACアダプタ, ACコードおよびAC分岐コードを本製品以外の電気機器に使用しないでください。また、本製品同梱されているもの以外のACアダプタ, ACコード, AC分岐コードを使用しないでください。

設置条件

動作環境

- 次の温度、湿度を満足する場所に設置してください。
  周囲温度　　：　10～32°C
  周囲湿度　　：　20～80%RH（相対湿度）
  最大湿球温度　：　25℃
- 結露しないように注意してください。
- 周囲湿度が30%以下の場所に設置する場合は、加湿器または静電気防止マットなどを使用してください。

設置に関する注意

⚠警告

- 高温や火気の近くには設置しないでください。
- 化学反応を起こすような場所（実験室など）には設置しないでください。
- アルコール、シンナーなどの引火性溶液の近くには設置しないでください。
- 小さなお子さまの手の届く所には設置しないでください。
- 不安定な場所（ぐらついた台や傾いた所など）には設置しないでください。
- 湿気やほこりの多い場所、直射日光の当たる場所には設置しないでください。
- 潮風、腐食性ガスの環境には設置しないでください。
- 振動が多い場所には設置しないでください。
- バックストッパーを取り付けて設置してください。
  バックストッパーを取り付けないで使用すると、装置が転倒し、ケガをする恐れがあります。

⚠注意

- プリンタ部の通気口をふさぐような場所には設置しないでください。
- 毛足の長いジュータンやカーペットの上には直接設置しないでください。
- 密室などの通気性、換気性の悪い場所には設置しないでください。
- 強い磁界やノイズの発生源から離して設置してください。
- モニタやテレビから離して設置してください。
- MFPを移動するときは、スキャナ部とプリンタ部を分離して移動してください。スキャナー部を持って移動させないでください。
- このMFPのプリンタ部は重量が約26kgありますので、2人以上で持ち上げてください。

設置スペース

- MFPの足が乗る大きさの平らな机の上に置いてください。
- MFPの周りに十分なスペースを取ってください。

平面図

側面図

各部の名称

〈プリンタ部〉

トップカバー

操作パネル

手差しガイド

マルチパーパストレイ
（MPトレイ手差し）

用紙サポータ

通気口

OPENボタン

フロントカバー

用紙カセット（トレイ1）

フェイスアップ
スタッカ

通気口

電源スイッチ

電源コネクタ

LEDヘッド（4ヶ所）

排出ローラ

定着器ユニット

スタータトナーカートリッジ
(C シアン(青色))

スタータトナーカートリッジ
(M マゼンタ(赤色))

スタータトナーカートリッジ
(Y イエロー(黄色))

スタータトナーカートリッジ
(K ブラック(黒色))

イメージドラムカートリッジ
(C シアン(青色))

イメージドラムカートリッジ
(M マゼンタ(赤色))

イメージドラムカートリッジ
(Y イエロー(黄色))

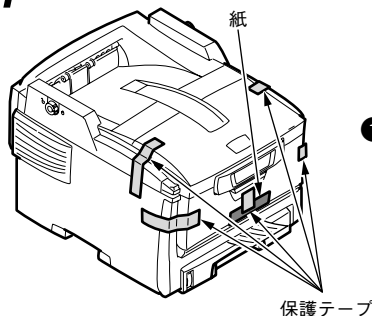
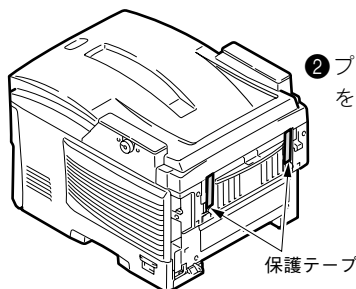
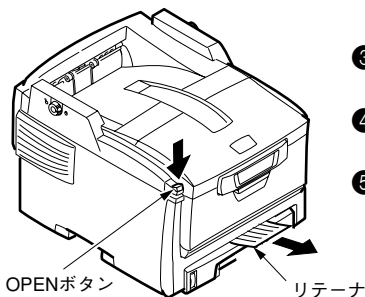
イメージドラムカートリッジ
(K ブラック(黒色))

用紙残量表示

〈スキャナー部〉

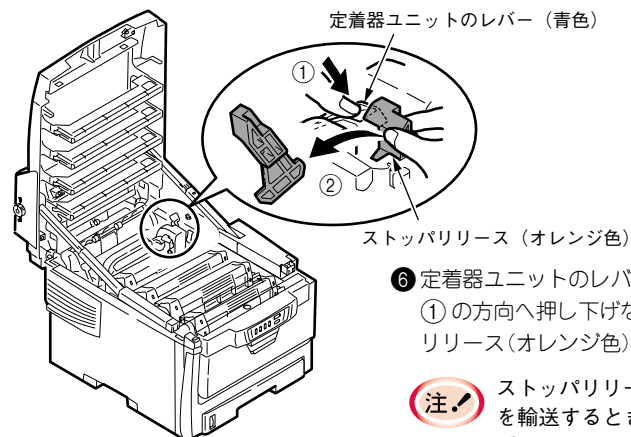
ペーパサポート
ペーパストッパー
ペーパトレイ
ADFユニット
原稿カバー
操作パネル
スタンド
（プリンタ部との接続部）
ハンドル
ロックカバー
ADFケーブル
ADFユニット
電源スイッチ
パワージャック
ADFコネクタ
USBインタフェースコネクタ
コピーコネクタ
ネットワークインタフェースコネクタ
（100/10 BASE）

C5510MFPを組み立てます

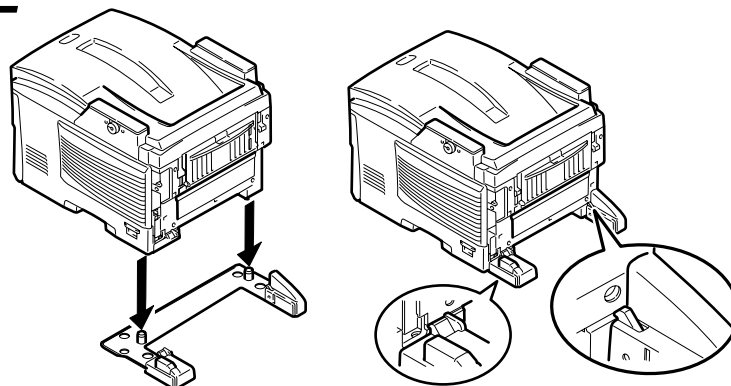
1 保護具を取り外します。

❶プリンタ部前面の保護テープ（5ヶ所）と紙をはがします。

❷プリンタ部後面の保護テープ（2ヶ所）をはがします。

❸用紙カセットを抜きます。

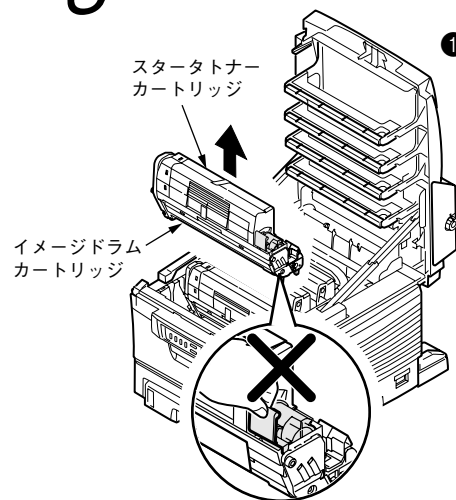
❹リテーナを手前側に引き抜きます。

❺OPENボタンを押し下げ、トップカバーを開きます。

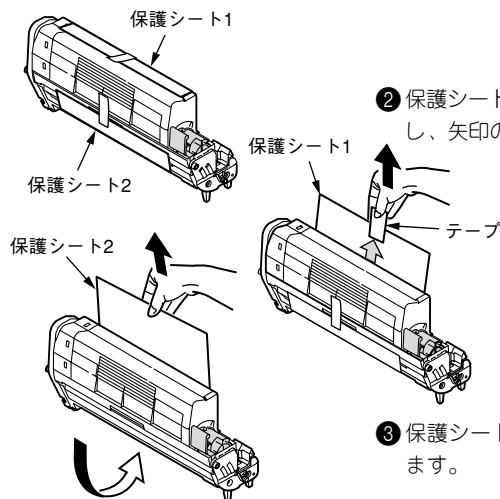
定着器ユニットのレバー（青色）
①
②
ストッパリリース（オレンジ色）

❻定着器ユニットのレバー（青色）を矢印①の方向へ押し下げながら、ストッパリリース（オレンジ色）を取り外します。

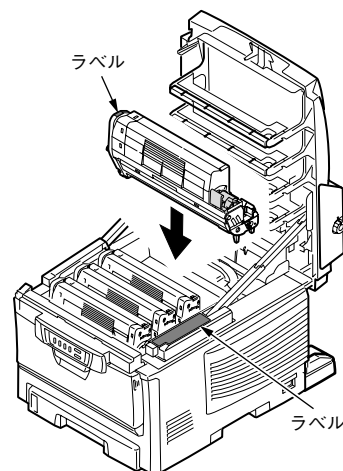
注 ストッパリリースはプリンタ部を輸送するときに使います。必ず保管してください。

2 プリンタ部をバックストッパーに乗せます。

注 バックストッパーを使用しないと、装置が転倒する恐れがあります。

3 イメージドラムカートリッジをセットします。

❶ スタータトナーカートリッジを付けたまま、イメージドラムカートリッジ（4個）を静かに取り出します。

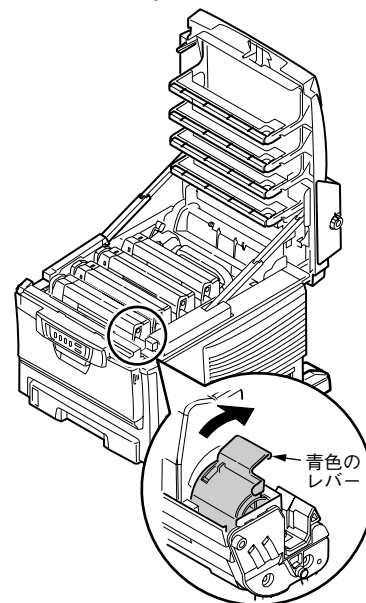
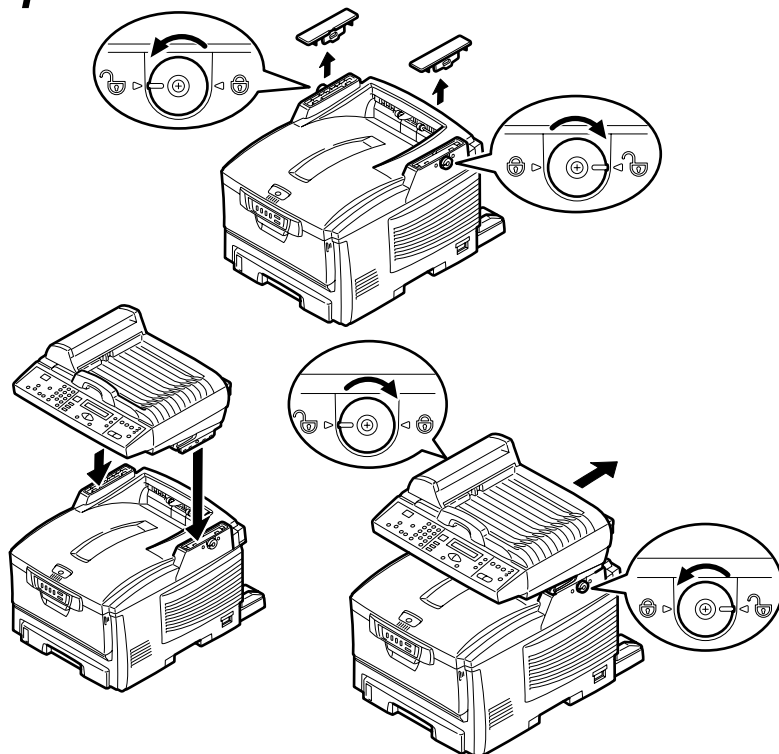
ここでは、スタータトナーカートリッジの青いレバーは動かさないでください。

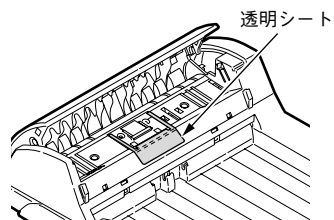
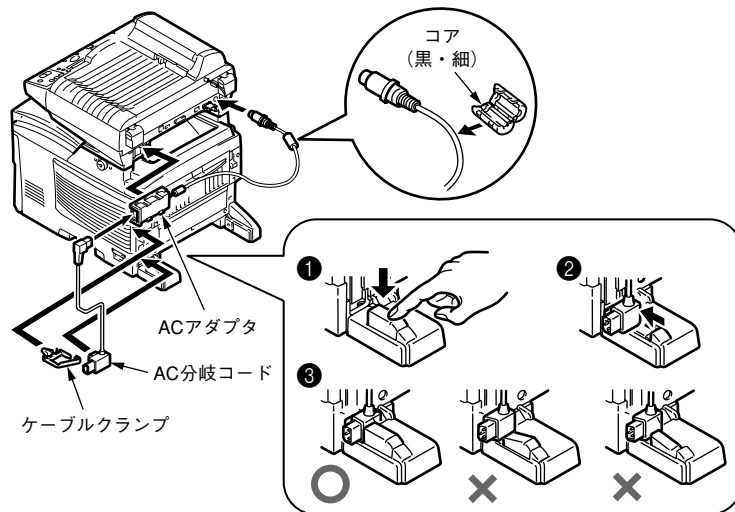
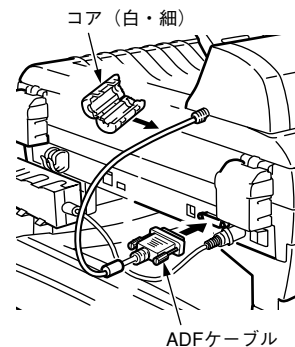
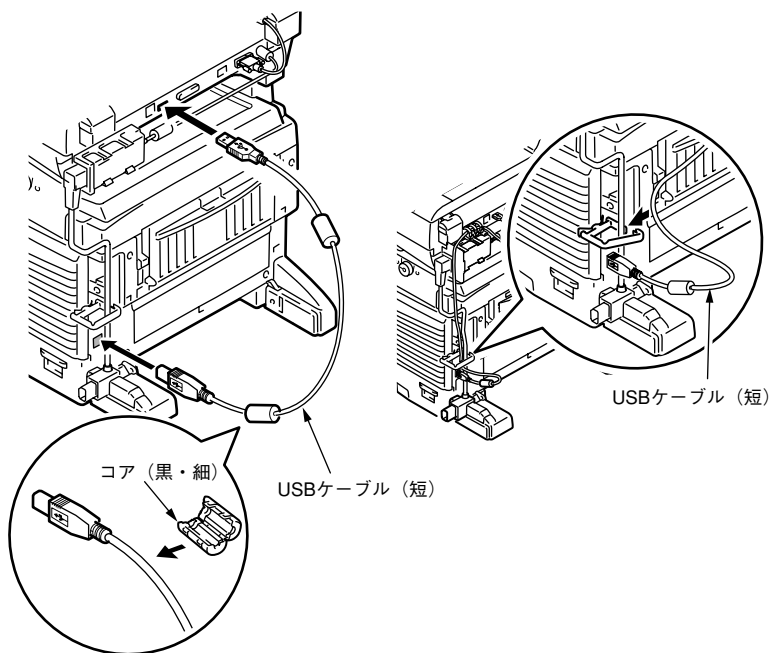
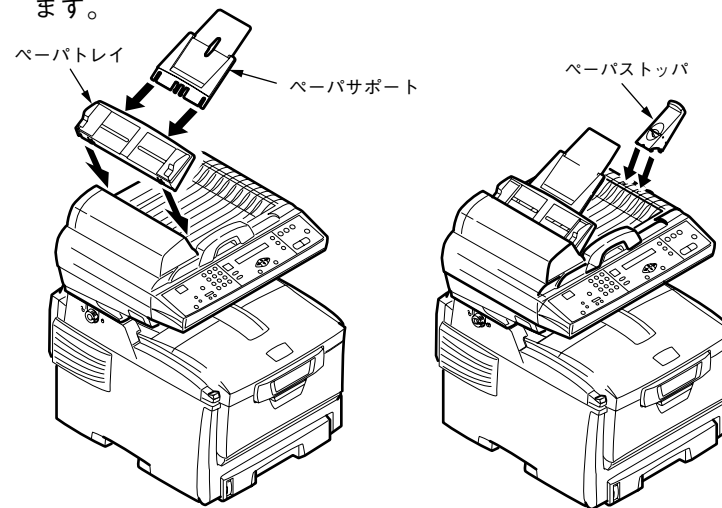
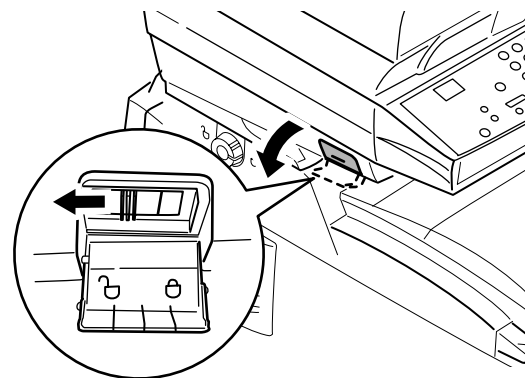
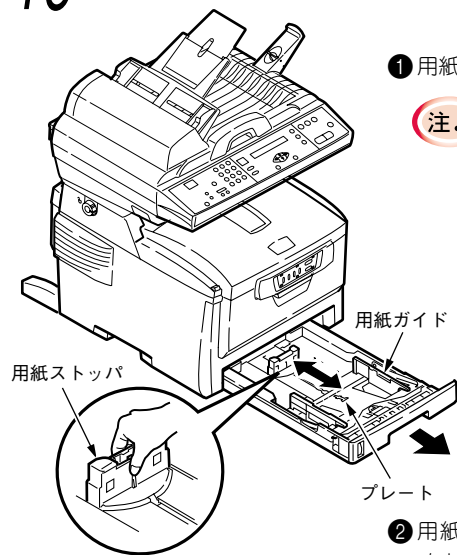
- イメージドラム（緑の筒の部分）は、非常に傷つきやすいため取り扱いには十分注意してください。
- イメージドラムカートリッジは、直射日光や強い光（約1500ルクス以上）に当てないでください。室内の照明の下でも5分間以上は放置しないでください。

❷ 保護シート1を止めているテープをはがし、矢印の方向に引き抜きます。

❸ 保護シート２を矢印の方向に引き抜きます。

❹ イメージドラムカートリッジのラベルの色とプリンタ部のラベルの色を合わせます。

❺ イメージドラムカートリッジ（4個）を静かに戻します。

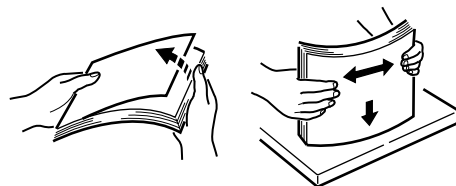
❻ トナーカートリッジの青色のレバーを矢印の方向にいっぱいまで回します。

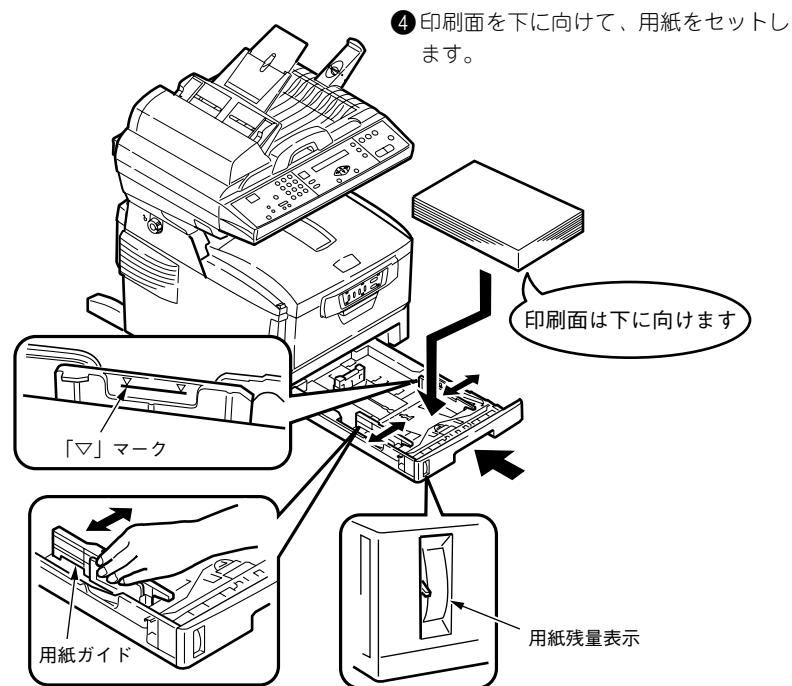
- スタータトナー(製品購入時に添付されているトナーカートリッジ)は、A4, 5%の印刷密度の場合、約1500枚印刷可能です。
- 通常のトナーカートリッジを使用した後は、スタータトナーは使用できなくなります。最初にスタータトナーを使用し、「トナー　ナシ」になってから、通常のトナーをご使用ください。

4 スキャナー部をプリンタ部に取り付け、保護テープを外します。

注 ADFの透明シートははがさないでください。

透明シート

5 コア・ACアダプタ・AC分岐コード・ケーブルクランプを取り付けます。

6 ADFケーブルにコア（白・細）を取り付け、接続します。

7 USBケーブル(短)にコア(黒・細)を取り付け、接続します。

8 ペーパトレイ、ペーパサポート、ペーパストッパを取り付けます。

9 ロックカバーを開け、ロックを解除します。

10 用紙カセットに用紙をセットします。

❶用紙カセットを引き出します。

注 プレートについているゴムは、はがさないでください。

❷用紙ストッパを用紙サイズに合わせ、確実に固定します。

❸用紙をよくさばき、上下左右をそろえます。

メモ 用紙については、5章の「使用できる用紙」(102ページ)を参考にしてください。
MFPに適していない用紙の場合、MFPが故障するおそれがあります。

❹印刷面を下に向けて、用紙をセットします。

注
- 用紙は用紙カセットの手前によせて置きます。
- 用紙ガイドの「▽」マークを越えないようにセットします。(連量70kg 紙で 300 枚)

❺用紙ガイドで用紙を固定します。

❻用紙カセットをプリンタ部に戻します。

電源を入れます

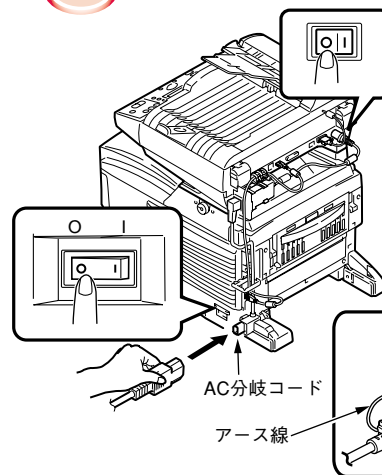
電源の条件

- 以下の条件を守ってください。
  交流(AC)　：　100V±10%
  電源周波数　：　50Hzまたは60Hz±2Hz
- 電源が不安定な場合は、電圧調整器などを使用してください。
- 本MFPの最大消費電力は950Wです。電源容量に十分余裕があることを確認してください。
- UPS(無停電電源)を使用した場合の動作は保証していません。無停電電源は使用しないでください。

警告　火災や感電のおそれがあります。

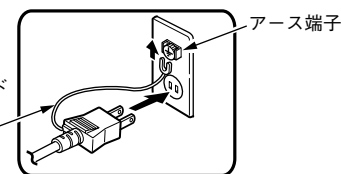
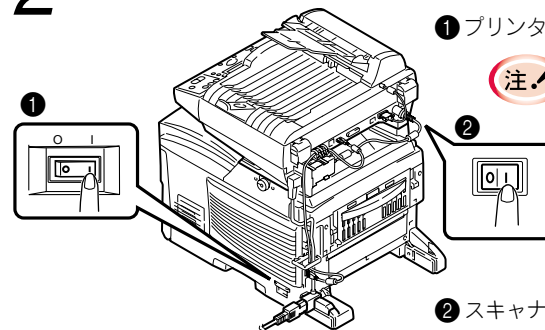
- 電源コード、アース線の取り付け、取り外しは必ず電源スイッチをOFFにしてから行ってください。
- アース線は必ず専用のアース端子に接続してください。水道管、ガス管、電話線のアース、避雷針などには絶対に接続しないでください。
- 電源コードの抜き差しは必ず電源プラグを持って行ってください。
- 電源プラグは確実にコンセントの奥まで差し込んでください。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
- 電源コードは踏まれない場所に設置し、電源コードの上には物を置かないでください。
- 電源コードをたばねたり、結んだりして使用しないでください。
- 破損した電源コードを使用しないでください。
- たこ足配線はしないでください。
- 本製品と他の電気製品を同じコンセントに接続しないでください。特に、空調機、複写機、シュレッダなどと同時に接続すると、電気的ノイズによってMFPが誤動作することがあります。やむを得ず同じコンセントに接続するときは、市販のノイズフィルタかノイズカットトランスを使用してください。
- 本製品に添付されているACアダプタ、ACケーブルおよびAC分岐コード以外のものを使用しないでください。
- 添付の電源コードのみで使用してください。
- 延長コードは使用しないでください。やむを得ず使用する場合は、定格15A以上のものを使用してください。
- 延長コードを使用すると、AC電圧降下により、MFPが正常に動作しない場合があります。
- 印刷中に電源を切ったり電源プラグを抜かないでください。
- 連休や旅行で長時間使用しない場合は、電源コードを抜いてください。

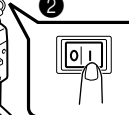
1 電源コードを接続します。

注 電源スイッチがOFF(○)になっていることを確認してください。

❶ 電源コードをAC分岐コードに差し込みます。

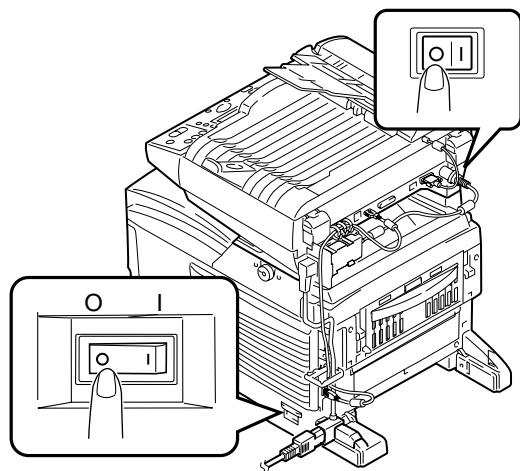
❷ アース線をコンセントのアース端子に接続した後、電源プラグをコンセントに差し込みます。

警告　感電のおそれがあります。

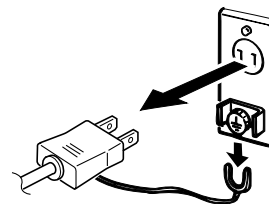
必ずアース線を接続してください。

2 電源スイッチのON(|)を押します。

❶ プリンタの電源を入れます。

注 必ず、プリンタの電源を先に入れてください。先に入れないと、プリンタが認識されないことがあります。

❷ スキャナの電源を入れます。

電源を切ります

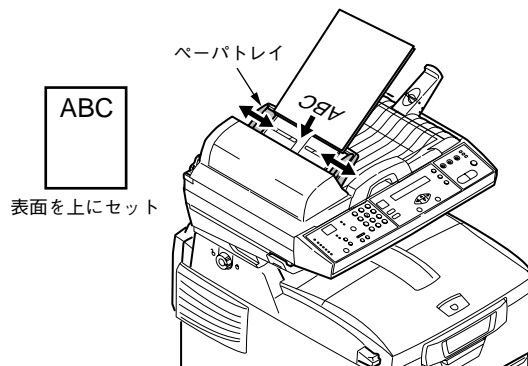
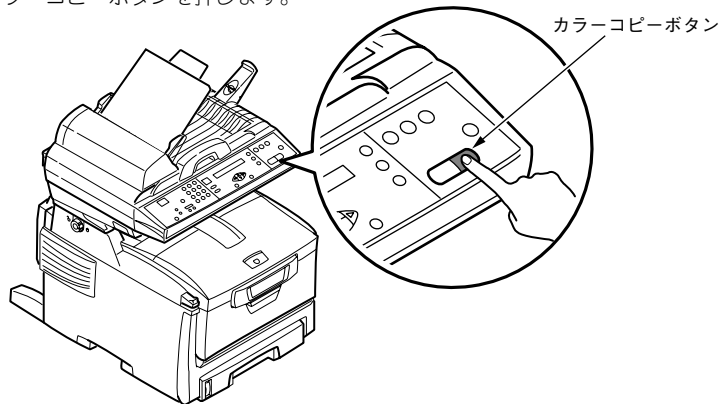
電源スイッチのOFF（O）を押します。

注 印刷中は電源を切らないでください。

長期間使用しないとき

連休や旅行で長期間使用しない場合は、電源コードを抜いてください。

メモ 本MFPは長期間（4週間以上）電源プラグを抜いておいても、機能障害を生じません。

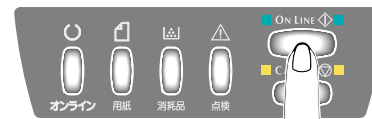
動作確認をします

製品が正常に動作することを確認します。

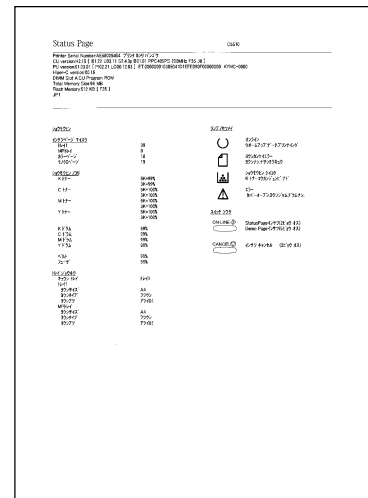
❶ カラー原稿をコピーする面を上にして、ADFユニットのペーパトレイにセットします。

❷ カラーコピーボタンを押します。

正しくカラー印刷されることを確認します。

ステータスページ印刷をします

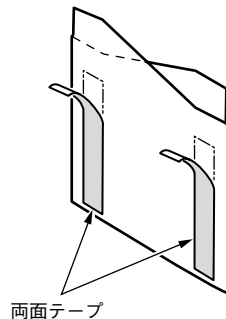
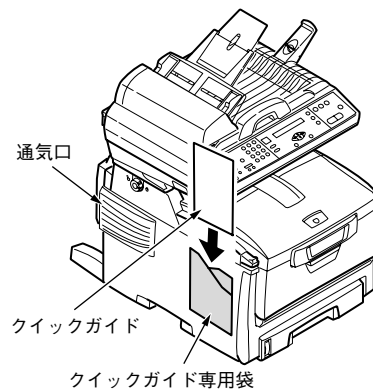
❶ トレイにA4用紙をセットします。

❷ プリンタ部の 「オンライン」スイッチを2秒～5秒押して放します。

注 5秒以上押下した場合、デモページ印刷が開始されます。

オンラインLED(緑色)が点滅し、ステータスページ印刷が開始されます。
1枚のみ出力されます。

(サンプル)

クイックガイドの収納

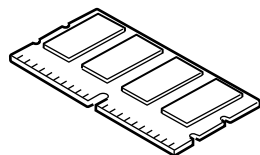
クイックガイド専用袋をプリンタ部に貼り付け、クイックガイドをしまいます。

1 クイックガイド専用袋を裏側にして、両面テープ(2ヶ所)をはがします。

2 クイックガイド専用袋をプリンタ部に貼り付けます。

注 プリンタ部の通気口を塞がないように貼り付けてください。

オプション品について

増設メモリ

プリンタ部のメモリ容量を増やすボードです。複雑なデータや枚数の多いデータの部単位印刷でメモリ不足のエラーが発生するときに追加します。

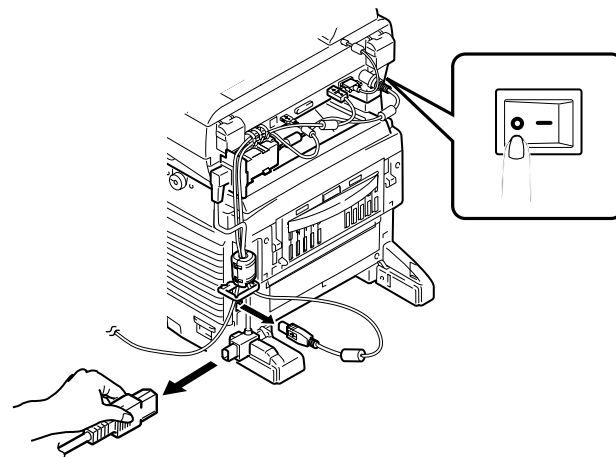
増設メモリ

型名：MLMEM256B

C5510MFPメモリ容量

	総メモリ容量
工場出荷時	96MB（32MB+64MB）
オプションメモリ（MLMEM256MB）装着時	288MB（32MB+256MB）

- 必ず沖データ純正品を使用してください。沖データ純正品以外を使用した場合、動作の保証はできません。
- メモリ用スロットは1スロットです。
- C5510MFPは、標準で64MBメモリをメモリ用スロットに実装した状態で出荷されています。オプションの増設メモリ（MLMEM256B）を追加するには、64MBメモリを取り外す必要があります。

メモ 増設メモリMLMEM256Bを取り付けると、総メモリ量は288MBになります。

1 MFPの電源をOFFにし、電源コード、USBケーブル（短）をプリンタ部から取り外します。

注 電源をONのまま取り付けると、MFPまたは増設メモリが故障するおそれがあります。

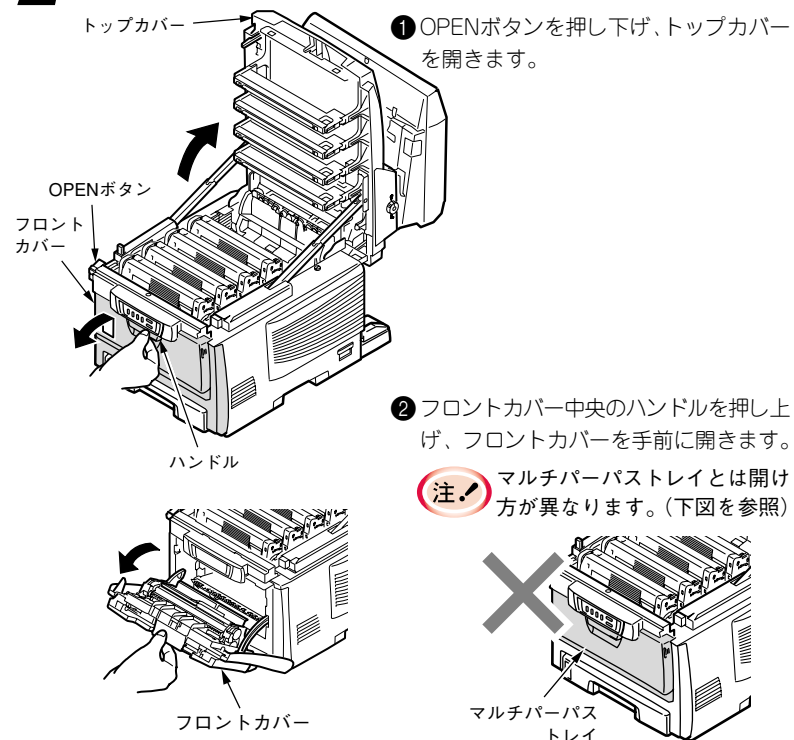
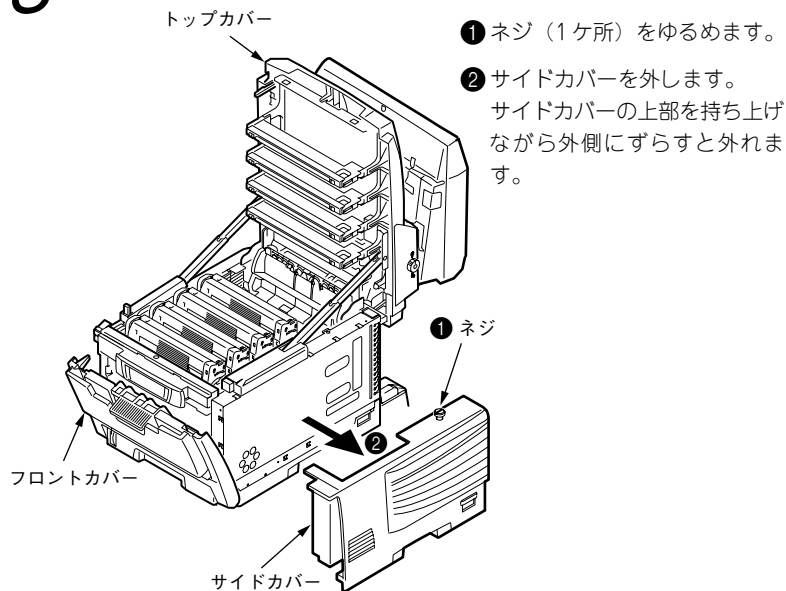
2 トップカバーとフロントカバーを開けます。

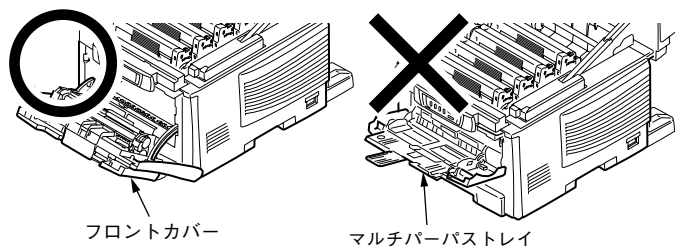
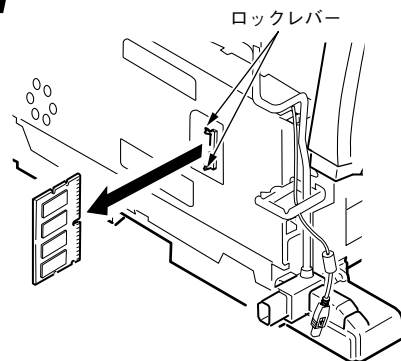
❶ OPENボタンを押し下げ、トップカバーを開きます。

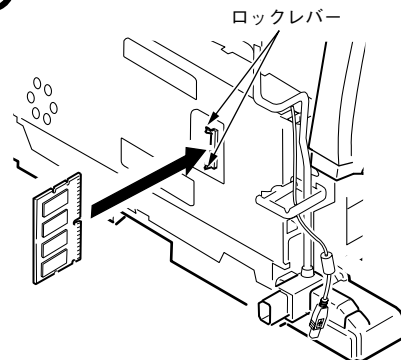
❷ フロントカバー中央のハンドルを押し上げ、フロントカバーを手前に開きます。

注 マルチパーパストレイとは開け方が異なります。(下図を参照)

3 サイドカバーを外します。

❶ ネジ（1ケ所）をゆるめます。

❷ サイドカバーを外します。
サイドカバーの上部を持ち上げながら外側にずらすと外れます。

メモ サイドカバーが外れない場合は、フロントカバーが開いているか確認してください。

【フロントカバーが開いた状態】　【マルチパーパストレイが開いた状態】

4 標準実装されているメモリを取り外します。

❶上下のロックレバーを外し、標準実装されているメモリを取り外します。

5 メモリを取り付けます。

❶メモリを袋から取り出す前に、袋を金属部に接触させて静電気を除去します。

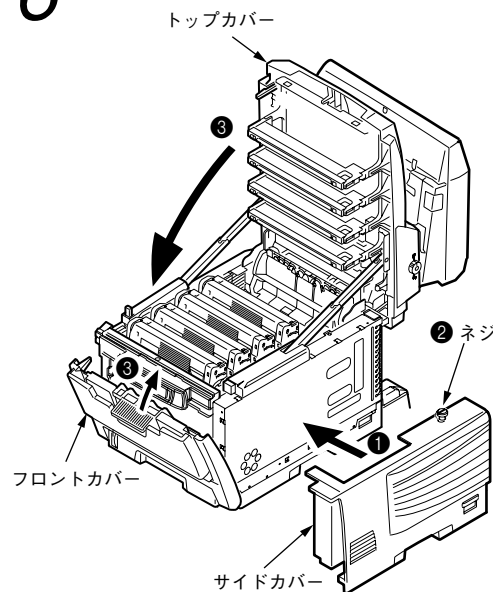
❷空きスロットにメモリを差し込みます。

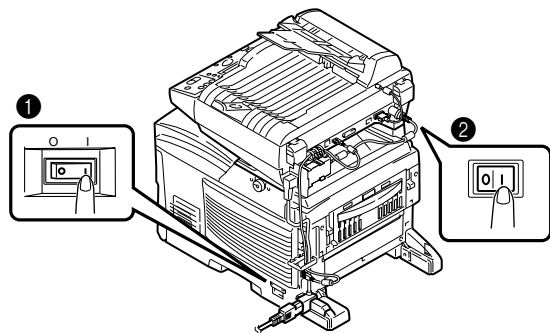
❸上下のロックレバーで確実に固定されていることを確認します。

注
- 電子部品やコネクタ端子には触らないでください。
- メモリの向きにご注意ください。メモリの端子部には切り欠き部分があり、スロットのコネクタと勘合するようになっています。

6 サイドカバーを取り付けます。

❶サイドカバーを取り付けます。

❷ネジ（1ケ所）で固定します。

❸トップカバーとフロントカバーを閉じます。

7 電源コード、USBケーブルを取り付け、電源をONにします。

注 プリンタ部の「用紙」ランプ,「消耗品」ランプ,「点検」ランプが同時に高速点滅した場合は、メモリを取り付け直してください。

8 ステータスページ印刷を行い、増設メモリが正しく取り付けられていることを確認します。

Status Page

Printer Serial Number:AE58028404 ﾌﾟﾘﾝﾀ
CU version:H2.15 [I01.22 U03.11 S2.4.3p
PU version:01.03.01 [PI02.21 LO00.12.03
Hiper-C version:00.15
DIMM Slot A:CU Program ROM
Total Memory Size:288 MB
Flash Memory:512 KB [F35]
JP1

❶ ステータスページ印刷をします。

詳しくは「ステータスページ印刷をします」(25 ページ)をご覧ください。

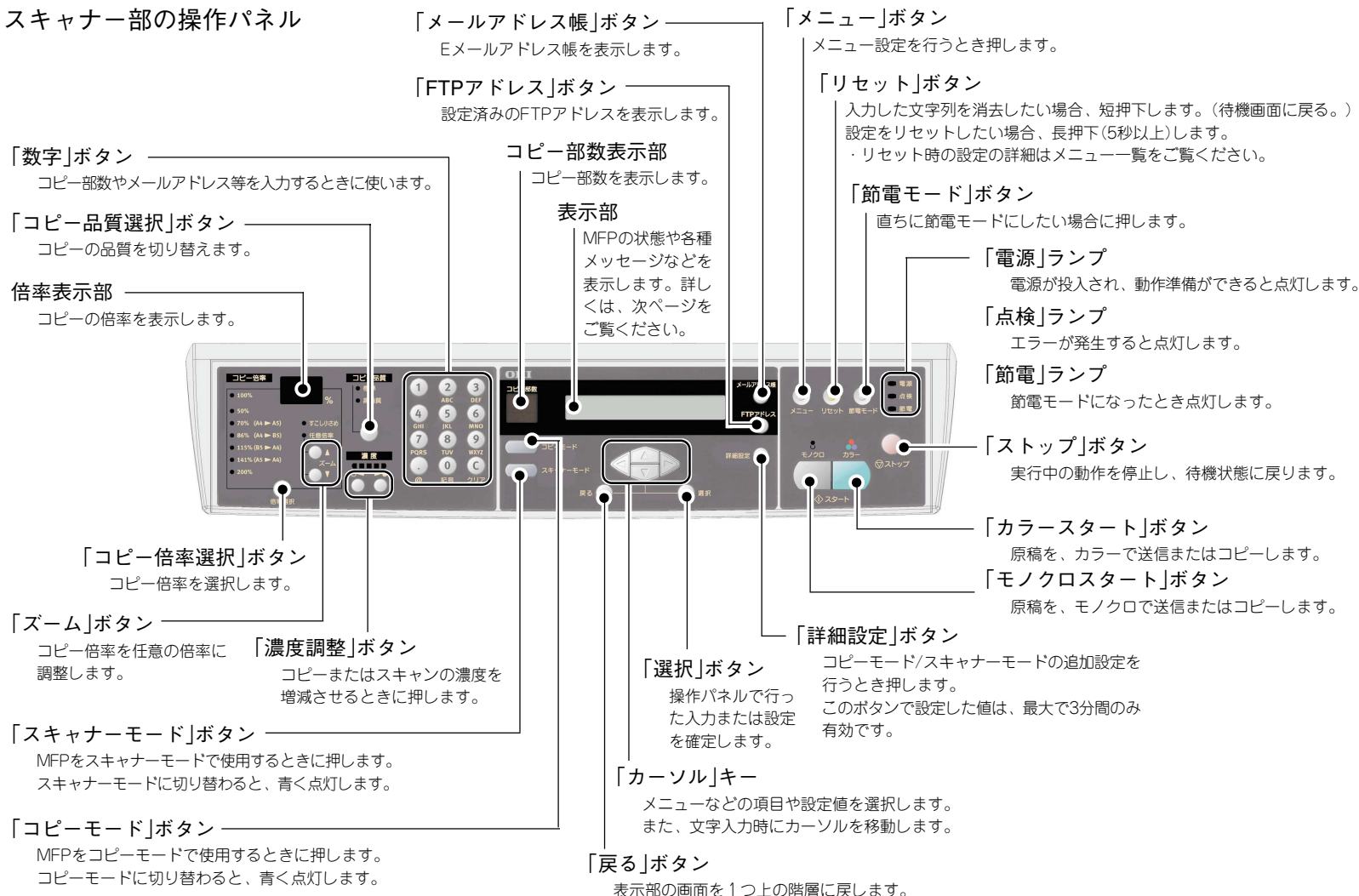
❷ ヘッダ部分の「Total Memory Size」に表示される総メモリ量を確認します。

注 Total Memory Size の容量が正しく表示されない場合は、メモリを取り付け直してください。

2 操作パネルとメニューについて

操作パネル

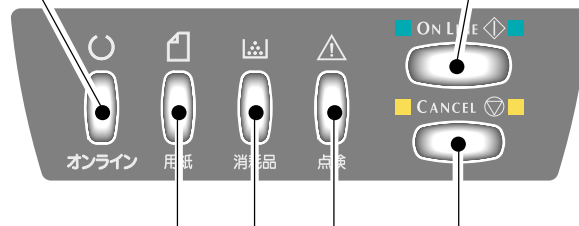
2 操作パネル

スキャナー部の操作パネル

プリンタ部の操作パネル(通常は使用しません)

「オンライン」ランプ(緑)

消灯： 電源を切っている状態です。
点灯： データを受信できる状態(オンライン)です。
点滅1（2秒間隔）：
オフライン状態（エラー発生中）です。
点滅2（0.5秒間隔）：
データ受信、印刷中、ウォーミングアップ、濃度補正、濃度調整中です。
点滅3（0.12秒間隔）：
ジョブキャンセル中です。
点滅4（4.5秒点灯、0.5秒消灯）：
パワーセーブ中です。

「用紙」ランプ(橙)、「消耗品」ランプ(橙)、「点検」ランプ(橙)

消灯： オンライン状態です。
点灯： ワーニング発生状態です。（印刷は可能です）
点滅1（2秒間隔）：
エラーが発生していますがオンライン/キャンセルスイッチを押すことにより復旧します。
点滅2（0.5秒間隔）：
エラーが発生しています。消耗品交換、ジャム用紙除去などを行う必要があります。
点滅3（0.12秒間隔）：
重障害エラーが発生しています。電源再投入後も発生する場合は、サービスコールが必要です。

「オンライン」スイッチ

オンライン中：
2秒未満押すと、オフラインに移行します。
2秒以上5秒未満押すと、ステータスページを印刷します。
5秒以上押すと、デモ印刷を行います。
オフライン中：
2秒未満押すと、オンラインに移行します。
2秒以上5秒未満押すと、ステータスページを印刷します。
5秒以上押すと、デモ印刷を行います。
「メモリオーバフロー」、「編集バッファオーバーフロー」、「データ受信無効」発生時：
2秒未満押すと、エラーを解除します。
「用紙サイズまたはメディアタイプの不一致」発生時：
2秒未満押すと、現在セットされている用紙で印刷を開始します。
「MPトレイ用紙セット＆オンライン要求」、「MPトレイ用紙無し」発生時：
用紙をセットした後、2秒未満押すと、印刷を開始します。
「イエロー/マゼンタ/シアントナー交換済み？」発生時：
5秒以上押すと、トナーが交換されたと認識します。

「キャンセル」スイッチ

「データ待機中」、「データ処理中」、「データ受信中」、「印刷中」発生時：
2秒以上押すと、現在処理中のジョブをキャンセルします。
「用紙サイズまたはメディアタイプの不一致」、「MPトレイ用紙セット＆オンライン要求」、「トレイ1用紙無し」、「MPトレイ用紙無し」発生時：
2秒以上押すと、現在処理を中断しているジョブをキャンセルします。
「イエロー/マゼンタ/シアントナー交換済み？」発生時：
5秒以上押すと、トナーが交換されなかったと認識します。

操作パネル表示部の画面

操作パネル表示部には、各機能を実行するための画面(スキャナーモード、コピーモード)、各機能の設定を行う画面(メニューモード)、および装置の状態を表す画面(エラーモード、節電(パワーセーブ)モード)が表示されます。
これらの画面の詳細について、以下に説明します。

スキャナーモード

スキャンしたデータをEメールで送信したり(スキャンTo Eメール)、サーバに転送したり(スキャンTo FTP、HTTP、およびCIFS)するための画面です。

ｱﾃｻｷ: _
ｹﾝﾒｲ:

初期設定では、この画面が待機画面となっています。待機画面をコピーモードに変更するには、応用編8章「その他の設定項目」の「待機状態をコピーモードに変更したい」をご覧ください。

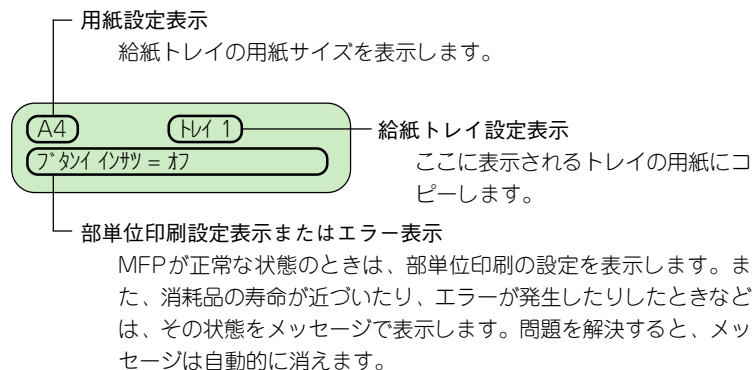
メモ
- コピーモードからスキャナーモードに画面を切り替える場合は、操作パネルの 「スキャナーモード」ボタンを押します。
- スキャンTo Eメールの実施方法については、6章「スキャンします」の「スキャンしてEメールで送ります(スキャンTo Eメール)」(123ページ)をご覧ください。
- スキャンTo サーバ(FTP、HTTP、およびCIFS)の実施方法については、6章「スキャンします」の「スキャンしてサーバに転送したい(スキャンTo FTP)」、「スキャンしてサーバに転送したい(スキャンTo HTTP)」、「スキャンしてWindowsの共有フォルダに転送したい(スキャンTo CIFS)」をそれぞれご覧ください。

コピーモード

コピーを行うための画面です。

用紙設定表示
給紙トレイの用紙サイズを表示します。

給紙トレイ設定表示
ここに表示されるトレイの用紙にコピーします。

部単位印刷設定表示またはエラー表示
MFPが正常な状態のときは、部単位印刷の設定を表示します。また、消耗品の寿命が近づいたり、エラーが発生したりしたときなどは、その状態をメッセージで表示します。問題を解決すると、メッセージは自動的に消えます。

コピーモードを待機画面にするには、応用編8章「その他の設定項目」の「待機状態をコピーモードに変更したい」をご覧ください。

メモ
- スキャナーモードからコピーモードに画面を切り替える場合は、操作パネルの 「コピーモード」ボタンを押します。
- コピーの方法については、7章「コピーします」(131ページ)をご覧ください。

メニューモード

本製品の様々な機能を活用するための設定を行ったり、本製品の情報を確認したりするための画面です。

ｲﾝﾌｫﾒｰｼｮﾝ
ﾌﾟﾘﾝﾀ ﾒﾆｭｰ

スキャナーモードまたはコピーモードからメニューモードに画面を切り替える場合は、操作パネルの◎「メニュー」ボタンを押します。
▽、△ キーを押して設定項目を選択してから○「選択」ボタンを押すことによって、各項目の設定画面を表示します。

メモ メニューモードで設定できる項目およびその詳細については、2章「操作パネルとメニューについて」の「メニュー一覧」(38ページ)をご覧ください。

エラーモード

ﾌﾟﾘﾝﾀ ｴﾗｰ
ﾌﾟﾘﾝﾀｦ ｶｸﾆﾝ ｼﾃｸﾀﾞｻｲ

エラーが発生したときに、その状態および対処方法を表示する画面です。
エラーが発生すると、操作パネルの「点検」ランプが点灯します。
プリンタ部のエラーについては、主にコピーモード時に表示されます。
スキャナーモードではプリンタ部のエラーメッセージを確認できませんので、プリンタ部のエラーを確認する場合は「コピーモード」ボタンを押下してください。

メモ エラーメッセージの詳細は、応用編7章「困ったときには」の「MFPの操作パネルのメッセージ」をご覧ください。

節電（パワーセーブ）モード

本製品が節電（パワーセーブ）モードに入っている場合、下のような画面になります。

ﾊﾟﾜｰｾｰﾌﾞﾁｭｳ...

初期設定では、30分間ボタン操作、印刷、ユーティリティ操作が行われないと、自動的に節電モードに入ります。
節電モードに入ると、表示部は暗くなり操作パネルの「節電」ランプが点灯します。
各画面から直ちに節電モードにする場合は、操作パネルの◎「節電モード」ボタンを押してください。

メモ 節電モードに入るまでの時間を変更したり、自動的に節電モードに切り替わらないようするには、節電モードに入るまでの時間を変更したり応用編8章「その他の設定項目」の「パワーセーブ(節電モード)したい」および「節電モード(パワーセーブ)に入るまでの時間を変更したい」をご覧ください。

「数字」ボタンの使用方法

スキャナー部の操作パネルには、12種類の「数字」ボタンがあります。それぞれの数字ボタンを押して入力できる文字は、下の表をご覧ください。

「数字」ボタンの種類および入力可能な文字

種類	入力可能な文字
①	「1」
②	「2」・「a」・「b」・「c」・「A」・「B」・「C」
③	「3」・「d」・「e」・「f」・「D」・「E」・「F」
④	「4」・「g」・「h」・「i」・「G」・「H」・「I」
⑤	「5」・「j」・「k」・「l」・「J」・「K」・「L」
⑥	「6」・「m」・「n」・「o」・「M」・「N」・「O」
⑦	「7」・「p」・「q」・「r」・「s」・「P」・「Q」・「R」・「S」
⑧	「8」・「t」・「u」・「v」・「T」・「U」・「V」
⑨	「9」・「w」・「x」・「y」・「z」・「W」・「X」・「Y」・「Z」
(.)	「.」・「@」
⓪	「0」・「 」(スペース)・「/」・「:」・「-」・「;」・「,」・「*」・「+」・「=」・「_」・「?」・「!」・「"」・「#」・「$」・「%」・「&」・「'」・「^」・「(」・「)」・「<」・「>」・「[」・「]」
Ⓒ	入力した文字を一文字削除します。

文字入力時に使用するその他のボタン

種類	ボタンの説明
▷	カーソルを右に1つ移動します。
◁	カーソルを左に1つ移動します。
○「戻る」ボタン	入力した文字列をすべてキャンセルします。
○「選択」ボタン	入力した文字列を決定します。

ボタンを使った入力方法

ここでは、Eメール送信時に[アテサキ]に「C5510MFP@oki.com」と「okimfp@oki.com」を入力する場合を例にしています。

❶ 「スキャナーモード」ボタンを押して、スキャナーモードにします。

```
ｱﾃｻｷ: _
ｹﾝﾒｲ:
```

❷ 「②」ボタンを7回押します。

```
ｱﾃｻｷ: C_
ｹﾝﾒｲ:
```

❸ 「⑤」ボタンを1回押し、▷キーを押してから再び「⑤」ボタンを1回押します。

```
ｱﾃｻｷ: C55_
ｹﾝﾒｲ:
```

メモ 同じボタンを使って2文字以上続けて入力する場合は、文字入力後3秒経過してカーソルが自動的に右に移動するのを待ってから、次の文字を入力することもできます。

❹「1」ボタンを1回、「0」ボタンを1回押します。

アテサキ: C5510_
ケンメイ:

❺「6」ボタンを5回、「3」ボタンを7回、「7」ボタンを6回押します。

アテサキ: C5510MFP_
ケンメイ:

❻「.」ボタンを2回押します。

アテサキ: C5510MFP@_
ケンメイ:

❼「6」ボタンを4回、「5」ボタンを3回、「4」ボタンを4回押します。

アテサキ: C5510MFP@oki_
ケンメイ:

❽「.」ボタンを1回押します。

アテサキ: C5510MFP@oki._
ケンメイ:

❾「2」ボタンを4回押します。

アテサキ: C5510MFP@oki.c_
ケンメイ:

❿「6」ボタンを4回し、▷キーを押してから再び「6」ボタンを2回押します。

アテサキ: C5510MFP@oki.com_
ケンメイ:

⓫「選択」ボタン押します。

アテサキ: C5510MFP@oki.com
_

⓬「数字」ボタンと「カーソル」キーを使って、「okimfp@oki.com」を入力します。

アテサキ: C5510MFP@oki.com
okimfp@oki.com_

注 入力した文字列は、操作を中断して一定時間([待機モード移行時間]の設定による)が経過すると、クリアされてしまいます。予め入力したい文字列を確認してから、入力を開始してください。
なお、[待機モード移行時間]の設定を長くすることで、余裕を持って文字入力操作を行うことができるようになります。詳しくは、応用編8章「その他の設定項目」の「待機モードに移行するまでの時間を変更したい」をご覧ください。

メニュー一覧

スキャナー部の操作パネルまたはツール（OKIMFPネットワークセットアップツール、Webページ）を用いて、MFPの各種インフォメーションの確認および各種設定の変更ができます。

インフォメーション一覧

項目名		内　容
モデル名		MFP のモデル名を確認できます。
デバイス名		MFP のデバイス名を確認できます。
シリアル番号		MFP のシリアル番号を確認できます。
ファームウェアバージョン	プリンタ CU バージョン	プリンタ部の CU バージョンを確認できます。
	プリンタ PU バージョン	プリンタ部の PU バージョンを確認できます。
	スキャナー F/W バージョン	スキャナー部のスキャナーファームウェアのバージョンを確認できます。
	システム F/W バージョン	スキャナー部のシステムファームウェアのバージョンを確認できます。
	コピープロファイルバージョン	スキャナー部のコピープロファイルのバージョンを確認できます。
	Web ページバージョン	スキャナー部の Web ページのバージョンを確認できます。
	リソースファイルバージョン	スキャナー部のリソースファイルのバージョンを確認できます。

プリンタメニュー一覧

○：リセットされる項目　×：リセットされない項目

項目名	内　容	設定できる値（下線は工場出荷時設定）	リセットボタンを長押し(5秒間)した場合
トレイ 1 用紙サイズ	プリンタ部トレイ 1 の用紙サイズを設定できます。セットされた用紙サイズを設定値として選択します。	A4/A5/A6/B5/ リーガル / リーガル 13.5/ リーガル 13/ レター / エグゼクティブ / カスタム	○
MP トレイ用紙サイズ	プリンタ部 MP トレイの用紙サイズを設定できます。セットされた用紙サイズを設定値として選択します。	A4/A5/A6/B5/ リーガル / リーガル 13.5/ リーガル 13/ レター / エグゼクティブ / カスタム / COM9/COM10/ Monarch/DL/C5/ ハガキ / 往復ハガキ / 封筒 1/ 封筒 2/ 封筒 3/ 封筒 4	○
トレイ 1　メディアウェイト	プリンタ部トレイ 1 の用紙厚を設定できます。セットされた用紙の厚さを設定値として選択します。	普通紙 / 厚い紙 / より厚い紙	○
トレイ 1　メディアタイプ	プリンタ部トレイ 1 の用紙タイプを設定できます。セットされた用紙の厚さを設定値として選択します。	普通紙 / レターヘッド / ボンド紙 / リサイクル紙 / 粗い紙 / ユーザタイプ 1/ ユーザタイプ 2/ ユーザタイプ 3/ ユーザタイプ 4/ ユーザタイプ 5	○
MP トレイ　メディアウェイト	プリンタ部 MP トレイの用紙厚を設定できます。セットされた用紙の厚さを設定値として選択します。	普通紙 / 厚い紙 / より厚い紙 / ごく厚い紙	○
MP トレイ　メディアタイプ	プリンタ部 MP トレイの用紙タイプを設定できます。セットされた用紙の厚さを設定値として選択します。	普通紙 / レターヘッド / OHP/ ラベル紙 / ボンド紙 / リサイクル紙 / 厚紙 / 粗い紙 / ユーザタイプ 1/ ユーザタイプ 2/ ユーザタイプ 3/ ユーザタイプ 4/ ユーザタイプ 5	○
濃度操作	プリンタ部の濃度補正方法を設定できます。	自動 / 手動	○
濃度補正	プリンタ部の濃度補正を手動で実行します。	−	−
色ずれ補正	プリンタ部の色ずれ補正を手動で実行します。	−	−

ネットワーク設定一覧

○：リセットされる項目　×：リセットされない項目

項目名	内 容	設定できる値（下線は工場出荷時設定）	リセットボタンを長押し（5 秒間）した場合
IP アドレス	MFP の IP アドレスを設定できます。設定方法については、「3 ネットワーク接続で Windows にセットアップします」（43 ページ）を参照ください。	000.000.000.000（ネットワーク上に存在するコンピュータおよび他のデバイスの IP アドレスと異なる数値）	×
サブネットマスク	MFP のサブネットマスクを設定できます。	000.000.000.000（MFP を接続するネットワーク環境のサブネットマスクと同じ数値）	×
ゲートウェイアドレス	MFP のゲートウェイアドレスを設定できます。	000.000.000.000（ネットワーク上に存在するデフォルトゲートウェイのアドレス）	×
DNS サーバー	MFP の DNS サーバーを設定できます。	000.000.000.000（ネットワーク上に存在する DNS サーバーのアドレス）	×
DHCP 有効	設定を「オン」にすることで、MFP の IP アドレスを DHCP サーバーから自動取得することができます。	オン / オフ	○
デバイス名	デバイス名を変更できます。	英字・数字（最大16文字[*1]）	×

[*1]：Windowsネットワーク環境では、15文字以下のデバイス名を設定してください。

メールサーバー設定一覧

○：リセットされる項目　×：リセットされない項目

項目名	内 容	設定できる値（下線は工場出荷時設定）	リセットボタンを長押し（5 秒間）した場合
SMTP サーバー	スキャン To E メールを行うときに、SMTP サーバーのアドレスを設定します。	000.000.000.000 または文字列（ネットワーク上に存在する SMTP サーバーのアドレス）	○
SMTP ポート	SMTP サーバーにアクセスするポートを設定できます。SMTP サーバーにアクセスするには、通常 25 番ポートを使用します。	25（1 から 99999 までの値を設定可能）	○
POP3 サーバー	スキャン To E メールを行うときに、POP3 サーバーのアドレスを設定します。	000.000.000.000 または文字列（ネットワーク上に存在する POP3 サーバーのアドレス）	○
POP3 ポート	POP3 サーバーにアクセスするポートを設定できます。POP3 サーバーにアクセスするには、通常 110 番ポートを使用します。	110（1 から 99999 までの値を設定可能）	○
認証方法	メールサーバーにアクセスするための認証方法を設定できます。	なし /SMTP/POP3	○
ログイン名	メールサーバーにアクセスするためのログイン名を設定できます。	英字・数字（最大 64 文字）[*1]	○
パスワード	メールサーバーにアクセスするためのパスワードを設定できます。	英字・数字（最大 10 文字）	○
件名（標準）	送信する E メールの件名（標準）を設定できます。	英字・数字・カタカナ[*2]（最大 64 文字）	○
発信者名（標準）	送信する E メールの発信者名（標準）を設定できます。	英字・数字（最大 64 文字）	○
スキャンサイズ制限	E メールに添付するファイルのサイズを制限できます。	1M/3M/5M/10M/30M/制限なし	○

[*1]：システムファームウェアをVer.1.3以上にアップデートする必要があります。Ver.1.2では最大20文字です。

[*2]：操作パネルからカタカナを入力することはできません。OKIMFPネットワークセットアップツールまたはWebブラウザを使って入力してください。なお、全角で入力したカタカナは、自動的に半角に変換されます。

レポート一覧

項目名	内　容
メニューマップ	メニューマップの印刷を実行します。 スキャナー部およびプリンタ部の設定を確認できます。
プリンタ デモページ	プリンタ デモページの印刷を実行します。
ジョブカウンティング	ジョブカウンティングの印刷を実行します。 スキャンした回数および印刷した回数の詳細を確認できます。 印刷後、以下のスキャンカウンターを消去することができます。*1 ・小計　・モノクロコピーカウンター　・カラーコピーカウンター ・モノクロ E メールカウンター　・カラー E メールカウンター ・モノクロサーバー送信　・カラーサーバー送信 ・PC スキャンカウンター　・ADF 小計
消耗品残量	消耗品残量の印刷を実行します。 プリンタ部の消耗品残量を確認できます。

*1：スキャンカウンターの消去は、OKIMFPネットワークセットアップツールまたはWebブラウザからも行えます。詳しくは、OKIMFPネットワークセットアップツールのヘルプをご覧ください。

メニューマップを印刷します

❶ 「メニュー」ボタンを押します。

イﾝﾌｫﾒｰｼｮﾝ
ﾌﾟﾘﾝﾀ ﾒﾆｭｰ

❷ ▽ キーを4回押し、[レポートインサツ]まで移動します。

ﾒｰﾙ ｻｰﾊﾞｰ ｾｯﾃｲ
ﾚﾎﾟｰﾄｲﾝｻﾂ

❸ 「選択」ボタンを押します。

ﾒﾆｭｰﾏｯﾌﾟ
ﾌﾟﾘﾝﾀ ﾃﾞﾓﾍﾟｰｼﾞ

❹ メニューマップを印刷します。

ﾒﾆｭｰﾏｯﾌﾟ
ｲﾝｻﾂﾁｭｳ

（メニューマップの見本）

プリンタ デモページを印刷します

❶ 「メニュー」ボタンを押します。

ｲﾝﾌｫﾒｰｼｮﾝ
ﾌﾟﾘﾝﾀ ﾒﾆｭｰ

❷ ▽ キーを4回押し、[レポートインサツ]まで移動します。

ﾒｰﾙ ｻｰﾊﾞｰ ｾｯﾃｲ
ﾚﾎﾟｰﾄｲﾝｻﾂ

❸ 「選択」ボタンを押します。

ﾒﾆｭｰﾏｯﾌﾟ
ﾌﾟﾘﾝﾀ ﾃﾞﾓﾍﾟｰｼﾞ

❹ ▽ キーを1回押し、[プリンタ デモページ]まで移動します。

ﾒﾆｭｰﾏｯﾌﾟ
ﾌﾟﾘﾝﾀ ﾃﾞﾓﾍﾟｰｼﾞ

❺ 「選択」ボタンを押します。

ﾌﾟﾘﾝﾀ ﾃﾞﾓﾍﾟｰｼﾞ
ｲﾝｻﾂﾁｭｳ

（デモページの見本）

ジョブ カウンティングを印刷します

❶ 「メニュー」ボタンを押します。

ｲﾝﾌｫﾒｰｼｮﾝ
ﾌﾟﾘﾝﾀ ﾒﾆｭｰ

❷ ▽ キーを4回押し、[レポートインサツ]まで移動します。

ﾒｰﾙ ｻｰﾊﾞｰ ｾｯﾃｲ
ﾚﾎﾟｰﾄｲﾝｻﾂ

❸ 「選択」ボタンを押します。

ﾒﾆｭｰﾏｯﾌﾟ
ﾌﾟﾘﾝﾀ ﾃﾞﾓﾍﾟｰｼﾞ

❹ ▽ キーを2回押し、[ジョブ カウンティング]まで移動します。

ﾌﾟﾘﾝﾀ ﾃﾞﾓﾍﾟｰｼﾞ
ｼﾞｮﾌﾞ ｶｳﾝﾃｨﾝｸﾞ

❺ 「選択」ボタンを押します。

ｼﾞｮﾌﾞ ｶｳﾝﾃｨﾝｸﾞ
ｲﾝｻﾂﾁｭｳ

ｶｳﾝﾀ ｦ ｼｮｳｷｮ ｼﾏｽｶ?
ﾊｲ/ｲｲｴ

（ジョブカウンティングの見本）

メモ　ハイを選択した場合は、スキャンカウンターのソウケイ・ADFソウケイ以外のカウンターは消去されます。

2

メニュー一覧

ショウモウヒン ザンリョウを印刷します

❶ 「メニュー」ボタンを押します。

イソフォメーション
プリンタ メニュー

❷ ▽ キーを4回押し、[レポートインサツ]まで移動します。

メール サーバー セッテイ
レポートインサツ

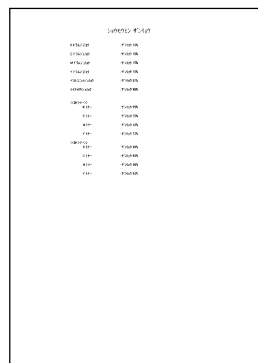
❸ 「選択」ボタンを押します。

メニューマップ
プリンタ デモページ

❹ ▽ キーを3回押し、[ショウモウヒン ザンリョウ]まで移動します。

ジョブ カウンティング
ショウモウヒン ザンリョウ

❺ 「選択」ボタンを押します。

ショウモウヒン ザンリョウ
インサツチュウ

(ショウモウヒンザンリョウの見本)

管理者メニュー一覧

○：リセットされる項目　×：リセットされない項目

項目名	内　容	設定できる値 (下線は工場出荷時設定)	リセットボタンを長押し (5秒間)した場合
パスワード	管理者メニューに入るためのパスワードを設定できます。	英字・数字（最大8文字）	○
アドレス登録機能	設定を「オン」にすることで、Eメール送信後にMFPに登録されていないアドレスを登録することができます。	オン / オフ	○
PIN設定	各機能へのアクセス制限を設定できます。	オフ / コピー / コピー＋スキャンTo	○
パワーセーブ機能	パワーセーブ機能を「有効」または「無効」にすることができます。	有効 / 無効	○
パワーセーブ移行時間	パワーセーブモードに移行するまでの時間を設定できます。	5分 / 15分 / 30分 / 60分 / 240分	○
デフォルトモード[*1]	操作パネル表示部の待機画面を「スキャナーモード」または「コピーモード」に設定できます。	スキャンTo / コピー	○
待機モード移行時間	操作パネル表示部の画面が、1つ前の画面に戻るまでの時間を設定できます。	20秒 / 40秒 / 60秒 / 120秒 / 180秒	○
表示言語[*2]	操作パネル表示部の言語を「日本語」または「英語」に設定できます。	日本語 / 英語	○
スキャンToログレポート	スキャンToログレポートの印刷を実行します。 スキャンToの送信履歴を確認できます。	－	－
プリンタログのクリア	プリンタの印刷に関するログをクリアします。OKIMFPネットワークセットアップツールまたはWebブラウザでのみクリアできます。	－	－

*1：デフォルトモードは、システムファームウェアVer.1.3以上に対応しています。
*2：表示言語を変更すると、件名（標準）および発信者名（標準）の設定がクリアされます。

3 ネットワーク接続でWindowsにセットアップします

動作環境

ドライバソフトウェアのバージョンアップにより、本書の記載と異なる場合があります。

● Windows Server 2003
Windows Server 2003日本語版の動作するコンピュータ
IBM PC/AT互換機で、Ethernet対応のネットワークインタフェースを搭載している機種

● WindowsXP
WindowsXP日本語版の動作するコンピュータ
IBM PC/AT互換機、PC98-NX(PC-9821を除く)で、Ethernet対応のネットワークインタフェースを搭載している機種

● WindowsMe/98
WindowsMe/98日本語版の動作するコンピュータ
IBM PC/AT互換機、PC98-NX、PC-9821で、Ethernet対応のネットワークインタフェースを搭載している機種

● Windows2000
Windows2000日本語版の動作するコンピュータ
IBM PC/AT互換機、PC98-NX、PC-9821で、Ethernet対応のネットワークインタフェースを搭載している機種

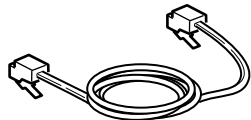
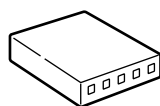
● WindowsNT4.0
WindowsNT4.0日本語版の動作するコンピュータ
IBM PC/AT互換機、PC98-NX、PC-9821で、Ethernet対応のネットワークインタフェースを搭載している機種

- 日本語以外のOSには対応していません。
- MS-DOSおよびWindowsのコマンドプロンプト/DOSプロンプトでは動作しません。
- Windows3.1/95/NT3.51では動作しません。
- WindowsNT4.0は、ARC 互換RISCベースのプロセッサ(MIPS®シリーズ、Alpha、PowerPC™など)のシステムには対応していません。
- Windows Server 2003、WindowsXPは32ビット版のみ対応しています。

ケーブルを接続します

1 イーサネットケーブルとハブを準備します。

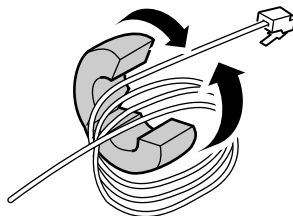
本製品にはイーサネットケーブルとハブは添付されていません。イーサネットケーブル（カテゴリ5、ツイストペアケーブル、ストレート）とハブを別途用意してください。

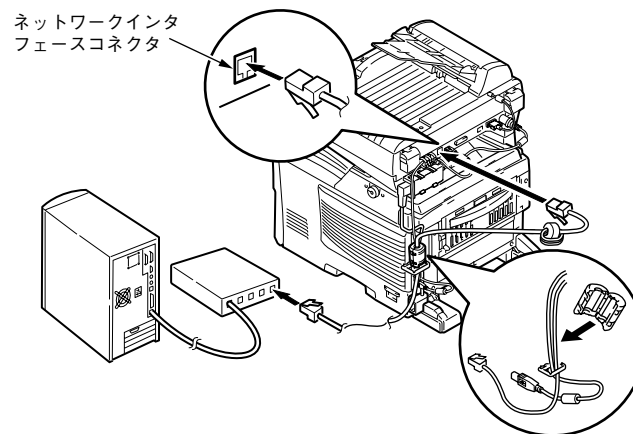
〈イーサネットケーブル〉

〈ハブ〉

〈コア〉

（黒）

（白・大）

2 MFP とコンピュータの電源を OFF にします。

3 イーサネットケーブルにコア（黒）を取り付けます。

4 MFP をネットワークに接続します。

❶イーサネットケーブルをスキャナー部のネットワークインタフェースコネクタに差し込みます。

❷ケーブルをクランプで止めます。

❸イーサネットケーブルとUSBケーブルにコア（白・大）を取り付けます。

❹イーサネットケーブルをハブに差し込みます。

コンピュータにIPアドレスを設定します

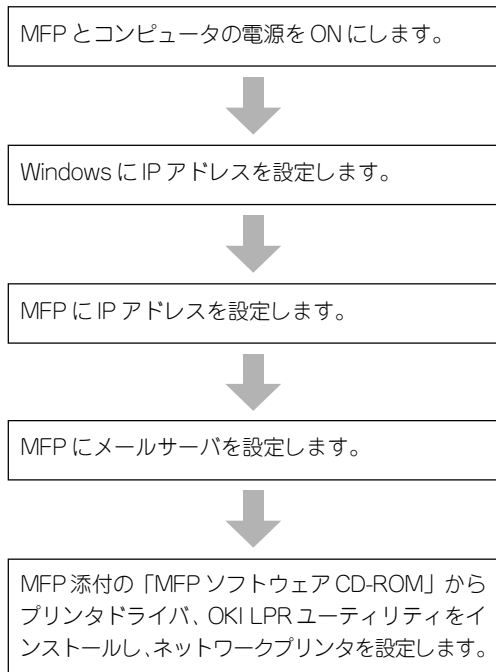
セットアップの流れ

MFP とコンピュータの電源を ON にします。

Windows に IP アドレスを設定します。

MFP に IP アドレスを設定します。

MFP にメールサーバを設定します。

MFP 添付の「MFP ソフトウェア CD-ROM」からプリンタドライバ、OKI LPR ユーティリティをインストールし、ネットワークプリンタを設定します。

セットアップします

ネットワーク上でMFPを使用する場合、コンピュータとMFPにIPアドレスを設定する必要があります。ネットワーク上にDHCPサーバがない場合、手動でコンピュータやMFPにIPアドレスを設定する必要があります。
また、社内ネットワーク管理者や、プロバイダやルータメーカより決められた固有のIPアドレスを設定するように指示された場合も、手動でコンピュータやMFPにIPアドレスを設定する必要があります。
現在のMFPに設定されているIPアドレスは、メニューマップ印刷（142ページ）で確認できます。

- IPアドレスの設定を間違えると、ネットワークがダウンしたりInternetに接続できなくなることがあります。社内のネットワーク管理者や、Internet接続しているプロバイダに、MFPに設定できるIPアドレス等を確認してください。
- ネットワーク上に存在するサーバ（DHCPなど）は、ご使用のネットワーク環境によって異なります。社内のネットワーク管理者や、Internet接続しているプロバイダやルータメーカーに確認してください。
- セットアップにはコンピュータの管理者の権限が必要です。
- 本章では手入力によるMFPのIPアドレスの設定方法を述べていますが、それとは別に、OKIMFPネットワークセットアップツールによる設定も可能です。
  OKIMFPネットワークセットアップツールについては、応用編1章「Windowsソフトウェア」の「OKIMFPネットワークセットアップツール」を参照ください。

- MFPはネットワークPlug&Playに対応しています。接続しているコンピュータがすべてWindowsXP/2000/Server2003の場合や、接続しているルータがネットワークPlug&Playに対応している場合は、ネットワーク上にサーバが存在しなくても自動的にIPアドレスを設定します。コンピュータとMFPにIPアドレスを手動で設定する必要はありませんので、「Windowsにセットアップします」(53ページ)からセットアップしてください。
- コンピュータ1台とMFP1台を接続するような小規模ネットワークでは、次のように設定してください(「RFC1918」による)。

コンピュータ

IPアドレス	: 192.168.0.1～254のいずれか
サブネットマスク	: 255.255.255.0
ゲートウェイ	: 0.0.0.0(使用しません)
DNS	: 使用しません

MFP

IPアドレス	: 192.168.0.1～254のいずれか(コンピュータと異なるもの)
サブネットマスク	: 255.255.255.0
ゲートウェイ	: 192.168.0.1～254のいずれか
DNSサーバー	: 0.0.0.0
DHCP有効	: オフ

以下の説明は、下記の環境を例にしています。

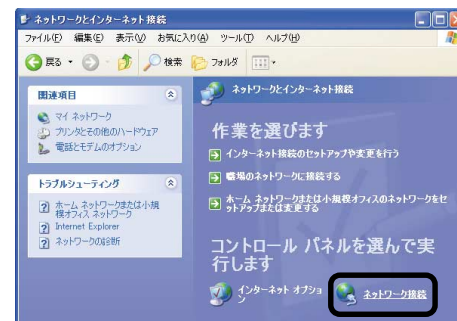
Windows OS	: WindowsXP Home Edition
サブネットマスク	: 255.255.255.0
ゲートウェイアドレス	: 192.168.0.1

1 MFP とコンピュータの電源を ON にします。

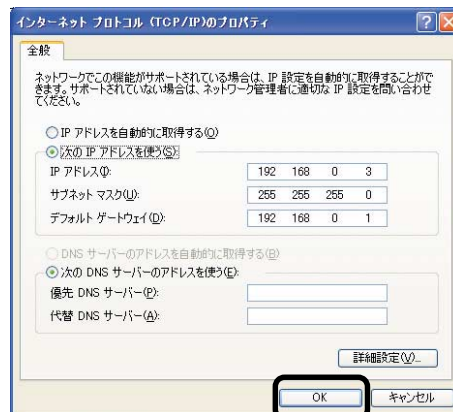
2 Windows に IP アドレス等を設定します。

- すでにWindowsにIPアドレス等を設定したり、自動取得している場合は、「MFPにIPアドレスを設定します」(49ページ)へ進みます。
- Windows98/Me/NT4.0 のIP アドレス等の設定方法は[スタート]-[ヘルプ]をご覧ください。

❶ Windowsを起動します。

❷ [スタート]-[コントロールパネル]-[ネットワークとインターネット接続]-[ネットワーク接続]を選択します。
(Windows Server 2003では[スタート]-[コントロールパネル]-[ネットワーク接続]を選択します。
Windows2000では[スタート]-[設定]-[ネットワークとダイアルアップ接続]を選択します。)

❸ [ローカルエリア接続]をダブルクリックし、[プロパティ]をクリックします。

❹ [インターネットプロトコル(TCP/IP)]を選択し、[プロパティ]をクリックします。

❺ IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、DNSサーバを入力し、[OK]をクリックします。

メモ

- DHCPサーバからIPアドレスを自動取得する場合は、「IPアドレスを自動的に取得する」を選択し、IPアドレスは入力しません。
- デフォルトゲートウェイやDNSサーバを使用しない場合は、入力しません。

❻ [ローカルエリア接続]を閉じます。

MFPにIPアドレスを設定します

MFPにIPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスを設定します

ここでは、IPアドレス、サブネットマスク、およびゲートウェイアドレスを、以下のように設定する場合を例にしています。

例　ＩＰアドレス　　　：１９２．１６８．０．２
　　サブネットマスク　：２５５．２５５．２５５．０
　　ゲートウェイアドレス：１９２．１６８．０．１

注 すでにMFPにIPアドレス等を設定しているか、または自動取得している場合は、「Windowsにセットアップします」(53ページ)へ進みます。

❶ MFPの電源をONにします。

アテサキ:
ケンメイ:

❷ ◎「メニュー」ボタンを押します。

プリンタ ジョウホウ シュトクチュウ

インフォメーション
プリンタ メニュー

❸ ▽ キーを2回押し、[ネットワークセッテイ]を選択します。

プリンタ メニュー
ネットワークセッテイ

❹ ○「選択」ボタンを押します。

IP アドレス
サブネットマスク

❺ [IPアドレス]が選択されていることを確認し ○「選択」ボタンを押すと、以下の画面が表示されます。

IP アドレス
0 . 0. 0. 0

❻「数字」ボタンを押して、IPアドレスを入力します。

例のIPアドレスを入力する場合は、「数字」ボタンの「1」ボタンを押し、「9」ボタンを押し、続いて「2」ボタンを押します。

IP アドレス
192.0 . 0. 0

注 ここでは例の場合の数字を入力しています。

「1」ボタンを押し、「6」ボタンを押し、続いて「8」ボタンを押します。

IP アドレス
192.168.0 . 0

「0」を押し、続いて「.」ボタンを押します。

IP アドレス
192.168. 0.0

「2」ボタンを押します。

IP アドレス
192.168. 0.2

❼ ○「選択」ボタンを押します。

IP アドレス 192.168. 0. 2
サブネットマスク

❽ ▽ キーを1回押して、[サブネットマスク]を選択します。

IP ｱﾄﾞﾚｽ 192.168. 0. 2
ｻﾌﾞﾈｯﾄﾏｽｸ

❾ 「選択」ボタンを押します。

ｻﾌﾞﾈｯﾄﾏｽｸ
 0. 0. 0. 0

❿ IPアドレスと同様に、「数字」ボタンを使ってサブネットマスクを入力します。

ｻﾌﾞﾈｯﾄﾏｽｸ
255.255.255.0_

ここでは例の場合の数字を入力してします。

⓫ 「選択」ボタンを押します。

IP ｱﾄﾞﾚｽ 192.168. 0. 2
ｻﾌﾞﾈｯﾄﾏｽｸ 255.255.255. 0

⓬ ▽ キーを1回押して、[ゲートウェイ アドレス]を選択します。

ｻﾌﾞﾈｯﾄﾏｽｸ 255.255.255. 0
ｹﾞｰﾄｳｪｲｱﾄﾞﾚｽ

⓭ 「選択」ボタンを押します。

ｹﾞｰﾄｳｪｲ ｱﾄﾞﾚｽ
 0. 0. 0. 0

⓮ IPアドレスと同様に、「数字」ボタンを使ってゲートウェイアドレスを入力し、「選択」ボタンを押します。

ｹﾞｰﾄｳｪｲ ｱﾄﾞﾚｽ
192.168. 0.1_

ここでは例の場合の数字を入力してします。

ｻﾌﾞﾈｯﾄﾏｽｸ 255.255.255. 0
ｹﾞｰﾄｳｪｲｱﾄﾞﾚｽ 192.168. 0. 1

メモ スキャナシステムファームウェアVer1.3より前のバージョンでは、「選択」ボタンを押す必要はありません。

⓯ 「戻る」ボタンを押します。

ﾌﾟﾘﾝﾀ ﾒﾆｭｰ
ﾈｯﾄﾜｰｸｾｯﾃｲ

⓰ 「戻る」ボタンを押します。
フラッシュアップデートを表示した後、スキャナーの電源OFF/ONを促すメッセージが表示されます。

スキャナーの電源OFF/ON後に設定が有効になります。

ﾌﾗｯｼｭ ｱｯﾌﾟﾃﾞｰﾄ
-ｺｳｼﾝ

ｽｷｬﾅｰ ﾉ ﾃﾞﾝｹﾞﾝｦ ｷｯﾃｶﾗ
ｻｲﾄﾞ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ

IPアドレスとゲートウェイアドレスのネットワークアドレス部の値が一致していない場合、操作パネル表示部に「セッテイ　ムコウ」と表示されます。

スキャンTo Eメールを使用する場合、「MFPにメールサーバを設定します」(51ページ)へ進みます。
スキャンTo Eメールを使用しない場合は、「Windowsにセットアップします」(53ページ)へ進みます。

メモ IP アドレス、サブネットマスク、およびゲートウェイアドレスは、OKIMFP ネットワークセットアップツールまたは Web ブラウザからも設定できます。詳しくは、OKIMFP ネットワークセットアップツールのヘルプをご覧ください。

- [DHCPユウコウ]の設定が「オン」の場合、設定変更後にスキャナーの電源をOFF/ONすると、DHCPサーバーの検索が実行され、設定が反映されません。
- ネットワーク環境に同一のIPアドレスが存在する場合、本製品のネットワーク機能が無効になります。

MFPにメールサーバーを設定します

MFPにメールサーバーのIPアドレスを設定します

ここでは、メールサーバー(SMTPサーバー)のIPアドレスが「192.168.0.4」の場合を例にしています。
メールサーバーのIPアドレスの代わりにメールサーバー名を入力しても設定することができます。

メモ　スキャンTo Eメールを利用する場合に設定します。利用しない場合は、設定する必要はありません。

❶ 「メニュー」ボタンを押します。

プリンタ ジョウホウ シュトクチュウ

インフォメーション
プリンタ メニュー

❷ ▽ キーを3回押し、[メール サーバー セッテイ]を選択します。

ネットワークセッテイ
メール サーバー セッテイ

❸ 「選択」ボタンを押します。

SMTP サーバー
SMTP ポート

❹ [SMTP サーバー]が選択されていることを確認し 「選択」ボタンを押すと、以下の画面が表示されます。

SMTP サーバー
_

❺ 「数字」ボタンを押して、SMTPサーバーのIPアドレスを入力します。
例のSMTPサーバーのIPアドレス「192.168.0.4」を以下手順で入力します。まず「数字」ボタンの「1」ボタンを押し、「9」ボタンを押し、続いて「2」ボタンを押します。

SMTP サーバー
192_

注　ここでは例の場合の数字を入力してします。

❻ 「.」ボタンを押します。

SMTP サーバー
192._

❼ 「1」ボタンを押し、「6」ボタンを押し、続いて「8」ボタンを押します。

SMTP サーバー
192.168_

注　ここでは例の場合の数字を入力してします。

❽ 「.」ボタンを押します。

SMTP サーバー
192.168._

❾ 「0」ボタンを押します。

SMTP サーバー
192.168.0_

注　ここでは例の場合の数字を入力してします。

3
MFPにメールサーバーを設定します

⑩「 . 」ボタンを押します。

SMTP ｻｰﾊﾞｰ
192.168.0._

⑪「 4 」ボタンを押します。

SMTP ｻｰﾊﾞｰ
192.168.0.4_

ここでは例の場合の数字を入力してします。

⑫ 「選択」ボタンを押します。

SMTP ｻｰﾊﾞｰ: 192.168.0.4
SMTP ﾎﾟｰﾄ: 25

メモ　スキャナシステムファームウェアVer1.3より前のバージョンでは、「選択」ボタンを押す必要はありません。

⑬ 「戻る」ボタンを押します。

ﾌﾗｯｼｭｱｯﾌﾟﾃﾞｰﾄ
-ｺｳｾｲ

↓

ﾌﾗｯｼｭｱｯﾌﾟﾃﾞｰﾄ
-ｾｲｺｳ

ﾈｯﾄﾜｰｸｾｯﾃｲ
ﾒｰﾙ ｻｰﾊﾞｰ ｾｯﾃｲ

⑭ 「戻る」ボタンを押します。待機状態に戻ります。

ｱﾃｻｷ:
ｹﾝﾒｲ:

メモ　メールサーバーは、OKIMFPネットワークセットアップツールまたはWebブラウザからも設定できます。詳しくは、OKIMFPネットワークセットアップツールのヘルプをご覧ください。
なお、SMTPサーバーを設定の際は、宛先間違いなどで誤送信されたEメールがSMTPサーバーに滞留してしまうことを防ぐために「発信者名（標準)」を設定することをお勧めします。

Windowsにセットアップします

1 ドライバソフトウェアをインストールします。

❶MFPの電源がONで、Windowsが起動していることを確認し、MFP添付の「MFPソフトウェアCD-ROM」をセットします。

❷[マイコンピュータ](WindowsXP/Server2003では「スタート」-「マイコンピュータ」)を開きます。

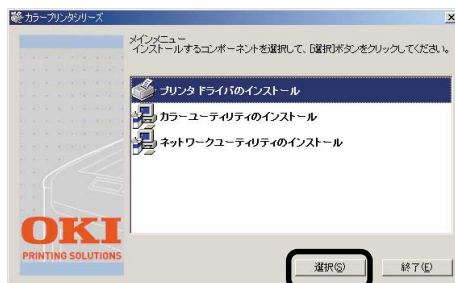
マイ コンピュータ

❸[5510MFP]CD-ROMアイコンをダブルクリックします。

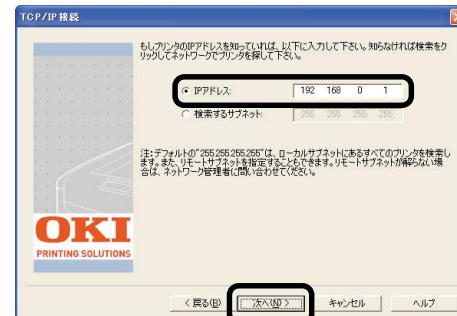
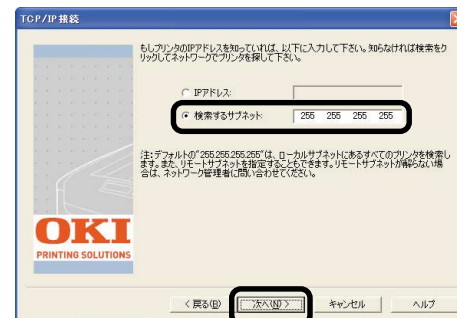
❹[SETUP]アイコンをダブルクリックします。

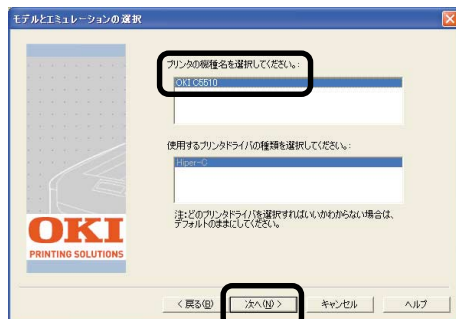
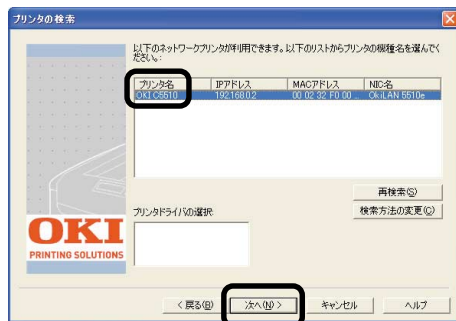
セットアッププログラムが起動します。

❺「使用許諾契約」をよく読み、[同意する]をクリックします。

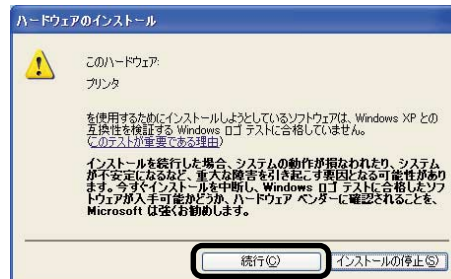
❻[プリンタドライバのインストール]を選択し、[選択]をクリックします。

❼[ネットワークプリンタ]を選択し、[次へ]をクリックします。

❽[TCP/IPプロトコル]を選択し、[次へ]をクリックします。

❾MFPのIPアドレスを入力し、[次へ]をクリックします。

MFPのIPアドレスが自動取得の場合や、IPアドレスがわからない場合は、[検索するサブネット]を選択し、[次へ]をクリックします。

WindowsXP Service Pack 2をお使いの方で、検索ができない場合は、10章の「WindowsXP Service Pack 2に関する制限事項」(179ページ)を参照してください。

⑩ 手順❾でMFPのIPアドレスを入力した場合、OKI C5510を選択し、[次へ]をクリックします。

手順❾で[検索するサブネット]を選択した場合、検索されたプリンタリスト画面が表示されるので、C5510を選択し、[次へ]をクリックします。

⑪ プリンタ名を入力し、[通常使うプリンタに設定する]にチェックを付け、[次へ]をクリックします。

⑫ 共有するか確認の画面が表示されるので、[共有しない]を選択し、[次へ]をクリックします。

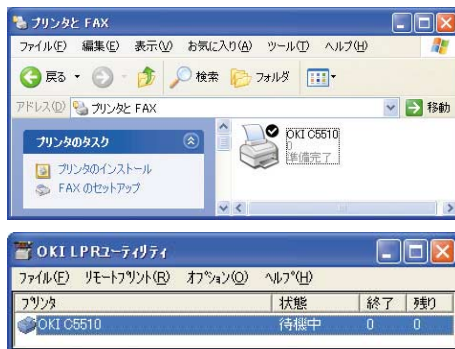
⑬「ハードウェアのインストール」画面が表示される場合は、[続行]をクリックします。

プリンタドライバ、OKI LPRユーティリティ、Network Extensionがインストールされます。

「コンピュータの再起動」画面が表示されたら?

☞ ⑯へ進みます。

⑭ [完了]をクリックします。

⑮ [終了]をクリックします。

[プリンタとFAX]または[プリンタ]フォルダにプリンタアイコンが表示され、OKI LPRユーティリティにプリンタ名が追加されると、セットアップは終了です。

メモ MFPのIPアドレスを自動取得している場合は、OKI LPRユーティリティ「オプション」メニューの［設定］を選択し、［自動的にIPアドレスを再設定する］にチェックを付け、［OK］をクリックします。

☞ ⑬からの続き

⑯ [完了]をクリックし、コンピュータを再起動します。

[プリンタとFAX]または[プリンタ]フォルダにプリンタアイコンが表示され、OKI LPRユーティリティにプリンタ名が追加されると、セットアップは終了です。

メモ MFP の IP アドレスを自動取得している場合は、OKI LPR ユーティリティ「オプション」メニューの［設定］を選択し、［自動的に IP アドレスを再設定する］にチェックを付け、［OK］をクリックします。

2 5章「コンピュータから印刷します」（101ページ）へ進みます。

ドライバソフトウェアを削除するには

- WindowsXP/2000/NT4.0/Server2003はコンピュータの管理者の権限が必要です。
- Windowsが起動されている場合は再起動してください。

❶[スタート]-[コントロールパネル]-[プリンタとその他のハードウェア]-[プリンタとFAX]を選択します。(Windows Server 2003では[スタート]-[設定]-[プリンタとFAX]を選択します。Windows2000/NT4.0/Me/98では[スタート]-[設定]-[プリンタ]を選択します。)

❷[OKI C5510]アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、[削除]を選択します。

❸以降、画面の指示に従います。

WindowsXP/2000/Server2003の場合は、❹、❺の作業を行ってください。

❹「プリンタとFAX」フォルダ(Windows2000では「プリンタ」フォルダ)の[ファイル]-[サーバーのプロパティ]を選択します。

❺[ドライバ]タブで、該当する機種名を選択し、[削除]をクリックします。

❻Windowsを再起動します。

プリンタドライバと一緒にインストールされるOKI LPRユーティリティとNetwork Extensionは、プリンタドライバの削除をしても削除されません。
OKI LPRユーティリティとNetwork Extensionを削除する場合は、応用編1章「Windowsソフトウェア」の「OKI LPRユーティリティ」、「Network Extension」をご覧ください。

プリンタドライバをアップデートするには

- WindowsXP/2000/NT4.0/Server2003はコンピュータの管理者の権限が必要です。
- Windowsが起動されている場合は再起動してください。

❶ コンピュータとMFPを接続し、MFPの電源をONにします。

❷ [スタート]-[コントロールパネル]-[プリンタとその他のハードウェア]-[プリンタとFAX]を選択します。(Windows Server 2003では[スタート]-[設定]-[プリンタとFAX]を選択します。Windows2000/NT4.0/Me/98では[スタート]-[設定]-[プリンタ]を選択します。)

❸ [OKI C5510]アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、[プロパティ]を選択します。

❹ [全般]タブの[テストページの印刷]をクリックします。(Windows Me/98の場合、[全般]タブの[印字テスト]をクリックします。)

❺ 確認画面が表示されたら、[OK]をクリックします。

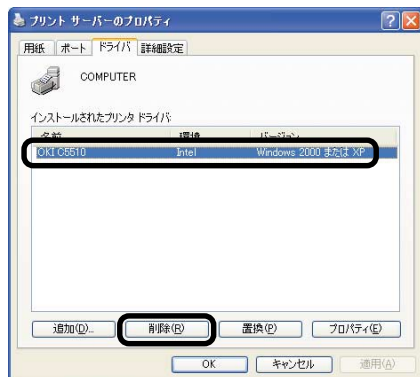
テストページが印刷されます。

❻ MFPの電源をOFFにします。

❼ [OKI C5510]アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、[削除]を選択します。

ドライバのアップデートを確実に行うために、アップデートするプリンタドライバと同じ機種のすべてのプリンタドライバを削除してください。

❽ 以降、画面の指示に従います。

WindowsXP/2000/Server2003の場合は、❾～❿の作業を行ってください。

❾「プリンタとFAX」フォルダ(Windows200では「プリンタ」フォルダ)の[ファイル]-[サーバーのプロパティ]を選択します。

❿[ドライバ]タブで、該当する機種名を選択し、[削除]をクリックします。

⓫ Windowsを再起動します。

⓬ 新しいプリンタドライバをセットアップします。
詳しくは、3章～5章をご覧ください。

注
- 必ずMFPの電源がONになっていることを確認してください。
- WindowsXPでは、プリンタのインストールでセットアップします。

⓭ ❶～❺の手順でテストページを印刷し、新しいプリンタドライバのバージョンを確認します。

WindowsMe/98
[ドライバで使用されるファイル]以下に記載されているバージョン

WindowsXP/2000/Server2003
[このドライバが使う追加ファイル]以下に記載されているバージョン

WindowsNT4.0
[このドライバが使うファイル]以下に記載されているバージョン

注
テストページ上に記載される[ドライバのバージョン](Windows Me/98の場合、[ドライバ　バージョン])には固定のバージョン番号が記載されます。この内容はプリンタドライバをアップデートしても更新されません。

印刷できないときには

最初に確認します

現象

- LINKランプ(緑)を確認します。点灯していない場合は、ネットワークが正常に動作していない状態です。
- TX/RXランプ(緑)を確認します。点滅していない場合は、ネットワークが正常に動作していない状態です。
- ハブのLINKランプが点灯しません。
- Pingに応答が返りません。
- 不完全な印刷となったり、印刷がキャンセルされます。

ネットワーク接続が原因の場合

- MFPの電源がONになっていることを確認します。
- ケーブルが確実にMFPのスキャナー部に接続していることを確認します。
- 正しいケーブルで接続されていることを確認します。ケーブルには、ストレートケーブルとクロスケーブルの2種類が存在します。ハブとの接続にはストレートケーブルを使用します。
- ケーブルを接続してからMFPの電源をONにします。ケーブルを接続しないで先にMFPの電源をONにするとネットワークで接続できないことがあります。

それでも問題が解決しない場合

WindowsMe/98

- [スタート]-[設定]-[コントロールパネル]-[ネットワーク]-[ネットワークの設定タブ]-[現在のネットワークコンポーネント]で、[TCP/IP → ***](***はアダプタ名)が表示されていることを確認します。
- [TCP/IP → ***](***はアダプタ名)の[プロパティ]で、[IPアドレス],[サブネットマスク],[ゲートウェイ]が正しいか確認します。
- OKI LPRユーティリティの「状態」を確認します。「停止中」になっている場合は停止中のプリンタを選択して、[リモートプリントメニュー]-[一時停止]のチェックを外します。
- 「OKI LPRユーティリティ」画面で、[使用しているプリンタ]を選択してから[リモートプリントメニュー]-[プリンタの再設定]を選択し、[IPアドレス]がMFPのIPアドレスと一致しているか確認します。
  OKI LPRユーティリティの最新版は沖データホームページ(http://www.okidata.co.jp)で入手できます。バージョンが古い場合は、一旦“OKI LPRユーティリティを削除”してから最新版をインストールしてください。
- 小規模ネットワークの場合、次のように設定してください。

[IPアドレス]	Windows	192.168.0.3
	MFP	192.168.0.2
[サブネットマスク]	Windows	255.255.255.0
	MFP	255.255.255.0
[ゲートウェイ]	Windows	使用しません
	MFP	192.168.0.254

WindowsXP/2000/Server2003

- [スタート]-[コントロールパネル]-[ネットワークとインターネット接続]-[ネットワーク接続]を選択します。
  (Windows Server 2003 では[スタート]-[コントロールパネル]-[ネットワーク接続]を選択します。
  Windows2000 では[スタート]-[設定]-[ネットワークとダイアルアップ接続]を選択します。)
  [ローカルエリア接続]をダブルクリックし、[プロパティ]に[インターネットプロトコル(TCP/IP)]が表示されていることを確認します。
- [インターネットプロトコル(TCP/IP)]の[プロパティ]をクリックし、[IPアドレス],[サブネットマスク],[デフォルトゲートウェイ]が正しいことを確認します。
- セットアップ時にIPアドレスでMFPを指定した場合は、各オクテットの先頭を「0」にしないでください。例えば、「192.169.1.2」のように設定してください。「192.169.001.002」のように設定すると正しく印刷することができません。これはWindowsXP/2000/Server2003の仕様によるものです。
- [プリンタとFAX](Windows2000 は[プリンタ])フォルダから、[OKI C5510]アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、[プロパティ]を選択し、[ポート]タブの[ポートの構成]をクリックして[プリンタ名またはIPアドレス]が、プリンタのIPアドレスと一致しているか確認します。
- 「OKI LPRユーティリティ」画面で、[使用しているプリンタ]を選択してから[リモートプリントメニュー]-[プリンタの再設定]を選択し、[IPアドレス]がMFPのIPアドレスと一致しているか確認します。
  OKI LPRユーティリティの最新版は沖データホームページ(http://www.okidata.co.jp)で入手できます。バージョンが古い場合は、一旦“OKI LPRユーティリティを削除”してから最新版をインストールしてください。
- OKI LPRユーティリティの「状態」を確認します。「停止中」になっている場合は停止中のプリンタを選択して、[リモートプリントメニュー]-[一時停止]のチェックを外します。
- 小規模ネットワークの場合、次のように設定してください。

[IPアドレス]	Windows	192.168.0.3
	MFP	192.168.0.2
[サブネットマスク]	Windows	255.255.255.0
	MFP	255.255.255.0
[ゲートウェイ]	Windows	使用しません
	MFP	162.168.0.254

WindowsNT4.0

- [スタート]-[設定]-[コントロールパネル]-[ネットワーク]をダブルクリックし、[プロトコルタブ]の[ネットワークプロトコル]で[TCP/IPプロトコル]が表示されていることを確認します。
- [TCP/IPプロトコル]の[プロパティ]で、[IPアドレス],[サブネットマスク],[デフォルトゲートウェイ]が正しいことを確認します。
- 「OKI LPRユーティリティ」画面で、[使用しているプリンタ]を選択してから[リモートプリントメニュー]-[プリンタの再設定]を選択し、[IPアドレス]がMFPのIPアドレスと一致しているか確認します。
  OKI LPRユーティリティの最新版は沖データホームページ(http://www.okidata.co.jp)で入手できます。バージョンが古い場合は、一旦“OKI LPRユーティリティを削除”してから最新版をインストールしてください。
- OKI LPRユーティリティの「状態」を確認します。「停止中」になっている場合は停止中のプリンタを選択して、[リモートプリントメニュー]-[一時停止]のチェックを外します。
- 小規模ネットワークの場合、次のように設定してください。

[IPアドレス]	Windows	192.168.0.3
	MFP	192.168.0.2
[サブネットマスク]	Windows	255.255.255.0
	MFP	255.255.255.0
[ゲートウェイ]	Windows	使用しません
	MFP	192.168.0.254

4 USB 接続で Windows にセットアップします

動作環境

ドライバのバージョンアップにより、本書の記載と異なる場合があります。

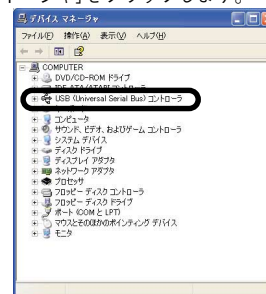
- Windows Server 2003
  Windows Server 2003日本語版の動作するコンピュータ
  IBM PC/AT互換機でUSBインタフェースを搭載している機種
- WindowsXP
  WindowsXP日本語版の動作するコンピュータ
  IBM PC/AT互換機、PC98-NX(PC-9821を除く)でUSBインタフェースを搭載している機種
- WindowsMe/98
  WindowsMe/98日本語版の動作するコンピュータ
  IBM PC/AT互換機、PC98-NX(PC-9821を除く)でUSBインタフェースを搭載している機種
- Windows2000
  Windows2000日本語版の動作するコンピュータ
  IBM PC/AT互換機、PC98-NX(PC-9821を除く)でUSBインタフェースを搭載している機種

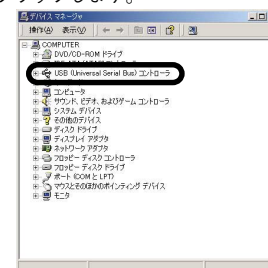
- Windows95/3.1からアップグレードインストールしたWindows Me/98での動作は保証できません。
- 日本語以外のOSには対応していません。
- MS-DOSおよびWindowsのコマンドプロンプト/DOSプロンプトでは動作しません。
- Windows95/3.1/NT4.0/NT3.51では動作しません。
- 印刷中にUSBケーブルを抜き差ししないでください。
- USBケーブルを短時間で抜き差ししないでください。抜き差しする間隔は5秒間以上あけてください。
- 他の全てのUSB機器との同時接続を保証するものではありません。
- 同一機種のMFPを複数台接続すると、プリンタフォルダに「OKI C5510」「OKI C5510(コピー2)」「OKI C5510(コピー3)」と表示されます。この番号はMFPを接続する順序や電源をONする順序によって変わります。
- Windows Server 2003、WindowsXPは、32ビット版のみ対応しています。

メモ

- USBケーブルは、製品に添付されているUSBケーブル(長)をご使用ください。
- 市販のUSBケーブルをご使用になる場合は、USB2.0仕様で長さ2m以内のものをお使いください。
- USB2.0の「Hi-Speed」モード(最大転送速度480Mbps)で使用するには、WindowsXP/2000で、USB2.0対応のインタフェースを搭載しているコンピュータを使用し、Microsoft社が公開しているUSB2.0ドライバがインストールされている必要があります。
- お使いのコンピュータがUSBに対応しているか確認できます。

〈WindowsXP/Server2003〉

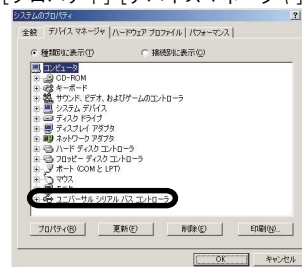
[スタート]-[マイコンピュータ]をマウスの右ボタンでクリックし、[プロパティ]-[ハードウェア]タブを開き、[デバイスマネージャ]をクリックします。

〈Windows2000〉

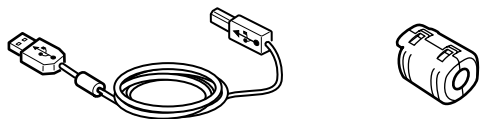
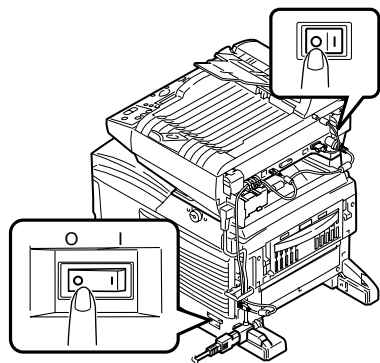
[マイコンピュータ]をマウスの右ボタンでクリックし、[プロパティ]-[ハードウェア]タブを開き、[デバイスマネージャ]をクリックします。

〈WindowsMe/98〉

[マイコンピュータ]をマウスの右ボタンでクリックし、[プロパティ]-[デバイスマネージャ]タブを開きます。

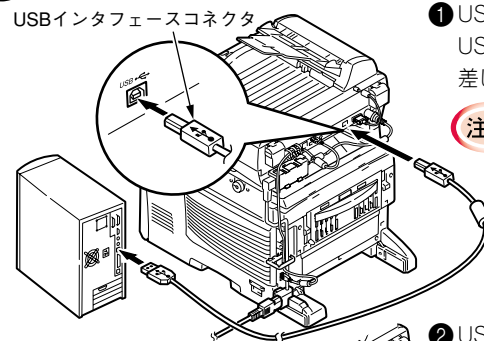
(WindowsMeの画面)

4

動作環境

ケーブルを接続します

1 USBケーブル(長)とコア(白・大)を準備します。

2 MFPとコンピュータの電源をOFFにします。

メモ USBケーブルはコンピュータ、MFPの電源がONの状態でも抜き差しできますが、この後のプリンタドライバ、USBドライバのインストールを確実に行うために、ここではMFPの電源をOFFにしておきます。

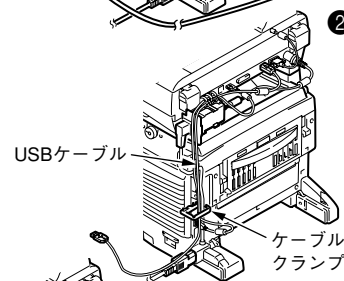
3 USBケーブル(長)を接続します。

USBインタフェースコネクタ

❶ USBケーブルをプリンタのUSBインタフェースコネクタに差し込みます。

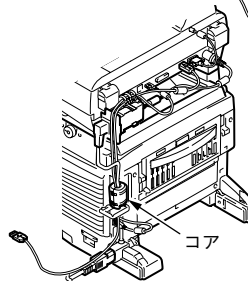
注 USBケーブルをネットワークインタフェースコネクタに差し込まないよう注意してください。故障の原因となります。

❷ USBケーブルをケーブルクランプに通します。

USBケーブル

ケーブルクランプ

❸ USBケーブル(長)をコピー用のUSBケーブル(短)と合わせてコア(白・大)を取り付けます。

❹ USBケーブルをコンピュータのUSBインタフェースコネクタに差し込みます。

コア

メモ USB接続のセットアップ手順は、WindowsXP/Server2003の場合、「WindowsXP/Server2003にセットアップします」(66ページ)、Windows2000の場合、「Windows2000にセットアップします」(72ページ)、WindowsMe/98の場合、「WindowsMe/98にセットアップします」(76ページ)をご覧ください。

WindowsXP/Server2003にセットアップします

- WindowsXP/Server2003をお使いの方だけご覧ください。
- コンピュータの管理者の権限が必要です。

- **USBインタフェースで接続する場合、プリンタのインストール、セットアッププログラムでセットアップすると、MFPとWindowsXP/Server2003を起動するたびに「新しいハードウェアの検出ウィザード」が表示されます。WindowsXP/Server2003で初めてセットアップする場合は、必ずプラグアンドプレイでセットアップしてください。**

以下の説明はWindowsXP Home Editionを例にしています。

プラグアンドプレイでセットアップします

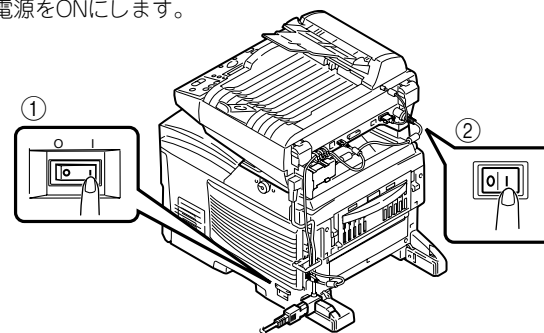
1 コンピュータの電源をONにし、Windowsを起動します。

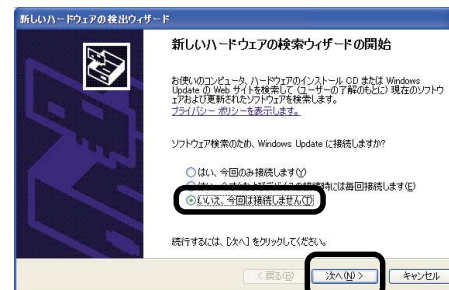
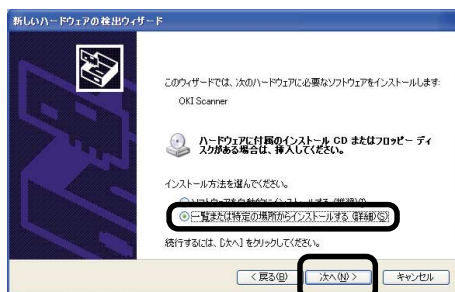
WindowsXP/Server2003のCD-ROMドライブを確認します。

❶ [スタート]-[マイコンピュータ]を選択します。

❷ [リムーバブル記憶域があるデバイス]-[CDドライブ(D:)]のカッコ内に表示されている英文字を確認します。

この場合は、[D]がCD-ROMのドライブです。

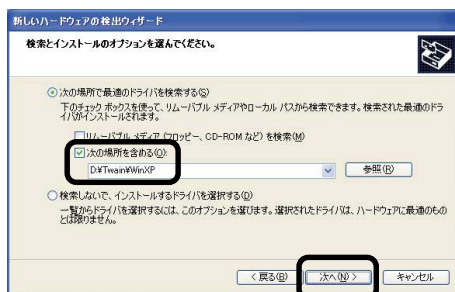
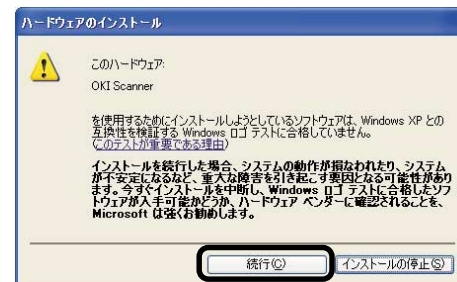
2 スキャナドライバをインストールします。

❶ MFPの電源をONにします。

❷「新しいハードウェアの検出ウィザード」画面で次の画面が表示されたら、[いいえ、今回は接続しません]を選択し、[次へ]をクリックします。

❸ [一覧または特定の場所からインストールする(詳細)]を選択し、[次へ]をクリックします。

画面が表示されなかったら?
☞ 「WindowsXP/Server2003で「新しいハードウェアの検出ウィザード」が表示されない場合」(88ページ)へ進みます。

❹ 「MFPソフトウェアCD-ROM」をセットします。

❺ [次の場所で最適のドライバを検索する]を選択し、[リムーバブルメディア(フロッピー、CD-ROMなど)を検索]のチェックを外します。

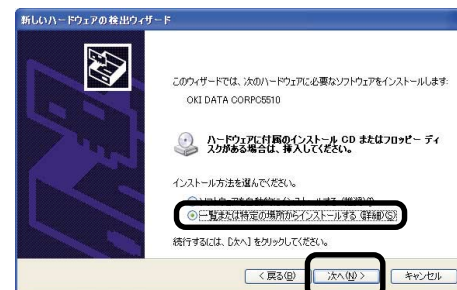
❻ [次の場所を含める]にチェックを付け、次のように入力し、[次へ]をクリックします。

ここではCD-ROMドライブがD:の場合を例にしています。
D:¥Twain¥WinXP

❼ 「ハードウェアのインストール」画面が表示されたら、[続行]をクリックします。

ファイルのコピーが開始されます。

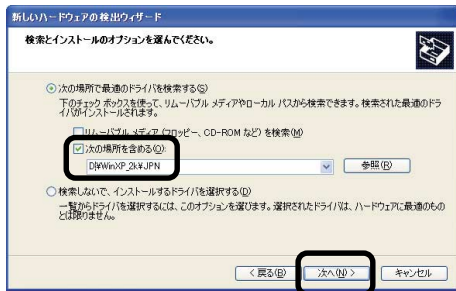
❽ [完了]をクリックします。

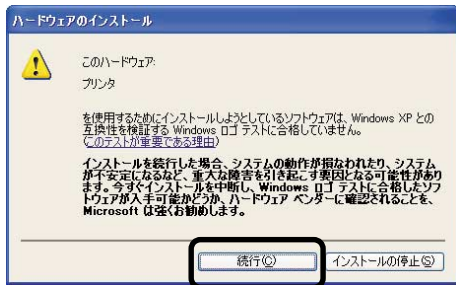
3 プリンタドライバをインストールします。

❶ 次にMFPが検出され、「新しいハードウェアの検出ウィザード」画面で次の画面が表示されたら、[いいえ、今回は接続しません]を選択し、[次へ]をクリックします。

❷ [一覧または特定の場所からインストールする(詳細)]を選択し、[次へ]をクリックします。

❸ [次の場所で最適のドライバを検索する]を選択し、[リムーバブルメディア(フロッピー、CD-ROMなど)を検索]のチェックを外します。

❹［次の場所を含める］にチェックを付け、次のように入力し、［次へ］をクリックします。

ここではCD-ROMドライブがD:の場合を例にしています。
D:¥WinXP_2k¥JPN

注 「下の一覧からハードウェアに最適なソフトウェアを選んで下さい」画面が表示されたら、入力した場所が同じでかつバージョン番号の最も大きなものをリストから選択し、［次へ］をクリックします。

❺「ハードウェアのインストール」画面が表示されたら、［続行］をクリックします。

ファイルのコピーが開始されます。

「ディスクの挿入」画面が表示されたら？

☞ ⓫へ進みます。

❻［完了］をクリックします。

❼［スタート］-［コントロールパネル］を選択し、［プリンタとその他のハードウェア］をクリックします。

❽「コントロールパネルを選んで実行します」の［プリンタとFAX］をクリックします。
（Windows Server2003の場合、［スタート］-［プリンタとFAX］を選択します。）

プリンタアイコンが表示されていることを確認します。

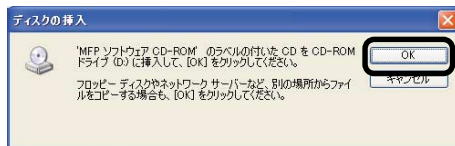
❾［スタート］-［コントロールパネル］を選択し、［プリンタとその他のハードウェア］をクリックします。

❿「コントロールパネルを選んで実行します」の［スキャナとカメラ］をクリックします。

スキャナアイコンが表示されていることを確認します。

セットアップは完了です。

☞ ❺からの続き

⓫「ディスクの挿入」画面が表示されたら、「MFPソフトウェアCD-ROM」をセットし、[OK]をクリックします。

⓬[製造元のファイルのコピー元]に次のように入力し、[OK]をクリックします。

ここではCD-ROMドライブがD:の場合を例にしています。
D:¥WinXP_2k¥JPN

ファイルのコピーが開始されます。

⓭[完了]をクリックします。

⓮[スタート]-[コントロールパネル]を選択し、[プリンタとその他のハードウェア]をクリックします。

⓯「コントロールパネルを選んで実行します」の[プリンタとFAX]をクリックします。（Windows Server2003の場合、[スタート]-[プリンタとFAX]を選択します。）

プリンタアイコンが表示されていることを確認します。

⓰[スタート]-[コントロールパネル]を選択し、[プリンタとその他のハードウェア]をクリックします。

⓱「コントロールパネルを選んで実行します」の[スキャナとカメラ]をクリックします。

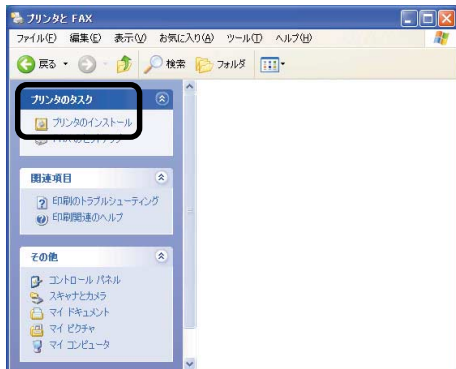
スキャナアイコンが表示されていることを確認します。

セットアップは完了です。

プリンタのインストールでセットアップします

❶ コンピュータの電源をONにし、[スタート]-[コントロールパネル]を選択し、[プリンタとその他のハードウェア]をクリックします。

❷ [コントロールパネルを選んで実行します]の[プリンタとFAX]をクリックします。(Windows Server2003の場合、[スタート]-[プリンタとFAX]を選択します。)

❸ [プリンタのタスク]-[プリンタのインストール]をクリックします。(Windows Server2003の場合、[プリンタの追加]をダブルクリックします。)

❹「プリンタの追加ウィザード」画面で、[次へ]をクリックします。

❺ [このコンピュータに接続されているローカルプリンタ]を選択し、[次へ]をクリックします。

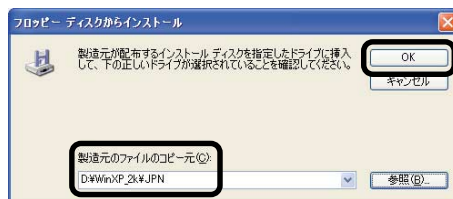
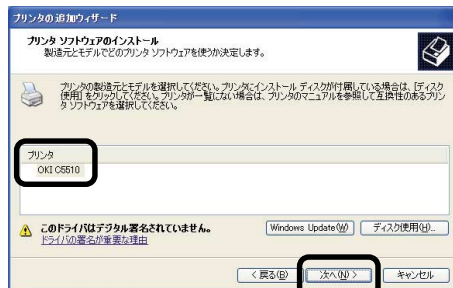
注 [プラグアンドプレイ対応プリンタを自動的に検出してインストールする]のチェックは外してください。

❻「次のポートを使用」画面で[USBxxx](xxxはポートの番号)を選択し、[次へ]をクリックします。

❼ [ディスク使用]をクリックします。

❽「MFPソフトウェアCD-ROM」をセットします。

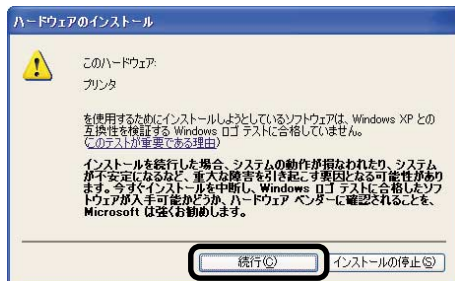
❾ [製造元のファイルのコピー元]に次のように入力し、[OK]をクリックします。

ここではCD-ROMドライブがD:の場合を例にしています。
D:¥WinXP_2k¥JPN

❿ プリンタ名を選択し、[次へ]をクリックします。

⓫ プリンタ名を確認し、通常使うプリンタで[はい]を選択し、[次へ]をクリックします。

メモ 「プリンタ共有」画面が表示されたら、[このプリンタを共有しない]を選択し、[次へ]をクリックします。

⓬ [テストページを印刷しますか?]で[いいえ]を選択し、[次へ]をクリックします。

⓭ [完了]をクリックします。

⓮「ハードウェアのインストール」画面が表示されたら、[続行]をクリックします。

ファイルのコピーが開始されます。

[プリンタとFAX]フォルダにプリンタアイコンが表示されます。

セットアップは完了です。

Windows2000にセットアップします

Windows2000ではコンピュータの管理者の権限が必要です。

1 コンピュータの電源をONにし、Windowsを起動します。

MFPの電源がONになっていると、「新しいハードウェアの追加ウィザード」が表示されます。その場合には、[キャンセル]をクリックし、MFPの電源をOFFにしてから次に進んでください。

2 セットアッププログラムを起動します。

❶「MFPソフトウェアCD-ROM」をコンピュータにセットします。

❷ [マイコンピュータ]を開きます。

❸ [5510MFP]アイコンをダブルクリックして開きます。

❹ [SETUP]アイコンをダブルクリックします。

セットアッププログラムが起動します。

3 プリンタドライバをインストールします。

❶「使用許諾契約」をよく読み、[同意する]をクリックします。

❷ [プリンタドライバのインストール]を選択し、[選択]をクリックします。

❸ [ローカルプリンタ]を選択し、[次へ]をクリックします。

ネットワークで接続する場合は、「3　ネットワーク接続でWindowsにセットアップします」(43ページ)をご覧ください。

❹ ポートで[USB]を選択し、[次へ]をクリックします。

❺プリンタの機種名を選択し、[次へ]をクリックします。

❻「デジタル署名が見つかりませんでした」画面が表示されたら、[はい]をクリックします。

ファイルのコピーが行われます。

❼[完了]をクリックします。

4 スキャナドライバをインストールします。

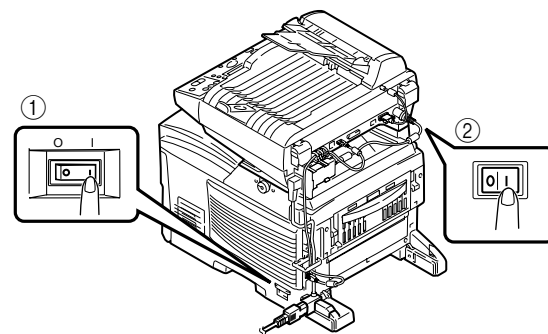
❶「ケーブル接続」の画面が表示されたら、[完了]をクリックします。

「コンピュータの再起動」画面が表示されたら?

☞ 3に進みます。

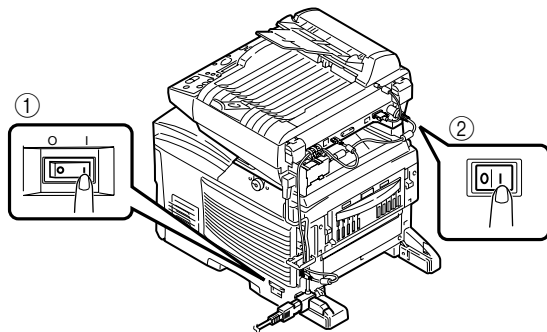
「カラープリンタシリーズ」画面が表示されている場合は、[終了]をクリックします。

❷MFPの電源をONにします。

☞ 5に進みます。

☞ ❶からの続き

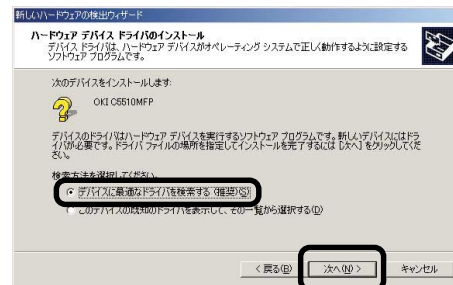
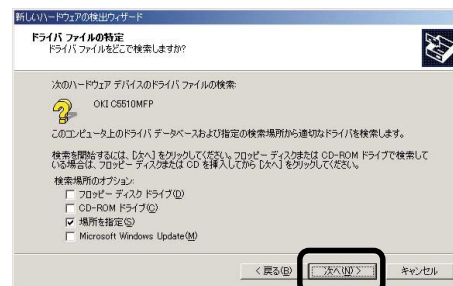
❸ [再起動する]にチェックを付け、[完了]をクリックします。

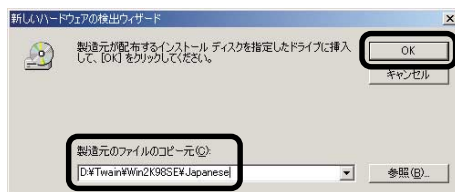
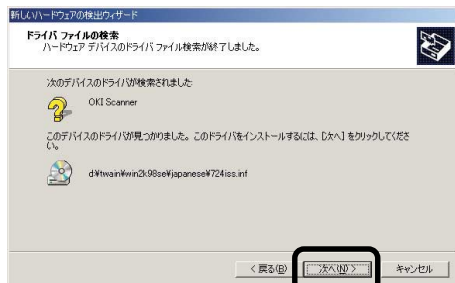
Windowsが再起動されます。

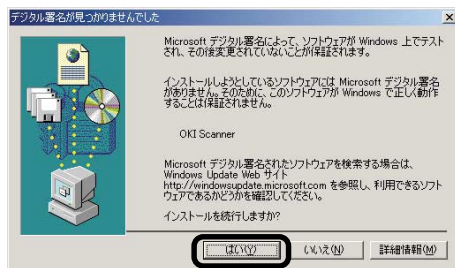
❹ Windowsが完全に起動したら、MFPの電源をONにします。

システム標準のUSBドライバが自動的にインストールされます。1~2分かかることがあります。

MFPが検出されたら、スキャナードライバをインストールします。

❺「新しいハードウェアの検出ウィザード」画面が表示されたら[次へ]をクリックします。

❻ [デバイスに最適なドライバを検索する(推奨)]を選択し、[次へ]をクリックします。

❼ [検索場所のオプション]の[フロッピーディスクドライブ]と[CD-ROMドライブ]のチェックを外し[次へ]をクリックします。

❽ [製造元のファイルのコピー元]に次のように入力し、[OK]をクリックします。

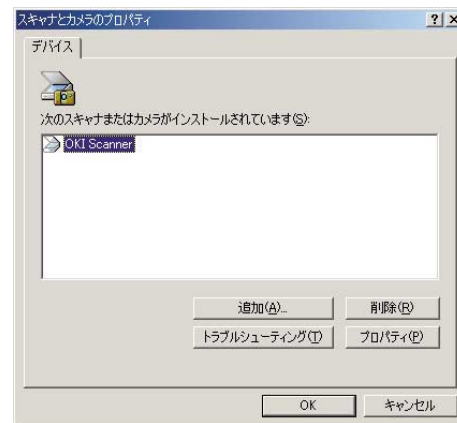
ここではCD-ROMドライブがD:の場合を例にしています。 D:¥Twain¥Win2K98SE¥Japanese

❾ [次へ]をクリックします。

❿「デジタル署名が見つかりませんでした」画面が表示されたら、[はい]をクリックします。

ファイルのコピーが行われます。

⓫ [スタート]-[設定]-[プリンタ]を選択します。

プリンタアイコンが表示されていることを確認します。

⓬ [スタート]-[設定]-[コントロールパネル]-[スキャナとカメラ]を選択します。

スキャナアイコンが表示されていることを確認します。

セットアップは完了です。

WindowsMe/98にセットアップします

1 コンピュータの電源をONにし、Windowsを起動します。

注 MFPの電源がONになっていると、「新しいハードウェアの追加ウィザード」が表示されます。その場合には、[キャンセル]をクリックし、MFPの電源をOFFにしてから次に進んでください。

2 セットアッププログラムを起動します。

❶「MFPソフトウェアCD-ROM」をコンピュータにセットします。

❷[マイコンピュータ]を開きます。

❸[5510MFP]アイコンをダブルクリックして開きます。

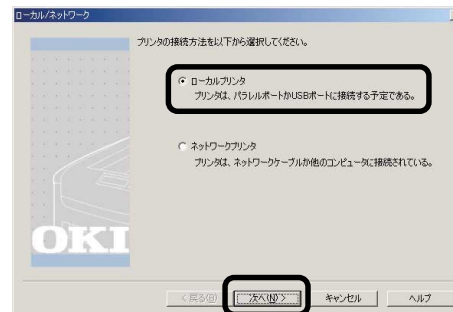
❹[SETUP]アイコンをダブルクリックします。

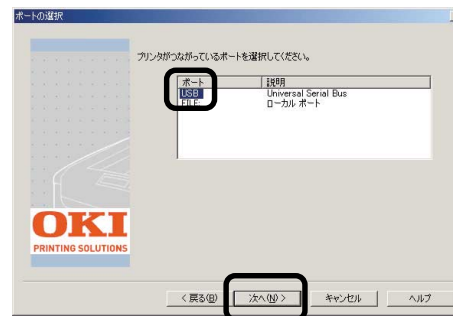
セットアッププログラムが起動します。

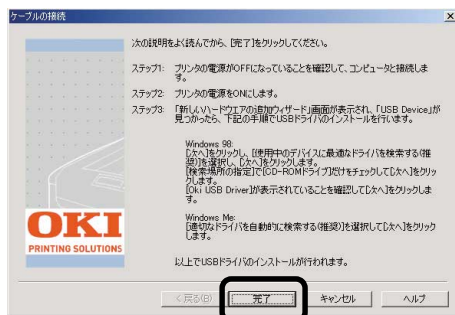
3 プリンタドライバをインストールします。

❶「使用許諾契約」をよく読み、[同意する]をクリックします。

❷[プリンタドライバのインストール]を選択し、[選択]をクリックします。

❸[ローカルプリンタ]を選択し、[次へ]をクリックします。

ネットワークで接続する場合は、「3 ネットワーク接続でWindowsにセットアップします」(43ページ)をご覧ください。

❹ポートで[USB]を選択し、[次へ]をクリックします。

❺プリンタの機種名を選択し、[次へ]をクリックします。

ファイルのコピーが行われます。

❼[完了]をクリックします。

4 スキャナドライバをインストールします。

❶「ケーブル接続」の画面が表示されたら、[完了]をクリックします。

「コンピュータの再起動」画面が表示されたら?
☞ ❷に進みます。

「カラープリンタシリーズ」画面が表示されている場合は、[終了]をクリックします。

❷Windowsが完全に起動したら、MFPの電源をONにします。

USBドライバのインストール方法は、システムによって異なります。

WindowsMeの場合
☞ 78ページに進みます。

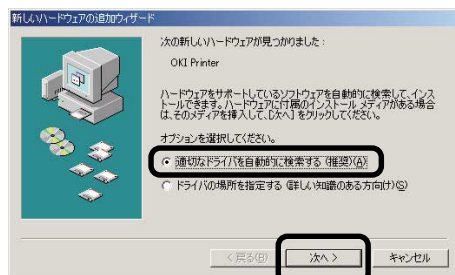
Windows98の場合
☞ 80ページに進みます。

WindowsMeの場合

「新しいハードウェアの追加ウィザード」が表示されます。以下の手順に従ってUSBドライバおよびスキャナードライバをインストールします。

新しいハードウェアの追加ウィザードが表示されない場合は「セットアップがうまくいかないとき」の「WindowsMeで「新しいハードウェアの追加ウィザード」が表示されない場合」(90ページ)をご覧ください。

「新しいハードウェアの追加ウィザード」は、OKI ScannerとOKI Printerの2度表示されます。

「OKI Printer」が表示されている場合
☞ ❶へ進みます。
「OKI Scanner」が表示されている場合
☞ ❼へ進みます。

❶ [適切なドライバを自動的に検索する(推奨)]を選択し、[次へ]をクリックします。

ファイルのコピーが開始されます。

❷ [完了]をクリックします。

引き続き、USBケーブルに接続しているプリンタを自動的に検出します。

「ディスクの挿入」が表示されたら？
☞ ❹へ進みます。

❸ [スタート]-[設定]-[プリンタ]を選択します。

プリンタアイコンが表示されていることを確認します。

プリンタドライバのセットアップは完了です。

続いてスキャナードライバをセットアップします。
☞ ❻へ進みます。

☞ ❷からの続き

❹ [ファイルのコピー元]に次のように入力し、[OK]をクリックします。

ここではCD-ROMドライブがD:の場合を例にしています。
D:¥WIN9X_ME¥JPN

ファイルのコピーが開始されます。

❺ [スタート]-[設定]-[プリンタ]を選択します。

プリンタアイコンが表示されていることを確認します。

プリンタドライバのセットアップは完了です。

続いてスキャナードライバをセットアップします。
☞ ❻へ進みます。

☞ ❸、❺からの続き

❻「新しいハードウェアの追加ウィザード」画面が表示されたら、[ドライバの場所を指定する（詳しい知識のある方向け）]を選択し、[次へ]をクリックします。

❼ [使用中のデバイスに最適なプリンタドライバを検索する（推奨）]を選択し、「リムーバブルメディア（フロッピー、CD-ROMなど）」のチェックを外します。

❽ [検索場所の指定]にチェックを付け、次のように入力し、[次へ]をクリックします。

ここではCD-ROMドライブがD:の場合を例にしています。
D:¥Twain¥Win2K98SE¥Japanese

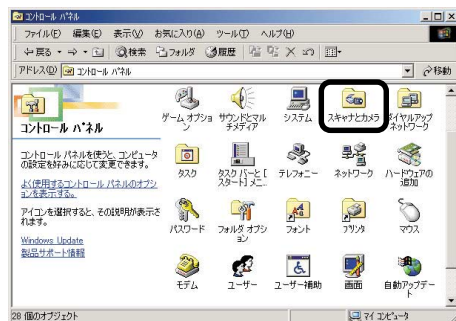
❾ [次へ]をクリックします。

ファイルのコピーが開始されます。

❿ [完了]をクリックします。

⓫ [スタート]-[設定]-[コントロールパネル]を選択します。

⓬［スキャナとカメラ］をダブルクリックします。

メモ　コントロールパネルにスキャナとカメラがない場合、コントロールパネルの「すべてのコントロールパネルのオプションを表示する。」をクリックしてください。

⓭スキャナーアイコンが表示されていることを確認します。

スキャナードライバのセットアップは完了です。

Windows98の場合

「新しいハードウェアの追加ウィザード」が表示されます。以下の手順に従ってUSBドライバをインストールします。

新しいハードウェアの追加ウィザードが表示されない場合は「セットアップがうまくいかないとき」の「Windows98で「新しいハードウェアの追加ウィザード」が表示されない場合」(93ページ)をご覧ください。

「新しいハードウェアの追加ウィザード」画面は、2回〜4回表示されます。
次の新しいドライバを検索しています：に
　「USB互換デバイス」と表示されている場合は❶に進みます。
　「OKI C5510MFP」と表示されている場合は❻に進みます。

❶「新しいハードウェアの追加ウィザード」画面で、［次へ］をクリックします。

❷［使用中のデバイスに最適なドライバを検索する（推奨）］を選択し、［次へ］をクリックします。

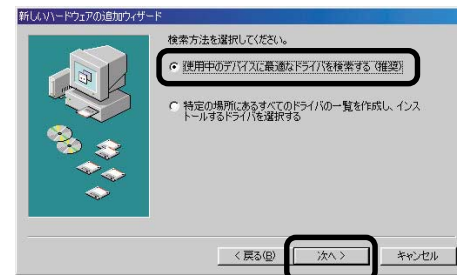
❸［フロッピーディスクドライブ］、［CD-ROMドライブ］［検索場所の指定］のチェックを外し、［次へ］をクリックします。

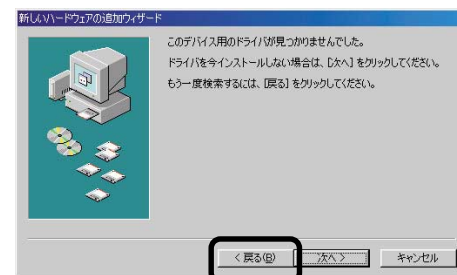
❹［次へ］をクリックします。

❺［完了］をクリックします。

「新しいハードウェアの追加ウィザード」画面が表示されます。

❻「新しいハードウェアの追加ウィザード」画面で、［次へ］をクリックします。

❼［使用中のデバイスに最適なドライバを検索する（推奨）］を選択し、［次へ］をクリックします。

❽［CD-ROMドライブ］にチェックを付け、［次へ］をクリックします。

「このデバイス用のドライバが見つかりませんでした」が表示されたら［戻る］をクリックし、⓫へ進みます。

❾ [次へ]をクリックします。

ファイルのコピーが開始されます。

❿ [完了]をクリックします。

「新しいハードウェアの追加ウィザード」画面が表示されます。

⓫「新しいハードウェアの追加ウィザード」画面で、[次へ]をクリックします。

⓬ [使用中のデバイスに最適なドライバを検索する(推奨)]を選択し、[次へ]をクリックします。

⓭ [検索場所の指定]にチェックを付け、[次へ]をクリックします。

ここではCD-ROMドライブがD:の場合を例にしています。
D:¥Twain¥Win2K98SE¥Japanese

⑭［次へ］をクリックします。

ファイルのコピーが開始されれます。

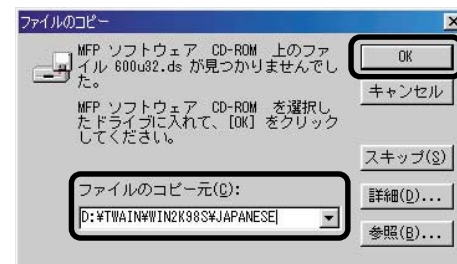
⑮ディスクの挿入画面が表示されたら、Windows98またはWindows98 Second EditionのCD-ROMをセットし、［OK］をクリックします。

⑯［ファイルのコピー元］に次のように入力し、［OK］をクリックします。

ここではCD-ROMドライブがD:の場合を例にしています。
D:¥

⑰ディスクの挿入画面が表示されたら、「MFPソフトウェアCD-ROM」をセットし、［OK］をクリックします。

⑱［ファイルのコピー元］に次のように入力し、［OK］をクリックします。

ここではCD-ROMドライブがD:の場合を例にしています。
D:¥Twain¥Win2K98SE¥Japanese

⑲［完了］をクリックします。

引き続きUSBケーブルに接続しているプリンタを自動的に検出します。

「ディスクの挿入」が表示されたら？

☞ ㉔へ進みます。

⑳［スタート］-［設定］-［コントロールパネル］を選択します。

㉑［スキャナとカメラ］をダブルクリックします。

メモ　コントロールパネルにスキャナとカメラがない場合、コントロールパネルの「すべてのコントロールパネルのオプションを表示する。」をクリックしてください。

㉒カメラとスキャナのプロパティにOKI Scannerが表示されていることを確認します。

㉓［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。

プリンタアイコンが表示されていることを確認します。

セットアップは完了です。

☞ ⑲からの続き

㉔「ディスクの挿入」画面が表示されたら、「MFPソフトウェアCD-ROM」をセットし、[OK]をクリックします。

㉕[ファイルのコピー元]に次のように入力し、[OK]をクリックします。

ここではCD-ROMドライブがD:の場合を例にしています。
D:¥WIN9X_ME¥JPN

㉖[スタート]-[設定]-[プリンタ]を選択します。

プリンタアイコンが表示されていることを確認します。

セットアップは完了です。

4

WindowsMe/98にセットアップします

セットアップがうまくいかないとき

[プリンタ]フォルダにプリンタアイコンが作成されない場合
(WindowsMe/98/2000、USBインタフェース)

プリンタドライバが正しくセットアップされていません。以下の手順に従ってセットアップを行います。

❶ セットアッププログラムを起動します。

❷ 画面の指示に従ってセットアップし、「ケーブルの接続」画面が表示されたら、USBケーブルの接続を確認し、電源をONにします。

「コンピュータの再起動」画面が表示された場合は、Windowsを再起動した後、USBケーブルの接続を確認し、プリンタの電源をONにします。

❸ 以降、画面の指示に従ってセットアップします。

詳細は、「Windows2000にセットアップします」(72ページ)、「WindowsMe/98にセットアップします」(76ページ)をご覧ください。

[プリンタ]フォルダにプリンタアイコンが作成されているが、印刷できない場合

プリンタドライバの印刷先のポートが正しく設定されていません。以下の手順に従って設定を確認します。

❶ [スタート]-[コントロールパネル]-[プリンタとその他のハードウェア]-[プリンタとFAX]を選択します。(Windows Server 2003 では[スタート]-[プリンタとFAX]を選択します。Windows2000/Me/98 では[スタート]-[設定]-[プリンタ]を選択します。)

❷ プリンタアイコンをマウスの右ボタンでクリックして[プロパティ]を選択します。

❸ [詳細]タブの[印刷先のポート](WindowsXP/2000/Server2003では、[ポート]タブの[印刷するポート])で、接続先のポートを下記の設定にします。

WindowsXP/2000/Server2003…USBケーブルで接続する場合	[USBxxx]
WindowsMe/98…USBケーブルで接続する場合	[OP1 USBx]

- WindowsXP/2000/Server2003で、[印刷するポート]に[USBxxx]が表示されないときは、MFPの電源がONになっていることを確認してUSBケーブルを接続し直し、再度❶～❸を行ってください。
- WindowsMe/98で[印刷先のポート]に[OP1 USBx]が表示されないときは、MFPの電源がOFFになっていることを確認してUSBケーブルを接続し直し、再度セットアップを行ってください。詳細は、「Windows2000にセットアップします」(72ページ)、「WindowsMe/98にセットアップします」(76ページ)をご覧ください。
- WindowsMe/98でセットアップ中に「新しいハードウェアの追加ウィザード」が表示されない場合は、「WindowsMeで「新しいハードウェアの追加ウィザード」が表示されない場合」(90ページ)、「Windows98で「新しいハードウェアの追加ウィザード」が表示されない場合」(93ページ)をご覧ください。
- WindowsMe/98の場合、ご利用の環境により[USBxxx]と表示される場合もあります。

セットアッププログラムで「プリンタドライバのインストールに失敗しました」のエラーが表示される場合（WindowsMe/98/2000）

WindowsMe/98/2000とUSB接続する場合、プラグアンドプレイでセットアップする必要があります。以下の手順でセットアップを行っているか確認してください。

❶ MFPとコンピュータの電源がOFFになっていることを確認します。

❷ USBケーブルを接続します。

❸ MFPの電源をONにします。

❹ Windowsを起動します。

❺「新しいハードウェアの追加ウィザード」(Windows2000では「新しいハードウェアの検索ウィザード」)が表示されたら、以降、画面の指示に従ってセットアップします。

詳細は、「MFPソフトウェアCD-ROM」内の「README.TXT」をご覧ください。

WindowsXP/Server2003で、パソコンを起動するたびに「新しいハードウェアの検出ウィザード」が表示される場合

プリンタドライバをプラグアンドプレイでセットアップしていません。以下の手順に従って、セットアップしてください。

❶ プリンタドライバを削除します。

❷「WindowsXP/Server2003にセットアップします」の「プラグアンドプレイでセットアップします」(66ページ)の手順に従ってセットアップします。

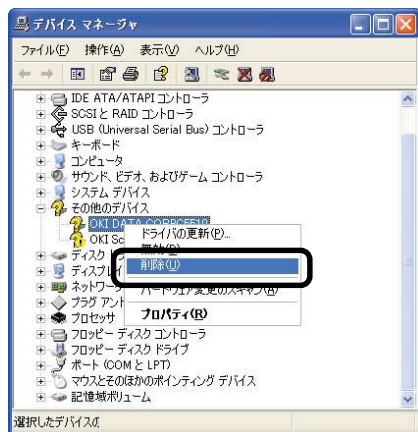
メモ 接続するポートを変えた場合も「新しいハードウェアの検出ウィザード」が表示されます。できるだけ同じポートに接続してください。

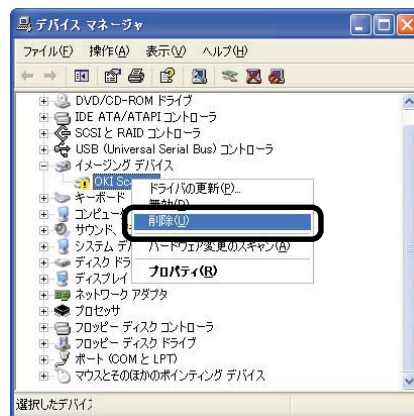
WindowsXP/Server2003で「新しいハードウェアの検出ウィザード」が表示されない場合

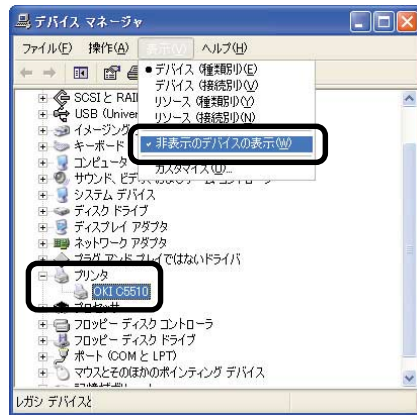
プリンタドライバのインストールに失敗しています。下記の手順で途中までインストールしたプリンタドライバを削除してからセットアップし直してください。

❶ [スタート]-[マイコンピュータ]をマウスの右ボタンでクリックし、[プロパティ]を選択します。

❷ [ハードウェア]タブの[デバイスマネージャ]をクリックします。

❸ [その他のデバイス]の「OKI DATA CORP C5510」と「OKI Scanner」をマウスの右ボタンでクリックして[削除]を選択します。

[その他のデバイス]が表示されなかったら？

[イメージングデバイス]の[OKI Scanner]をマウスの右ボタンでクリックして[削除]を選択します。

削除できない場合は、[ドライバの更新...]を選択し、「WindowsXP/Server2003にセットアップします」の「プラグアンドプレイでセットアップします」(66ページ)へ戻りスキャナドライバをセットアップします。

［表示］メニューの［非表示のデバイスの表示］を選択し、［プリンタ］の「OKI DATA CORP C5510」をマウスの右ボタンでクリックして［削除］を選択します。

❹「デバイスの削除の確認」画面で［OK］をクリックし、「デバイスマネージャ」を閉じます。

❺「システムのプロパティ」画面で［OK］をクリックします。

❻ Windowsを再起動し、「新しいハードウェアの検出ウィザード」画面から再セットアップします。

☞ 「WindowsXP/Server2003にセットアップします」の「プラグアンドプレイでセットアップします」(66ページ)へ戻ります。

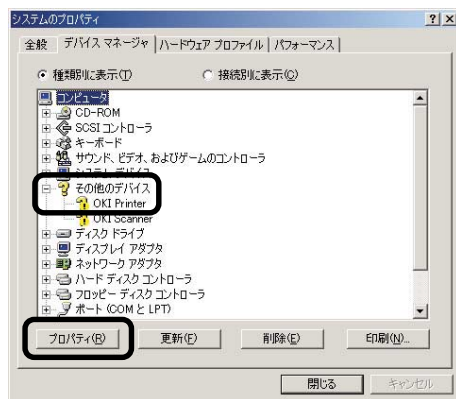
WindowsMeで「新しいハードウェアの追加ウィザード」が表示されない場合

プリンタドライバおよびスキャナードライバのインストールに失敗しています。下記の手順で途中までインストールしたドライバを引き続きインストールしてください。

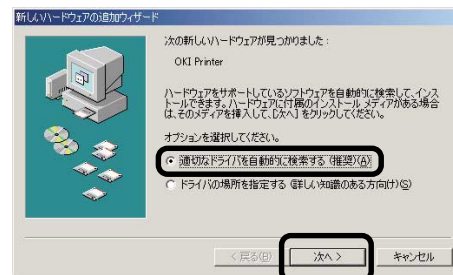
❶［スタート］-［設定］-［コントロールパネル］を選択します。

❷［システム］をダブルクリックします。

❸［デバイスマネージャ］タブの［その他のデバイス］で［OKI Printer］を選択し、プロパティをクリックします。

「OKI Printer」がない場合は？
☞ ⑰へ進みます。

❹［ドライバの再インストール］をクリックします。

❺「MFPソフトウェアCD-ROM」をセットします。

❻「デバイスドライバの更新ウィザード」画面が表示されたら、［適切なドライバを自動的に検索する（推奨）］を選択し、［次へ］をクリックします。

ファイルのコピーが開始されます。

引き続き、USBケーブルに接続しているプリンタを自動的に検出します。

❼「新しいハードウェアの追加ウィザード」画面が表示されたら、［ドライバの場所を指定する（詳しい知識のある方向け）］を選択し、［次へ］をクリックします。

❽［使用中のデバイスに最適なプリンタドライバを検索する（推奨）］を選択し、「リムーバブルメディア（フロッピー、CD-ROMなど）」のチェックを外します。

❾ [検索場所の指定]にチェックを付け、次のように入力し、[次へ]をクリックします。

ここではCD-ROMドライブがD:の場合を例にしています。
D:¥WIN9X_ME¥JPN

❿ [次へ]をクリックします。

⓫ 通常のプリンタで[はい]を選択し、[次へ]をクリックします。

⓬ [印字テストを行いますか?]で[いいえ]を選択し、[完了]をクリックします。

ファイルのコピーが開始されます。

⓭ [完了]をクリックします。

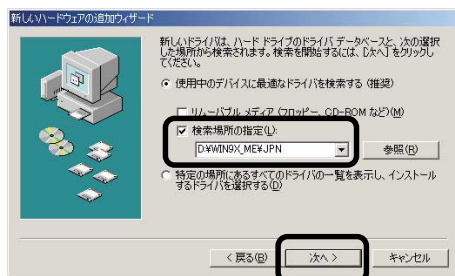
⓮ [完了]をクリックします。

⓯ 「Oki USB Driverプロパティ」画面で[閉じる]をクリックします。

⓰ [スタート]-[設定]-[プリンタ]を選択します。

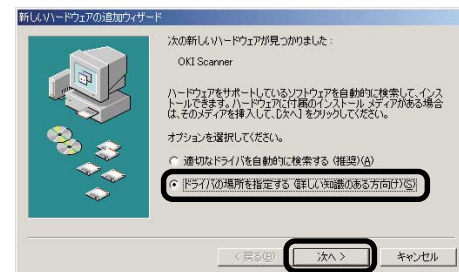
プリンタアイコンが表示されていることを確認します。

プリンタドライバのセットアップは完了です。

☞ ❸からの続き

⓱ [デバイスマネージャ]タブの[その他のデバイス]で[OKI Scanner]を選択し、プロパティをクリックします。

⓲ [ドライバの再インストール]をクリックします。

⓳ 「MFPソフトウェアCD-ROM」をセットします。

⓴ 「新しいハードウェアの追加ウィザード」画面が表示されたら、[ドライバの場所を指定する(詳しい知識のある方向け)]を選択し、[次へ]をクリックします。

㉑[使用中のデバイスに最適なプリンタドライバを検索する(推奨)]を選択し、「リムーバブルメディア(フロッピー、CD-ROMなど)」のチェックを外します。

㉒[検索場所の指定]にチェックを付け、次のように入力し、[次へ]をクリックします。

ここではCD-ROMドライブがD:の場合を例にしています。
D:¥Twain¥Win2K98SE¥Japanese

㉓[次へ]をクリックします。

ファイルのコピーが開始されます。

㉔[完了]をクリックします。

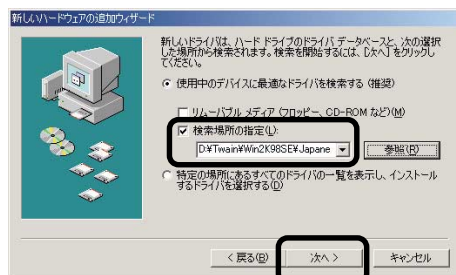
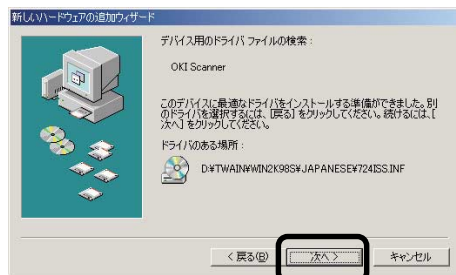
㉕[OKI Scanner プロパティ]画面で[閉じる]をクリックします。

㉖[スタート]-[設定]-[コントロールパネル]を選択します。

㉗[スキャナとカメラ]をダブルクリックします。

メモ　コントロールパネルにスキャナとカメラがない場合、コントロールパネルの「すべてのコントロールパネルのオプションを表示する。」をクリックしてください。

㉘スキャナーアイコンが表示されていることを確認します。

スキャナードライバのセットアップは完了です。

㉙「システムのプロパティ」画面で[OK]をクリックし、コントロールパネルを閉じます。

Windows98で「新しいハードウェアの追加ウィザード」が表示されない場合

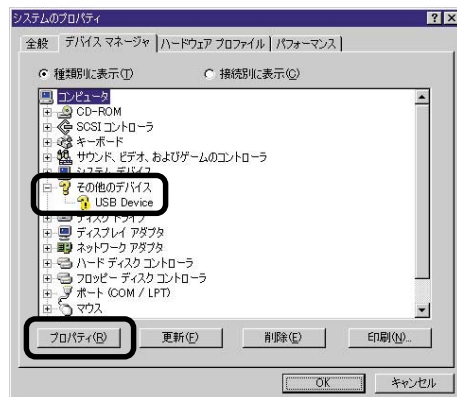
プリンタドライバのインストールに失敗しています。下記の手順で途中までインストールしたドライバを引き続きインストールしてください。

❶ [スタート]-[設定]-[コントロールパネル]を選択します。

❷ [システム]をダブルクリックします。

❸ [デバイスマネージャ]タブの[その他のデバイス]で[OKI C5510MFP]を選択し、プロパティをクリックします。

[OKI C5510MFP]は2つ存在することがあります。その場合はどちらか一方をクリックし、クリックしたデバイスのドライバの再インストール終了後、[デバイスマネージャ]タブにもどり、もう一方の[OKI C5510MFP]をクリックして同じ操作を繰り返してください。

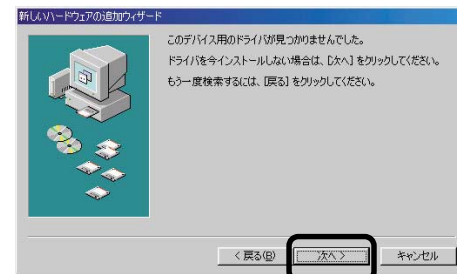
注 [不明なデバイス]と表示されることがあります。

❹ [ドライバの再インストール]をクリックします。

❺「デバイスドライバの更新ウィザード」画面が表示されたら、[次へ]をクリックします。

❻ [現在使用しているドライバよりさらに適したドライバを検索する(推奨)]を選択し、[次へ]をクリックします。

❼「MFPソフトウェアCD-ROM」をセットします。

❽ [CD-ROM ドライブ]にチェックを付け、[次へ]をクリックします。

「このデバイス用のドライバが見つかりませんでした。」が表示されたら、㉑へ進みます。

❾ [次へ]をクリックします。

ファイルのコピーが開始されます。

❿ [完了]をクリックします。

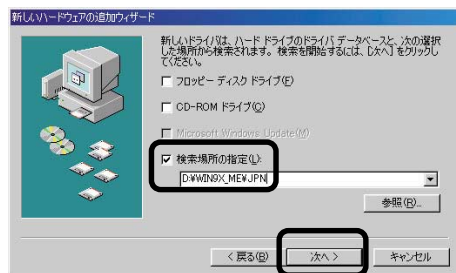
⓫「Oki USB Driverプロパティ」画面で[閉じる]をクリックします。

引き続き、USBケーブルに接続しているプリンタを自動的に検出します。

⓬「新しいハードウェアの追加ウィザード」画面が表示されたら、[次へ]をクリックします。

⓭ [使用中のデバイスに最適なプリンタドライバを検索する(推奨)]を選択します。

⓮ [検索場所の指定]にチェックを付け、次のように入力し、[次へ]をクリックします。

ここではCD-ROMドライブがD:の場合を例にしています。
D:¥WIN9X_ME¥JPN

⓯ 最適なドライバをインストールする準備ができたことを確認し、[次へ]をクリックします。

⓰ プリンタ名を確認し、通常のプリンタで[はい]を選択し、[次へ]をクリックします。

⓱ [印字テストを行いますか?]で[いいえ]を選択し、[完了]をクリックします。

ファイルのコピーが開始されます。

⓲ [完了]をクリックします。

⓳ [スタート]-[設定]-[プリンタ]を選択します。

プリンタアイコンが表示されていることを確認します。

プリンタドライバのセットアップは完了です。

⑳ [デバイスマネージャ]タブの[その他のデバイス]で、[OKI C5510MFP]が残っている場合は③に戻ります。

[OKI C5510MFP]が残っていない場合は㉝に進みます。

☞ ⑧からの続き

㉑ [検索場所の指定]にチェックを付け、次のように入力し、[次へ]をクリックします。

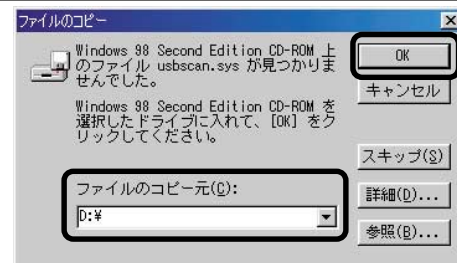
ここではCD-ROMドライブがD:の場合を例にしています。 D:¥Twain¥Win2K98SE¥Japanese

㉒ [次へ]をクリックします。

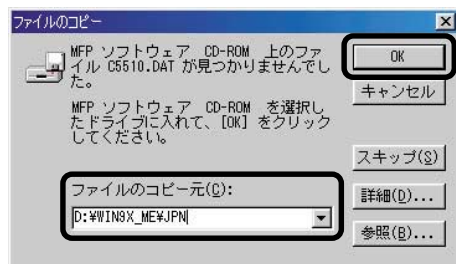
ファイルのコピーが開始されます。

㉓ ディスクの挿入画面が表示されたら、Windows98または Windows98 Second Edition のCD-ROMをセットし、[OK]をクリックします。

㉔ [ファイルのコピー元]に次のように入力し、[OK]をクリックします。

ここではCD-ROMドライブがD:の場合を例にしています。 D:¥

㉕ ディスクの挿入画面が表示されたら、「MFPソフトウェア CD-ROM」をセットし、[OK]をクリックします。

㉖ [ファイルのコピー元]に次のように入力し、[OK]をクリックします。

ここではCD-ROMドライブがD:の場合を例にしています。
D:¥Twain¥Win2K98SE¥Japanese

㉗ [完了]をクリックします。

㉘「OKI Scanner プロパティ」画面で[閉じる]をクリックします。

㉙ [スタート]-[設定]-[コントロールパネル]を選択します。

㉚ [スキャナとカメラ]をダブルクリックします。

メモ コントロールパネルにスキャナとカメラがない場合、コントロールパネルの「すべてのコントロールパネルのオプションを表示する。」をクリックしてください。

㉛ カメラとスキャナのプロパティにOKI Scannerが表示されていることを確認します。

スキャナードライバのセットアップは完了です。

㉜ [デバイスマネージャ]タブの[その他のデバイス]で、[OKI C5510MFP]が残っている場合は❸に戻ります。

㉝「システムのプロパティ」画面で[OK]をクリックし、[コントロールパネル]を閉じます。

ドライバのセットアップは完了です。

4 セットアップがうまくいかないとき

プリンタドライバを削除するには

・WindowsXP/2000/Server2003はコンピュータの管理者の権限が必要です。
・Windowsが起動されている場合は再起動してください。

❶[スタート]-[コントロールパネル]-[プリンタとその他のハードウェア]-[プリンタとFAX]を選択します。(Windows Server 2003では[スタート]-[設定]-[プリンタとFAX]を選択します。Windows 2000/Me/98では[スタート]-[設定]-[プリンタ]を選択します。)

❷[OKI C5510]アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、[削除]を選択します。

❸以降、画面の指示に従います。

WindowsXP/2000/Server2003の場合は、❹、❺の作業を行ってください。

❹「プリンタとFAX」フォルダ(Windows2000では「プリンタ」フォルダ)の[ファイル]-[サーバーのプロパティ]を選択します。

❺[ドライバ]タブで、「OKI C5510」を選択し、[削除]をクリックします。

❻Windowsを再起動します。

プリンタドライバをアップデートするには

・WindowsXP/2000/Server2003はコンピュータの管理者の権限が必要です。
・Windowsが起動されている場合は再起動してください。

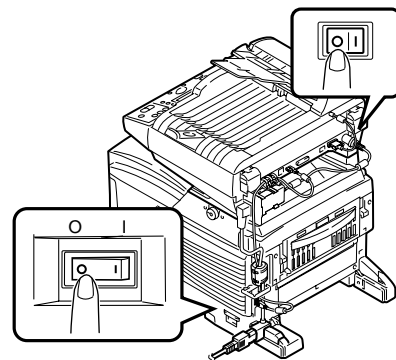
❶ コンピュータとMFPを接続し、MFPの電源をONにします。

❷ [スタート]-[コントロールパネル]-[プリンタとその他のハードウェア]-[プリンタとFAX]を選択します。（Windows Server 2003では[スタート]-[設定]-[プリンタとFAX]を選択します。Windows2000/Me/98では[スタート]-[設定]-[プリンタ]を選択します。）

❸ [OKI C5510]アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、[プロパティ]を選択します。

❹ [全般]タブの[テストページの印刷]をクリックします（Windows Me/98の場合、[全般]タブの[印字テスト]をクリックします。）

❺ 確認画面が表示されたら、[OK]をクリックします。

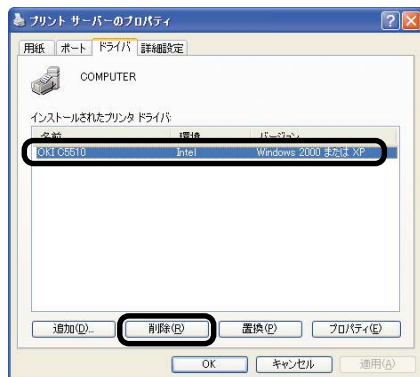
テストページが印刷されます。

❻ MFPの電源をOFFにします。

❼ [OKI C5510]アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、[削除]を選択します。

ドライバのアップデートを確実に行うために、C5510のすべてのプリンタドライバを削除してください。

❽ 以降、画面の指示に従います。

WindowsXP/2000/Server2003の場合は、❾～❿の作業を行ってください。

❾「プリンタとFAX」フォルダ（Windows2000では「プリンタ」フォルダ）の[ファイル]-[サーバーのプロパティ]を選択します。

⑩［ドライバ］タブで、「OKI C5510」を選択し、［削除］をクリックします。

⑪Windowsを再起動します。

⑫新しいプリンタドライバをセットアップします。
詳しくは「WindowsXP/Server2003にセットアップします」(66ページ)、「Windows2000にセットアップします」(72ページ)、「WindowsMe/98にセットアップします」(76ページ)をご覧ください。

注

- 必ずMFPの電源がONになっていることを確認してください。
- WindowsXPでは、プリンタのインストールでセットアップします。

⑬❶〜❺の手順でテストページを印刷し、新しいプリンタドライバのバージョンを確認します。

WindowsMe/98
［ドライバで使用されるファイル］以下に記載されているバージョン

WindowsXP/2000/Server2003
［このドライバが使う追加ファイル］以下に記載されているバージョン

注

テストページ上に記載される［ドライバのバージョン］(Windows Me/98の場合、［ドライバ　バージョン］)には固定のバージョン番号が記載されます。この内容はプリンタドライバをアップデートしても更新されません。

USB接続でセットアップできないときには

現　象	対処方法
WindowsNT4.0でセットアップできません。	USB接続できるのはWindowsMe/98/2000/XP/Server2003です。 WindowsNT4.0は接続できません。
Windows95/3.1からアップグレードしたWindowsMe/98を使用しています。	動作保証できません。WindowsMe/98をクリーンインストールしたコンピュータを使用してください。
コンピュータがUSBインタフェースに対応していません。	デバイスマネージャでUSBコントローラが表示されるか確認してください。
USBケーブルが規格に合っていない可能性があります。	製品に添付のUSBケーブル(長)を使用してください。 市販のUSBケーブルを使用する場合は、USB2.0仕様のUSBケーブルを使用してください。
セットアップ手順が間違っています。	この章の手順に従って、もう一度初めからセットアップしてください。
USBケーブルが外れています。	USBケーブルを差し込んでください。
USBケーブルに問題があります。	予備のUSBケーブルがあれば取り替えてみてください。
USBハブを使用しています。	MFPとコンピュータを直接接続してみてください。
セットアップの途中で画面に[検索場所の指定]、[場所の指定]が表示されます。	「MFPソフトウェアCD-ROM」の中のプリンタドライバのディレクトリを指定してください。 例：「D:¥WIN9X_ME¥JPN」 (ここではCD-ROMドライブがD：の場合を例にしています)
セットアップを中断しました。	この章の手順に従って、もう一度初めからセットアップしてください。
WindowsXP/Me/98で「新しいハードウェアの追加ウィザード」画面が表示されません。	「セットアップがうまくいかないとき」をご覧ください。(86ページ)

5 コンピュータから印刷します

使用できる用紙

高品質な印刷を行うためには、材質、厚さ、表面の仕上げなどの条件を満足する用紙を使用する必要があります。弊社推奨紙以外で印刷される場合には、印刷品質や用紙の走行性など、事前に十分テストを行い、支障がないことを確認してから使用してください。

用紙の種類、サイズ、厚さについて

用紙の種類、サイズ、厚さによって給紙方法や排出方法に制限があったり、MFPのメニュー設定の[メディアウェイト]、[メディアタイプ]で設定する内容が異なります。詳しくは「給紙方法と排出方法を決めます」(108ページ)と「メディアウェイトとメディアタイプを設定します」(109ページ)をご覧ください。

種類	サイズ　単位：mm(インチ)		厚さ
普通紙	A4	210×297	連量55～172kg(64～200g/m²)
	A5	148×210	
	A6	105×148	
	B5	182×257	
	レター	215.9×279.4(8.5×11)	
	リーガル(13インチ)	215.9×330.2(8.5×13)	
	リーガル(13.5インチ)	215.9×342.9(8.5×13.5)	
	リーガル(14インチ)	215.9×355.6(8.5×14)	
	エグゼクティブ	184.2×266.7(7.25×10.5)	
	カスタム	幅　100～215.9 長さ148～1200 ただし、長さが356mm以上の場合は幅は210～215.9mmです。	連量55～172kg(64～200g/m²) 長さが356mm以上の長尺用紙の場合は110kg(128g/m²)です。
はがき	はがき	100×148	官製はがき
	往復はがき	148×200	
封筒	封筒1(長形3号)	120×235	85g/m²の紙を使用したもの
	封筒2(長形4号)	90×205	
	封筒3(洋形4号)	105×235	
	封筒4(A4サイズ)	210×297	
	Com-9	98.4×225.4(3.875×8.875)	24lbの紙を使用したもので、フラップ部がきちんと折れているもの
	Com-10	104.8×241.3(4.125×9.5)	
	DL	110×220(4.33×8.66)	
	C5	162×229(6.38×9.02)	
	Monarch	98.4×190.5(3.875×7.5)	
ラベル紙	A4	210×297	0.1～0.2mm
	レター	215.9×279.4(8.5×11)	
OHPシート	A4	210×297	0.1～0.125mm
	レター	215.9×279.4(8.5×11)	
部分印刷用紙	—	—	連量55～172kg(64～200g/m²)
カラー用紙	—	—	連量55～172kg(64～200g/m²)

普通紙

次の条件に合った用紙を使用してください。

- 推奨紙：エクセレントホワイト A4（OKIカラーページプリンタ用紙）
  （型名：PPR-CA4NA）
  プリンタドライバの用紙厚の設定：［普通紙］
  操作パネルで設定する場合は、 メディアウエイト：フツウシ
  メディアタイプ ：フツウシ
- 用紙の厚さが連量55～172kg（64～200g/m²）の用紙
- 電子写真プリンタ用紙（トナーを用いるプリンタで使用する用紙です）
- 電子写真コピー用紙（トナーを用いる一般の複写機などで使用する用紙です）
  カラー電子写真プリンタ用紙、カラー電子写真コピー紙を推奨します。
- 電子写真プリンタ再生紙（トナーを用いるプリンタで使用する再生紙です）
  推奨再生紙 銘柄名 ： Green 100（富士ゼロックス製）
  プリンタドライバの用紙厚の設定：［普通紙］
  操作パネルで設定する場合は、 メディアウエイト：フツウシ
  メディアタイプ ：フツウシ
  再生紙では、用紙全体に薄くトナーが付着したり、印刷が薄いことがあります。再生紙には、印刷品質を低下させる添加物が含まれているものもあります。必ず電子写真プリンタ再生紙であることを確認の上、使用してください。

以下の用紙は使用しないでください。

- 表面が平滑（すべすべ）すぎる用紙、粗い（ザラ紙、繊維質）用紙、表と裏の粗さが大きく異なる用紙
- 薄すぎる用紙、厚すぎる用紙、紙粉が多い用紙
- 横目の用紙
- 濡れている（湿っている）用紙
- 静電気で貼り付いている用紙
- 表面に、絹目加工（シボ）、浮き出し加工（エンボス）、コーティング加工をした用紙（コート紙）
- 表面に、のり・薬品などで特殊加工、耐熱性（210度）のない特殊加工をした用紙
- バインダ用の穴、ミシン目、切り込み、穴がある用紙
- 用紙カット面に、凹凸、つぶれ、バリなどがある用紙
- 四角い形状でない用紙、裁断角度が直角でない用紙
- シワ、反り、角の折れ曲がり、波打ち、折り目、破れなどがある用紙
- ホチキス、クリップ、リボン、テープ、留め金などがついている用紙
- カーボン紙、ノンカーボン紙、感熱紙、感圧紙などの特殊紙
- 熱転写プリンタ用紙、インクジェット用の用紙、湿式PPC用紙、複写紙、和紙など

- 厚手の用紙は、用紙全体に薄くトナーが付着したり印刷が薄いことがあります。
- 用紙のすき目の方向と用紙送りの方向が一致しないと紙づまりが起こることがあります。
- マルチパーパストレイで印刷するとシワが出ることがあります。
- 電子写真プリンタ、熱転写プリンタ、インクジェットプリンタ等で一度印刷した用紙は使用しないでください。
- 用紙の包装紙には表面の向きが表示されています。表面が印刷面となるようにセットしてください。
- 用紙は湿気防止のため防湿紙に包装されています。開封後は早めに使用してください。

はがき

次の条件に合ったはがきを使用してください。

- 郵政公社製はがき、および折っていない郵政公社製往復はがき

以下のはがきは使用しないでください。

- インクジェット用官製はがき
- 2mm以上反りがあるはがき
- 切手の貼ってあるはがき
- 写真加工してあるはがき

- 印刷後は反りが発生することがあります。
- 用紙全体に薄くトナーが付着したり印刷が薄いことがあります。
- トナーの定着が低下することがあります。

封筒

次の条件に合った封筒を使用してください。

- クラフト紙、電子写真プリンタ用紙、または乾式PPC用紙で作られた封筒
- 封筒1〜4は坪量85g/m²の紙を使用した封筒

以下の封筒は使用しないでください。

- 厚すぎる封筒やプラスチックでできた封筒
- 内袋のある二重封筒
- とめ金、ボタン、窓のある封筒
- フラップ部に粘着剤、両面テープのついた封筒
- シワや反りのある封筒
- 切手の貼ってある封筒
- 表面に絹目加工(シボ)や浮き出し加工(エンボス)のある封筒
- 撥水加工された封筒

・印刷後は反りやシワが発生することがあります。
・用紙全体に薄くトナーが付着したり印刷が薄いことがあります。
・トナーの定着が低下することがあります。
・封筒の貼り合わせ部分(厚さに段差のある部分)のまわり約5mmは印刷品位が低下することがあります。
・封筒に反りがあると、吸入不良の原因となります。反りは修正してからお使いください。
・必ず試し印刷をして支障がないことを確認してください。

ラベル紙

次の条件に合ったラベル紙を使用してください。

- 推奨紙：LBP-A6XX(コクヨ製)(総厚：147μm)
  プリンタドライバの用紙厚の設定：[ラベル紙]
  操作パネルで設定する場合は、メディアウエイト：ヨリアツイカミ
  メディアタイプ　：ラベルシ
- 用紙サイズはA4、レターのみ
- 表面紙、粘着剤、台紙が熱で変質しない、電子写真プリンタ用または乾式PPC用のラベル紙
- プリンタ部の熱定着工程で、表面紙が台紙から剥がれない構造のラベル紙
- 用紙の走行で、表面紙が台紙から剥がれない構造のラベル紙
- 表面紙と台紙を合せた用紙の厚さが0.1〜0.2mmのラベル紙
- 表面紙が台紙全体をおおい、粘着剤がはみ出していないラベル紙

・用紙全体に薄くトナーが付着したり印刷が薄いことがあります。
・トナーの定着が低下することがあります。
・ラベル紙の先端に反りがあると、吸入不良の原因となります。反りは修正してからお使いください。
・必ず試し印刷をして支障がないことを確認してください。

OHPシート

次の条件に合ったOHPシートを使用してください。

- 推奨紙 ： MLカラーOHPシート MLOHP01
  プリンタドライバの用紙厚の設定：[OHP]
  操作パネルで設定する場合は、メディアウエイト：設定不要
  メディアタイプ ：OHP
- 用紙サイズはA4、レターのみ
- 電子写真プリンタ用または乾式PPC用に作られたOHPシート
- プリンタ部の熱定着工程で、融けたり、変質したり、反りが起きないOHPシート
- 用紙の厚さが0.1～0.125mmのOHPシート

- OHPシートは透明なプラスチックでできているため、印刷品質が低下することがあります。
- 印刷後はうねりが発生することがあります。
- 用紙全体に薄くトナーが付着したり印刷が薄いことがあります。
- トナーの定着が低下することがあります。
- 表面に滑りやすいコーティングをしたOHPシートは滑って吸入できないことがあります。
- 推奨紙以外のOHPシートを使用すると、種類によっては定着器ユニットのローラに巻きついたりしてプリンタが故障するおそれがあります。
- OHP装置は透過型を使用してください。反射型では良好な投影が得られないことがあります。

部分印刷用紙

次の条件に合った部分印刷用紙を使用してください。

- 部分印刷に使用したインクが耐熱性で210℃に耐えるもの
  (電子写真プリンタ、熱転写プリンタ、インクジェットプリンタ等で印刷した用紙は、耐熱性がありませんので使用できません。)

印刷枠を設ける場合、以下の印刷位置のバラツキを十分考慮に入れて設計してください。
書き出し位置精度：±2mm、用紙の斜行：±1mm/100mm、
画像伸縮：±1mm/100mm(連量70kgの場合)

カラー用紙

次の条件に合ったカラー用紙を使用してください。

- 用紙を着色した顔料またはインクが耐熱性で230℃に耐えるもの
- 用紙特性が白色紙と同じで、電子写真プリンタ用の用紙

長尺用紙

次の条件に合った長尺用紙を使用してください。

- 推奨紙：エクセレントホワイト　A4長尺(OKIカラーページプリンタ用紙)
  (型名：PPR-CT4DA)
  プリンタドライバの用紙厚の設定：[より厚い紙]
  操作パネルで設定する場合は、メディアウエイト：ヨリアツイカミ
  メディアタイプ　：フツウシ
- 用紙サイズは幅210～215.9mm、長さ356～1200mm　連量110kg(128g/m²)

以下の用紙は使用しないでください。

- 表面が平滑(すべすべ)すぎる用紙、粗い(ザラ紙、繊維質)用紙、表と裏の粗さが大きく異なる用紙
- 薄すぎる用紙、厚すぎる用紙、紙粉が多い用紙
- 横目の用紙
- 濡れている(湿っている)用紙
- 静電気で貼り付いている用紙
- 表面に、絹目加工(シボ)、浮き出し加工(エンボス)、コーティング加工をした用紙(コート紙)
- 表面に、のり・薬品などで特殊加工、耐熱性(210度)のない特殊加工をした用紙
- バインダ用の穴、ミシン目、切り込み、穴がある用紙
- 用紙カット面に、凹凸、つぶれ、バリなどがある用紙
- 四角い形状でない用紙、裁断角度が直角でない用紙
- シワ、反り、角の折れ曲がり、波打ち、折り目、破れなどがある用紙
- ホチキス、クリップ、リボン、テープ、留め金などがついている用紙
- カーボン紙、ノンカーボン紙、感熱紙、感圧紙などの特殊紙
- 熱転写プリンタ用紙、インクジェット用の用紙、湿式PPC用紙、複写紙、和紙など

- 厚手の用紙は、用紙全体に薄くトナーが付着したり印刷が薄いことがあります。
- 用紙のすき目の方向と用紙送りの方向が一致しないと紙づまりが起こることがあります。
- 電子写真プリンタ、熱転写プリンタ、インクジェットプリンタ等で一度印刷した用紙は使用しないでください。
- 用紙の包装紙には表面の向きが表示されています。表面が印刷面となるようにセットしてください。
- 用紙は湿気防止のため防湿紙に包装されています。開封後は早めに使用してください。
- 長さが400mmを超える用紙は、「きれい」(1200×600dpi)では印刷されません。「ふつう」(600×600dpi)で印刷されます。
- 連量110kg以外の長尺用紙は、印刷品位は保証できません。
- 必ず試し印刷をして支障がないことを確認してください。

用紙の保管方法

用紙の保管が悪いと、湿気を吸収したり、変色、反りが発生します。このような用紙で印刷すると印刷品質や紙送りなどに悪い影響を与えますので注意が必要です。また実際にお使いになるまで包装紙は開けないでください。

次のような場所に保管してください

- 暗く、湿気の少ない平らな書棚の中のような場所
- 平らな台の上
- 温度20℃、湿度50%RHの環境

次のような場所はさけてください

- 床の上に直接置く
- 直射日光が当たる場所
- 外壁の内側の近く
- 段差や曲がりのある場所
- 静電気が発生する場所
- 過度の温度上昇と、急激な温度変化のある場所
- 複写機、空調機、ヒータ、ダクトのそば

注 長期間放置した用紙を使用した場合、正常に印刷できないことがあります。

給紙方法と排出方法を決めます

用紙の種類、サイズ、厚さによって給紙方法と排出方法が異なります。次の手順で全ての条件を満足する方法を確認してください。
用紙の仕様については、「使用できる用紙」(102ページ)をご覧ください。

1 用紙の種類、厚さ、サイズから給紙方法と排出方法を確認します。

○ ：使用できます
△ ：一部のサイズで使用できます
× ：使用できません

種類	厚さ	サイズ	給紙方法		排出方法	
			用紙カセット	マルチパーパストレイ手差し	フェイスアップ(表排出)	フェイスダウン(裏排出)
普通紙*1*6	連量 55～90kg (64～105g/m^2)	A4, A5 B5, レター リーガル(13インチ) リーガル(13.5インチ) リーガル(14インチ) エグゼクティブ	○	○	○	○
		A6	○	○	○	×
		カスタム*2	△*7	△	△	△*3
	連量 91～105kg (106～120g/m^2)	A4, A5 B5, レター リーガル(13インチ) リーガル(13.5インチ) リーガル(14インチ) エグゼクティブ	○	○	○	○
		A6	○	○	○	×
		カスタム*2	△*7	○	○	△*3
	連量 106～150kg (121～175g/m^2)	A4, A5 B5, レター リーガル(13インチ) リーガル(13.5インチ) リーガル(14インチ) エグゼクティブ	×	○	○	○
		A6	×	○	○	×
		カスタム*2	×	○	○	△*3

種類	厚さ	サイズ	給紙方法		排出方法	
			用紙カセット	マルチパーパストレイ手差し	フェイスアップ(表排出)	フェイスダウン(裏排出)
普通紙*1*6	連量 151～172kg (176～200g/m^2)	A4, A5 B5, レター リーガル(13インチ) リーガル(13.5インチ) リーガル(14インチ) エグゼクティブ	×	○	○	×
		A6	×	○	○	×
		カスタム*2	×	○	○	×
はがき*5	—	はがき, 往復はがき	×	○	○	×
封筒*5*6	—	封筒1(長形3号) 封筒2(長形4号) 封筒3(洋形4号) 封筒4(A4サイズ) Com-9, Com-10, DL C5, Monarch	×	○	○	×
ラベル紙*5	—	A4, レター	×	○	○	×
OHPシート*5	—	A4, レター	×	○	○	×

*1：全ての用紙は縦送りです。
*2：カスタムは幅100～215.9mm、長さ148～1200mmです。ただし、長さが356mm以上の場合は幅210～215.9mmとなります。
*3：幅105～215.9mm、長さ148～355.6mmです。
*4：幅148～215.9mm、長さ210～355.6mmです。
*5：はがき、封筒、ラベル紙、OHPシートを設定すると印刷速度が遅くなります。
*6：高温多湿により波打ちが発生した用紙は使用しないでください。(用紙にシワが発生することがあります。)
*7：幅105～215.9mm、長さ148～355.6mmの範囲内の一部のサイズで使用できます。

用紙幅がA5幅以下、およびカスタムサイズで150mm以下を設定すると、印刷速度が遅くなります。

メディアウェイトとメディアタイプを設定します

MFPの操作パネルでメディアウェイト、メディアタイプを設定します。
メディアウェイトは用紙の厚さ、メディアタイプは用紙の種類に関する設定です。

- メディアウェイト、メディアタイプを適切な値に設定しないと印刷品質が低下したり、定着器ユニットを傷めるおそれがあります。
- 用紙の種類と厚さにより、設定が必要な項目や設定値が異なります。

1 用紙の種類と厚さから、メディアウェイト、メディアタイプの設定値を確認します。

種　類	厚　さ	プリンタドライバの［用紙厚］の設定*2	操作パネルの設定値	
			メディアウェイト（用紙の厚さ）	メディアタイプ（用紙の種類）*1
普通紙	55〜64kg (64〜74g/m^2)	普通紙	フツウシ	フツウシ
	65〜89kg (75〜104g/m^2)	厚い紙	アツイカミ	
	90〜103kg (105〜120g/m^2)	より厚い紙	ヨリアツイカミ	
	104〜172kg (121〜200g/m^2)	ごく厚い紙	ゴクアツイカミ	
はがき*3	—	—	—	—
封筒*3	—	—	—	—
ラベル紙	0.1〜0.17mm未満	ラベル紙1	ヨリアツイカミ	ラベルシ
	0.17〜0.2mm	ラベル紙2	ゴクアツイカミ	
OHPシート*4	—	OHPシート	—	OHP

*1：メディアタイプの工場出荷時の設定は[フツウシ]です。
*2：用紙の厚さ・種類は操作パネルとプリンタドライバで設定することができます。プリンタドライバで設定した場合は、プリンタドライバ設定が優先されます。プリンタドライバの[給紙方法]で[自動選択]が選択されている場合、または[用紙厚]で[プリンタ設定]が選択されている場合は、操作パネルの設定で印刷します。
*3：はがき、封筒はメディアウェイト、メディアタイプの設定の必要はありません。
*4：OHPシートはメディアタイプのみ設定します。メディアウェイトの設定は必要ありません。

メディアウェイトの[ヨリアツイカミ]、[ゴクアツイカミ]、メディアタイプの[ラベルシ]、[OHP]を設定すると、印刷速度が遅くなります。

2 スキャナー部の操作パネルでメディアウェイトを設定します。

注
- メディアウエイトは、給紙するトレイごとに設定してください。
- はがき、封筒は設定の必要はありません。

ここでは、用紙カセットで普通紙(連量70kg紙)に印刷するときの設定手順([トレイ　メディアウエイト]を[アツイカミ]に設定します)を説明します。

❶ 「メニュー」ボタンを押します。

ﾌﾟﾘﾝﾀ ｼﾞｮｳﾎｳ ｼｭﾄｸﾁｭｳ

ｲﾝﾌｫﾒｰｼｮﾝ
ﾌﾟﾘﾝﾀ ﾒﾆｭｰ

❷ ▽ キーを押して、[プリンタメニュー]を選択し、「選択」ボタンを押します。

ﾄﾚｲ 1 ﾖｳｼ ｻｲｽﾞ: A4
MPﾄﾚｲ ﾖｳｼ ｻｲｽﾞ: A4

❸ ▽ キーを数回押して、[トレイ1　メディア　ウエイト]を選択し、「選択」ボタンを押します。

MPﾄﾚｲ ﾖｳｼ ｻｲｽﾞ: A4
ﾄﾚｲ 1 ﾒﾃﾞｨｱ ｳｪｲﾄ: ﾌﾂｳｼ

❹ ◁ キーまたは ▷ キーを使って[アツイカミ]までカーソルを移動し、「選択」ボタンを押します。

ﾄﾚｲ 1 ﾒﾃﾞｨｱ ｳｪｲﾄ
ﾌﾂｳｼ/ｱﾂｲｶﾐ/ﾖﾘｱﾂｲｶﾐ

メモ　スキャナシステムファームウェア Ver1.3 より前のバージョンでは、「選択」ボタンを押す必要はありません。

MPﾄﾚｲ ﾖｳｼ ｻｲｽﾞ: A4
ﾄﾚｲ 1 ﾒﾃﾞｨｱ ｳｪｲﾄ: ｱﾂｲｶﾐ

❺ 「戻る」ボタンを押します。

ﾛｰﾃﾞｨﾝｸﾞ・・・
ﾌﾟﾘﾝﾀ ﾃﾞﾌｫﾙﾄ

ｲﾝﾌｫﾒｰｼｮﾝ
ﾌﾟﾘﾝﾀ ﾒﾆｭｰ

❻ 「戻る」ボタンを押します。

ｱﾃｻｷ:
ｹﾝﾒｲ:

メモ　メディアウェイトは、OKIMFPネットワークセットアップツールまたはWebブラウザからも設定できます。詳しくは、OKIMFPネットワークセットアップツールのヘルプをご覧ください。

3 スキャナー部の操作パネルでメディアタイプを設定します。

- メディアタイプの工場出荷時の設定は[フツウシ]です。普通紙に印刷する場合はそのまま使用してください。
- メディアタイプは、給紙するトレイごとに設定してください。
- ラベル紙、OHPシートは必ず設定してください。
- はがき、封筒は設定の必要はありません。

ここでは、マルチパーパストレイでOHPシートに印刷するときの設定手順([MPトレイ　メディアタイプ]を[OHP]に設定します)を説明します。

❶ 「メニュー」ボタンを押します。

ﾌﾟﾘﾝﾀ ｼﾞｮｳﾎｳ ｼｭﾄｸﾁｭｳ

ｲﾝﾌｫﾒｰｼｮﾝ
ﾌﾟﾘﾝﾀ ﾒﾆｭｰ

❷ ▽キーを押して、[プリンタメニュー]を選択し、「選択」ボタンを押します。

ﾄﾚｲ 1 ﾖｳｼ ｻｲｽﾞ: A4
MPﾄﾚｲ ﾖｳｼ ｻｲｽﾞ: A4

❸ ▽キーを数回押して、[MPトレイ　メディア　タイプ]を選択し、「選択」ボタンを押します。

MPﾄﾚｲ ﾒﾃﾞｨｱ ｳｪｲﾄ: ﾌﾂｳｼ
MPﾄﾚｲ ﾒﾃﾞｨｱ ﾀｲﾌﾟ: ﾌﾂｳｼ

❹ ◁キーまたは▷キーを使って[OHP]を選択し、「選択」ボタンを押します。

MPﾄﾚｲ ﾒﾃﾞｨｱ ﾀｲﾌﾟ
ﾌﾂｳｼ/ﾚﾀｰﾍｯﾄﾞ/OHP/ﾗﾍﾞﾙｼ/ﾎ

MPﾄﾚｲ ﾒﾃﾞｨｱ ｳｪｲﾄ: ﾌﾂｳｼ
MPﾄﾚｲ ﾒﾃﾞｨｱﾀｲﾌﾟ: OHP

メモ スキャナシステムファームウェアVer1.3より前のバージョンでは、「選択」ボタンを押す必要はありません。

❺ 「戻る」ボタンを押します。

ﾛｰﾃﾞｨﾝｸﾞ・・・
ﾌﾟﾘﾝﾀ ﾃﾞﾌｫﾙﾄ

ｲﾝﾌｫﾒｰｼｮﾝ
ﾌﾟﾘﾝﾀ ﾒﾆｭｰ

❻ 「戻る」ボタンを押します。

ｱﾃｻｷ:
ｹﾝﾒｲ:

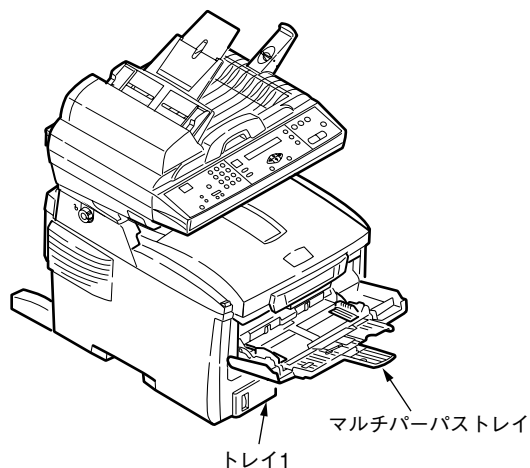
メモ メディアタイプは、OKIMFPネットワークセットアップツールまたはWebブラウザからも設定できます。詳しくは、OKIMFPネットワークセットアップツールのヘルプをご覧ください。

印刷します

給紙方法は、トレイ1、マルチパーパストレイの2通りあります。

はがき、封筒、ラベル紙、OHPシートは用紙カセットから印刷できません。
用紙カセットは、トレイと呼ぶ場合があります。

はがき、封筒、ラベル紙、OHPシートはマルチパーパストレイから印刷します。
普通紙も印刷できます。

マルチパーパストレイで手差し印刷をすることもできます。
コンピュータから印刷を実行した後にマルチパーパストレイに用紙をセットし、
1枚ずつ確認してから 「オンライン」スイッチを押して印刷をします。

1 用紙をセットします。

用紙カセット(トレイ1)の場合

❶

❷

❸

マルチパーパストレイの場合

❶

❷

目次へ 戻る 前へ 次へ 索引へ 検索する

❸

「↓」マーク

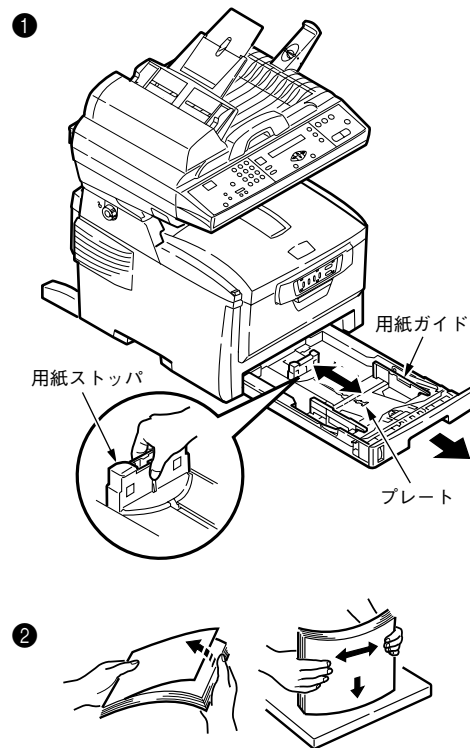
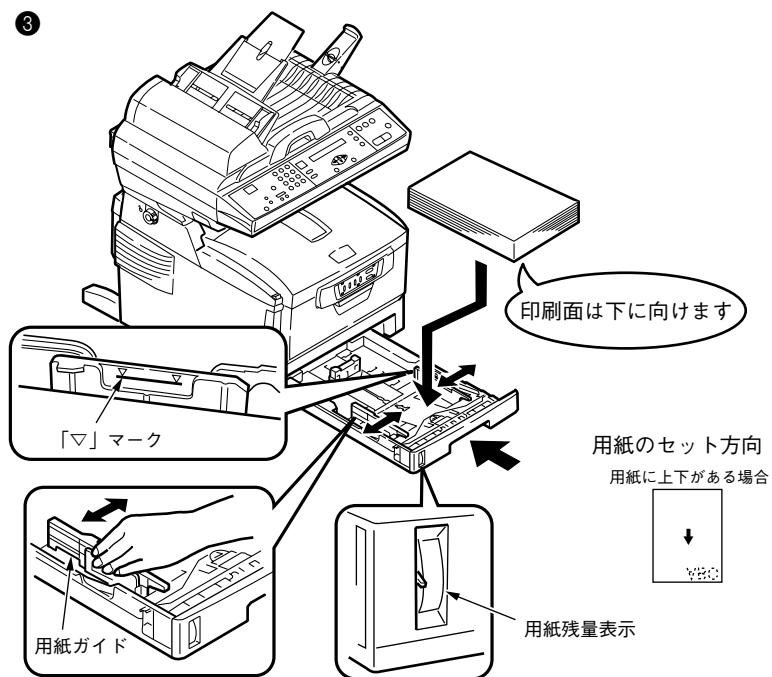
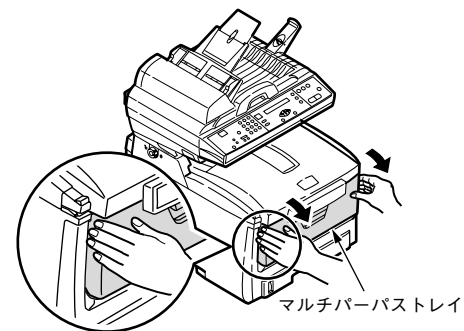
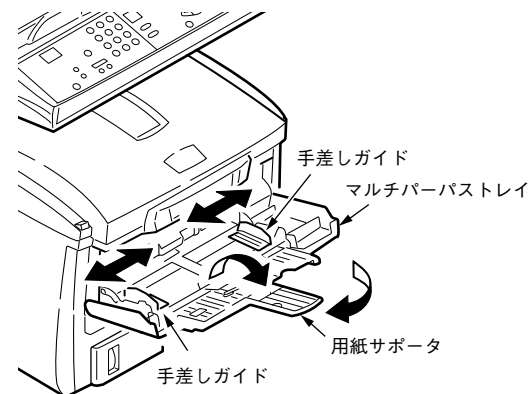
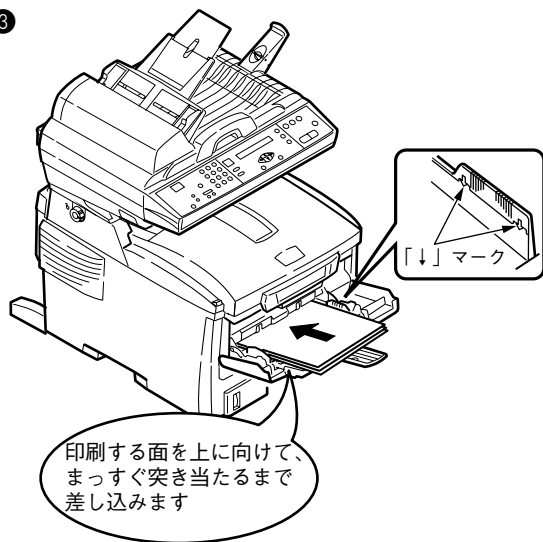
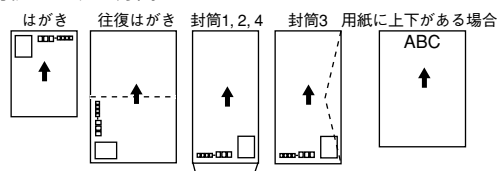
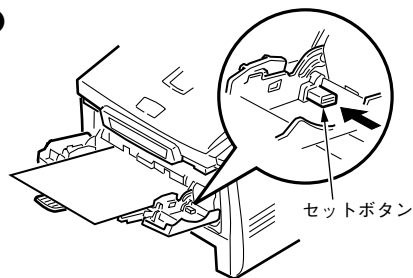
印刷する面を上に向けて、まっすぐ突き当たるまで差し込みます

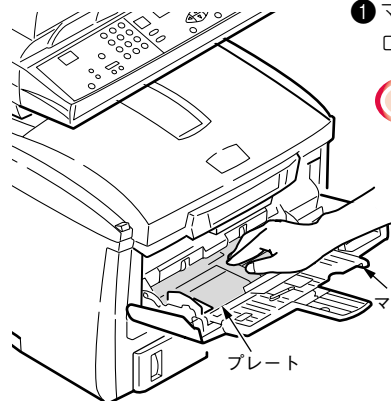
用紙のセット方向

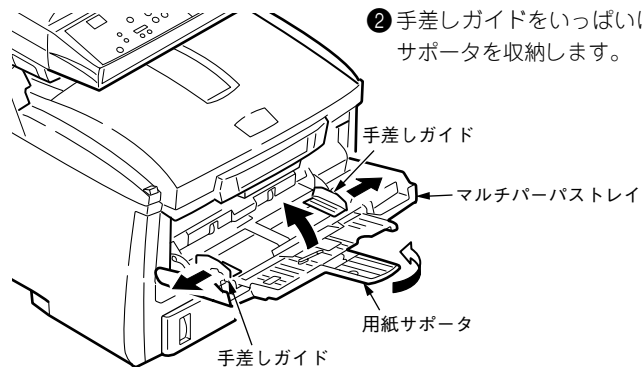
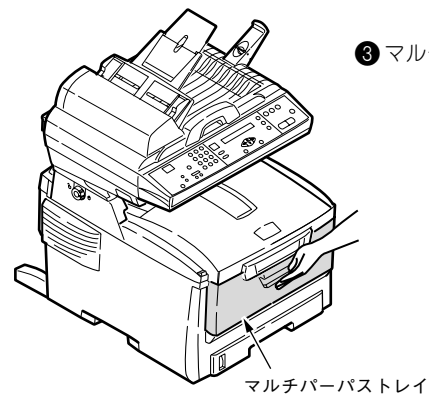
はがき　往復はがき　封筒1, 2, 4　封筒3　用紙に上下がある場合

ABC

❹

セットボタン

- 適切な温度・湿度に保管した用紙を使用してください。湿度によりカールや波打ちが発生した用紙は使用しないでください。（用紙にシワが発生することがあります。）
- 用紙ガイドと用紙ストッパは、用紙との間に隙間ができないように調節してください。また、用紙が曲がるほど強く押しつけないでください。
- 用紙ガイドの「▽」マークを越えないようにセットしてください。（連量70kg紙で300枚）マルチパーパストレイでは100枚）
- 用紙は縦送りでセットしてください。
- サイズ、種類、厚さの異なる用紙を一度にまとめてセットしないでください。
- 用紙を追加する場合は、先に入っている用紙を取り出し、追加する用紙と上下左右をそろえてからセットしてください。
- 用紙カセットを差し込むときはあまり勢いよく押さないでください。
- 印刷中の用紙カセットは引き出さないでください。
- 他のプリンタ等で一度印刷した用紙で、裏面印刷はしないでください。
- 用紙カセットでは、はがき、封筒を使用できません。
- はがき、封筒の反りは吸入不良の原因になります。反りのないものを使用してください。反りは2mm以内に修正してください。（マルチパーパストレイ）
- 封筒は縦送りでセットしてください。（マルチパーパストレイ）
- 封筒の後端部ののり付け部が折れ曲がっているものは、吸入不良になることがあります。折れ曲がりを修正してから使用してください。
- マルチパーパストレイの上に印刷する用紙以外のものを置いたり、上から押したり、無理な力を加えたりしないでください。

マルチパーパストレイの閉じ方

❶ マルチパーパストレイのプレートを、ロックするまで手で押し下げます。

注 必ずプレートをロックしてからマルチパーパストレイを閉じてください。ロックしないと、マルチパーパストレイが開かなくなる場合があります。

❷ 手差しガイドをいっぱいに広げ、用紙サポータを収納します。

❸ マルチパーパストレイを閉じます。

2 スキャナー部の操作パネルで用紙サイズを設定します。

MFP出荷時にはトレイ1、マルチパーパストレイの用紙サイズが［A4］で設定されています。A4以外の用紙で印刷する場合には、下記の手順に従ってユーザメニューの用紙サイズを変更する必要があります。

- 用紙サイズは、Webページからも設定できます。詳しくは、OKIMFPネットワークセットアップツールのヘルプをご覧ください。
- 「OKIMFPネットワークセットアップツール」でも設定できます。詳しくは、OKIMFPネットワークセットアップツールのヘルプをご覧ください。

ここでは、マルチパーパストレイでB5用紙に印刷するときの設定手順（[MPトレイ　ヨウシサイズ]を[B5]に設定します）を説明します。

❶ 「メニュー」ボタンを押します。

```
ﾌﾟﾘﾝﾀ ｼﾞｮｳﾎｳ ｼｭﾄｸﾁｭｳ
```

```
ｲﾝﾌｫﾒｰｼｮﾝ
ﾌﾟﾘﾝﾀ ﾒﾆｭｰ
```

❷ ▽キーを1回押し、［プリンタメニュー］を選択します。

```
ｲﾝﾌｫﾒｰｼｮﾝ
ﾌﾟﾘﾝﾀ ﾒﾆｭｰ
```

❸ 「選択」ボタンを押します。

```
ﾄﾚｲ 1 ﾖｳｼ ｻｲｽﾞ: A4
MP ﾄﾚｲ ﾖｳｼ ｻｲｽﾞ: A4
```

❹ ▽キーを押し、［MPトレイ　ヨウシ　サイズ］を選択し、「選択」ボタンを押します。

```
ﾄﾚｲ 1 ﾖｳｼ ｻｲｽﾞ: A4
MP ﾄﾚｲ ﾖｳｼ ｻｲｽﾞ: A4
```

❺ ◁キーまたは▷キーを使って［B5］を選択し、「選択」ボタンを押します。

```
MP ﾄﾚｲ ﾖｳｼ ｻｲｽﾞ: A4
A4/A5/A6/B5/ﾘｰｶﾞﾙ/ﾘｰｶﾞﾙ1
```

```
ﾄﾚｲ 1 ﾖｳｼ ｻｲｽﾞ: A4
MP ﾄﾚｲ ﾖｳｼ ｻｲｽﾞ: B5
```

メモ　スキャナシステムファームウェア Ver1.3 より前のバージョンでは、「選択」ボタンを押す必要はありません。

❻ 「戻る」ボタンを押します。

```
ﾛｰﾃﾞｨﾝｸﾞ･･･
ﾌﾟﾘﾝﾀ ﾃﾞﾌｫﾙﾄ
```

```
ｲﾝﾌｫﾒｰｼｮﾝ
ﾌﾟﾘﾝﾀ ﾒﾆｭｰ
```

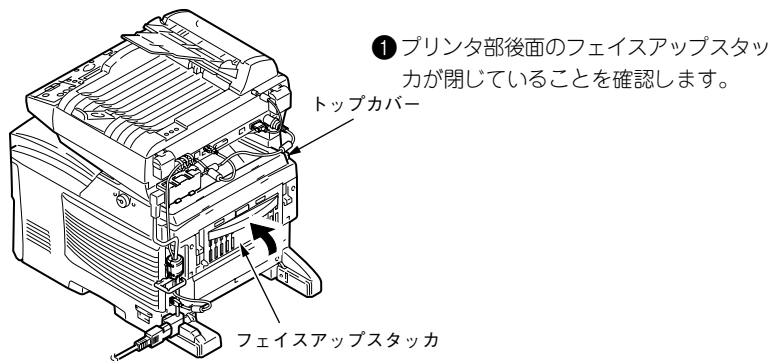
❼ 「戻る」ボタンを押します。

```
ｱﾃｻｷ
ｹﾝﾒｲ
```

3 用紙の排出先をセットします。

フェイスダウン（印刷面を裏にして排出）の場合

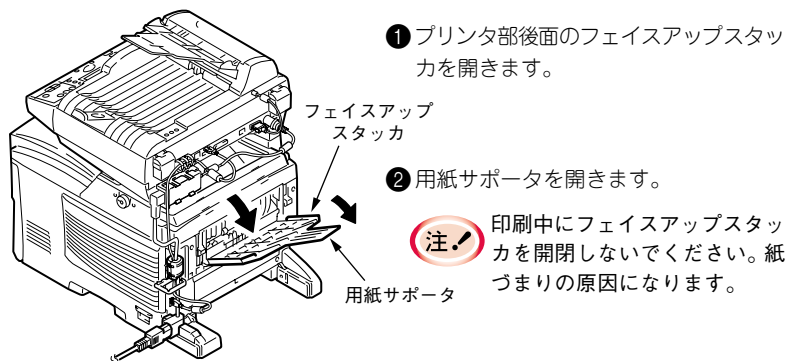
用紙はトップカバー上に排出され、印刷した順に重なります。
連量70kg紙で約250枚をためることができます。

❶プリンタ部後面のフェイスアップスタッカが閉じていることを確認します。

フェイスアップ（印刷面を表にして排出）の場合

用紙はフェイスアップスタッカ上に排出され、印刷した順と逆に重なります。
連量70kg紙で約100枚ためることができます。

❶プリンタ部後面のフェイスアップスタッカを開きます。

❷用紙サポータを開きます。

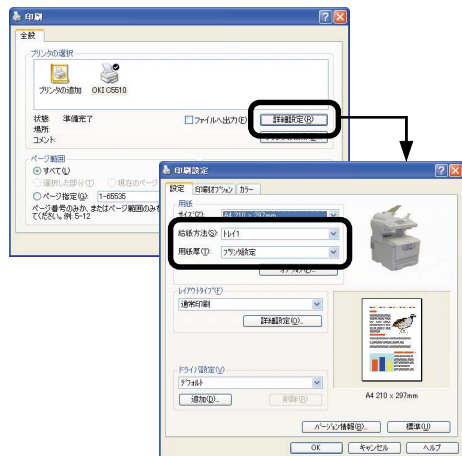
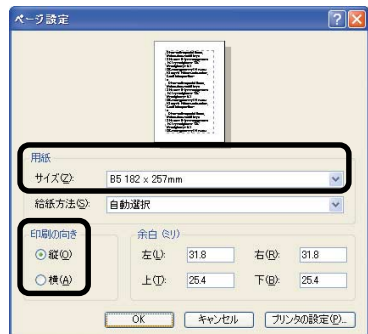
注 印刷中にフェイスアップスタッカを開閉しないでください。紙づまりの原因になります。

4 アプリケーションを起動します。

印刷したいファイルを開きます。

5 プリンタドライバで［用紙サイズ］、［給紙方法］を選択し、印刷します。

- Windowsの［ワードパッド］を使い、トレイ1でB5サイズの普通紙に印刷する場合を例にしています。
- プリンタドライバの［用紙厚］ではメディアウエイト、メディアタイプと同等の設定をすることができます。［用紙厚］の初期値の［プリンタ設定］では、MFPの操作パネルで設定した値で印刷されますので、通常は設定する必要はありません。
  プリンタドライバで設定を変更する場合は、印刷するたびに設定する必要があります。
- アプリケーションにより、画面や手順が異なる場合があります。
  正しく印刷できない場合は、応用編3章「便利な印刷機能」の「プリンタドライバのデフォルトを変更したい」をご覧ください。

［給紙方法］で［自動選択］を選択すると、指定した用紙が入っているトレイを自動的に選択します。

Windowsプリンタドライバの場合

❶［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

❷［サイズ］で［B5］、［印刷の向き］で［縦］または［横］を選択し、［OK］をクリックします。

❸［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❹［詳細設定］（WindowsNT4.0/Me/98では［プロパティ］）をクリックします。
（Windows2000では、この操作は必要ありません。）

❺［設定］タブの［給紙方法］で［トレイ1］を選択します。

❻［用紙厚］で［プリンタ設定］を選択します。

❼［OK］をクリックします。

（Windows2000では、この操作は必要ありません。）

❽「印刷」画面で［OK］または［印刷］をクリックし、印刷します。

6 スキャンします

読み取りできる原稿

C5510MFPで読み取り可能な原稿サイズは、次の通りです。

原稿台	208mm×286mm以下
ADF	幅110～208mm　長さ135～343mm

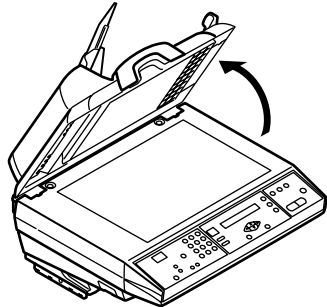
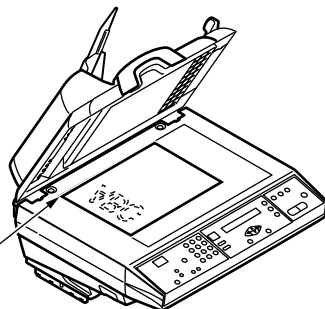
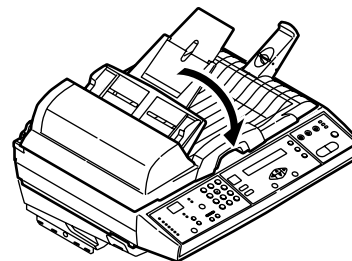
ADF（オートドキュメントフィーダ）で連続読み込みするには、原稿は紙厚60g/m²～105g/m²でシワや反りのない原稿を使用してください。

以下の原稿は使用しないでください。

- 表面が平滑（すべすべ）すぎる原稿、粗い（ザラ紙、繊維質）原稿、表と裏の粗さが大きく異なる原稿
- 紙粉が多い原稿
- 濡れている（湿っている）原稿
- 静電気で貼り付いている原稿
- 表面に、絹目加工（シボ）、浮き出し加工（エンボス）、コーティング加工をした原稿
- バインダ用の穴、ミシン目、切り込み、穴がある原稿
- 用紙カット面に、凹凸、つぶれ、バリなどがある原稿
- 四角い形状でない用紙、裁断角度が直角でない原稿
- シワ、反り、角の折れ曲がり、波打ち、折り目、破れなどがある原稿
- ホチキス、クリップ、リボン、テープ、留め金などがついている原稿

原稿台で原稿をスキャンします

原稿台に読み取り原稿を1枚ずつのせて、スキャンします。
厚みのある原稿もスキャンすることができます。

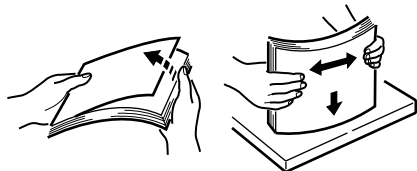
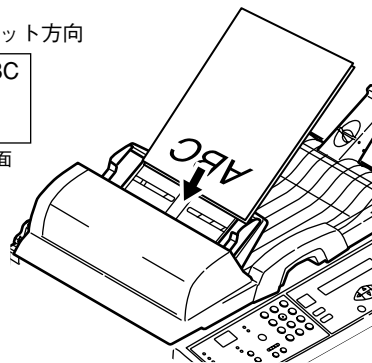
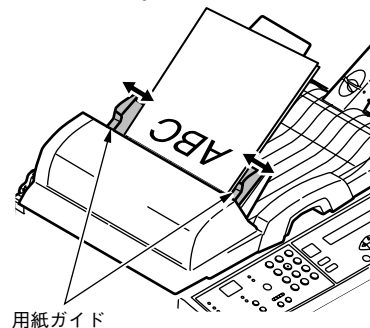
1 原稿カバーを開けます。

2 読み取り原稿を読み取り面を下にして、左奥側の角を合わせてセットします。

3 原稿カバーを閉じます。

注 厚みのある原稿をスキャンする場合、原稿カバーを上から強く押し付けないでください。正しくスキャンできないことがあります。

4 スキャンします。

「モノクロスタート」ボタン、または「カラースタート」ボタンを押します。

ADFを使用して、複数の原稿を連続的にスキャンします

ADFに1度にセットできる原稿は、50枚までです。
紙厚60g/m²～105g/m²でシワや反りのない原稿を使用してください。

1 原稿をよくさばき、そろえます。

2 読み取り面を上にして、ADF に原稿を乗せます。

3 用紙ガイドを合わせます。

4 スキャンします。

「モノクロスタート」ボタン、または 「カラースタート」ボタンを押します。

スキャンしてEメールで送ります(スキャン To Eメール)

C5510MFPをネットワークで接続している場合、スキャンしたデータをEメールで送信することができます。

USB接続では使用できません。

Eメールアドレスを入力して送信

❶ 読み取り原稿を、原稿台またはADFにセットします。

❷ 「スキャナーモード」ボタンを押します。

```
ｱﾃｻｷ: _
ｹﾝﾒｲ:
```

❸「数字」ボタンを使用し、送信先の宛先を入力します。

```
ｱﾃｻｷ: abc@oki.ne.jp_
ｹﾝﾒｲ:
```

メモ
- 「数字」ボタンを使用した宛先の入力方法については、2章「操作パネルとメニューについて」の「「数字」ボタンの使用方法」(36ページ)をご覧ください。
- 宛先を間違って入力してしまった場合は、「カーソル」キーを使用して間違った宛先を選択し、「戻る」ボタンで削除します。

❹ 「モノクロスタート」ボタンまたは 「カラースタート」ボタンを押します。

❺ 読み取りと送信が完了すると、[Eメール ソウシン OK]と表示されます。

```
ﾍﾟｰｼﾞ 1......100%
<<< E ﾒｰﾙ ｿｳｼﾝ OK >>>
```

メールアドレス帳からアドレスを引用して送信

❶ 読み取り原稿を、原稿台またはADFにセットします。

❷ 「スキャナーモード」ボタンを押します。

```
ｱﾃｻｷ: _
ｹﾝﾒｲ:
```

❸ 「メールアドレス帳」ボタンを押します。

```
aabc        abc@oki
 bcd        bcd@oki
```

❹ 「カーソル」キーを使用して送信先の宛先まで移動します。

```
 bcd        bcd@oki
 ccc        ccc@oki
```

メモ C5510MFPは、登録されている宛先の検索機能を備えています。詳しくは、応用編4章「便利なスキャン機能」の「メールアドレス帳から検索して宛先を設定したい」をご覧ください。

❺ 「選択」ボタンを押します。

```
 bcd        bcd@oki
* ccc       ccc@oki
```

❻ 「戻る」ボタンを押します。

```
ｱﾃｻｷ: ccc@oki.ne.jp
```

メモ 宛先を間違って選択してしまった場合は、「カーソル」キーを使用して間違った宛先を選択し、「戻る」ボタンで削除します。

❼ 「モノクロスタート」ボタンまたは 「カラースタート」ボタンを押します。

❽ 読み取りと送信が完了すると、[Eメール ソウシン OK]と表示されます。

```
ﾍﾟｰｼﾞ 1......100%
  <<< E ﾒｰﾙ ｿｳｼﾝ OK >>>
```

[タイキモード イコウジカン]で設定した時間内に「スタート」ボタンを押してスキャンを始めてください。
ボタンを押さずに、[タイキモード イコウジカン]で設定した時間が経過すると、設定した宛先がクリアされ、操作パネル表示部は待機画面に戻ります。
[タイキモード イコウジカン]の設定方法については、応用編8章「その他の設定項目」の「待機モードに移行するまでの時間を変更したい」をご覧ください。

メールアドレス帳へ登録

Eメールアドレスを入力して送信した後、以下の手順でそのアドレスをアドレス帳へ登録することができます。

❶ 読み取り原稿を、原稿台またはADFにセットします。

❷ 「スキャナーモード」ボタンを押します。

```
ｱﾃｻｷ: _
ｹﾝﾒｲ:
```

❸ 「数字」ボタンを使用し、送信先の宛先を入力します。

```
ｱﾃｻｷ: abc@oki.ne.jp_
ｹﾝﾒｲ:
```

メモ
- 「数字」ボタンを使用した宛先の入力方法については、「5 操作パネルとメニューについて」の「スキャナー部「数字」ボタンの使用方法」をご覧ください。
- 宛先を間違って入力してしまった場合は、「カーソル」キーを使用して間違った宛先を選択し、「戻る」ボタンで削除します。

❹ 「モノクロスタート」ボタンまたは 「カラースタート」ボタンを押します。

❺ 読み取りと送信が完了すると、[Eメール ソウシン OK]と表示されます。

```
ﾍﾟｰｼﾞ 1......100%
  <<< E ﾒｰﾙ ｿｳｼﾝ OK >>>
```

❻ 入力した宛先をアドレスブックに登録する。

```
ｱﾄﾞﾚｽ " abc@oki.ne.jp"
ｱﾄﾞﾚｽﾌﾞｯｸ ﾍ ﾄｳﾛｸ .. ﾊｲ/ｲｲｴ
```

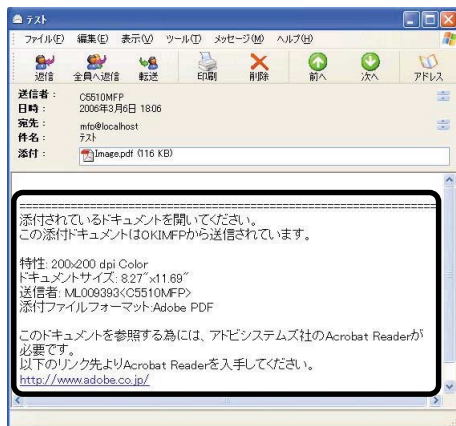
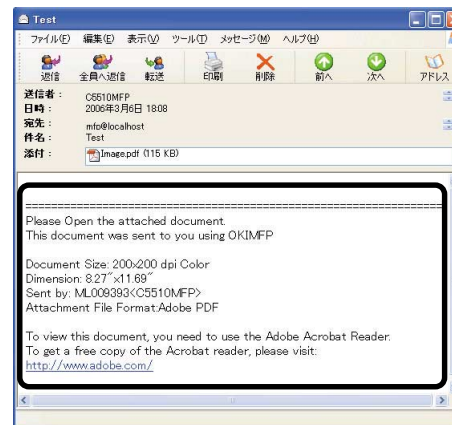
❼ 「選択」ボタンを押します。

<ﾌﾗｯｼｭ ｱｯﾌﾟﾃﾞｰﾄ>
―ｱﾄﾞﾚｽﾌﾞｯｸ

<ﾌﾗｯｼｭ ｱｯﾌﾟﾃﾞｰﾄ>
―ｾｲｺｳ

送信したEメールのメッセージ構成

送信したEメールのメッセージは、「説明」、「添付ファイルの特性(色種別および解像度)」、「添付ファイルのドキュメントサイズ」、「Eメールの送信者(送信を実行したMFPの詳細)」、および「添付ファイルフォーマット(添付ファイルの形式)」から構成されます。
なお、このメッセージは、Eメールの送信を実行したMFPの言語設定が日本語の場合は日本語で、また英語の場合は英語で表示されます。

日本語のメッセージ

英語のメッセージ

メモ ここで紹介したメッセージは、Microsoft Outlook Expressで受信したEメールのものです。異なるメールソフトで受信した場合でも、メッセージの構成は同様です。

コンピュータからスキャナーとして使います(PCスキャン)

C5510MFPとコンピュータをUSBで接続している場合、スキャンしたデータをコンピュータに取り込むことができます。

注

WindowsXPでは、標準機能となりますが、WindowsXP以外のOSを使用している場合は、「MFPソフトウェアCD-ROM」に格納されているソフトウェア「Paper Port 9.0」(スキャナ対応アプリケーション)をご利用ください。

1 コンピュータにスキャナードライバをセットアップします。

プラグアンドプレイでセットアップします。
セットアップ方法については、「4 USB接続でWindowsにセットアップします」をご覧ください。

メモ

「MFPソフトウェアCD-ROM」に格納されているソフトウェア「Paper Port 9.0」(スキャナ対応アプリケーション)を使用してPCスキャンを行う場合については、応用編4章「便利なスキャン機能」の「スキャニングソフトウェアを使ってスキャンしたい」をご覧ください。

2 スキャナードライバを起動します。

[スタート]-[コントロールパネル]-[プリンタとその他のハードウェア]-[スキャナとカメラ] - [OKI Scanner](WindowsXP 以外では [プログラム] - [コントロールパネル] - [スキャナとカメラ] - [OKI Scanner])を選択します。

❶「スキャナとカメラ ウィザード」が起動したら、[次へ]を選択します。

❷「画像の種類」の設定をして「プレビュー」ボタンをクリックします。

❸画像の名前とコピー先を指定して、「次へ」を選択します。

❹画像をスキャンします。

❺実行する作業を選択して、「次へ」を選択します。

❻「完了」を選択します。

7 コピーします

コピーを始める前に

コピーで使用できる用紙サイズ

コピーで使用できる用紙サイズは以下の5種類です。

- A4 - 210×297mm
- A5 - 148×210mm
- B5 - 182×257mm
- レター - 215.9×279.4mm
- リーガル（14インチ）- 215.9×355.6mm

リーガル（14センチ）は、ADFのみでコピーできます。

1 用紙カセット（トレイ 1）に用紙をセットします。

コピーを始める前に、まずコピーしたいサイズの用紙をプリンタ部の用紙カセット（トレイ 1）にセットします。用紙のセット方法については、1章「C5510MFP を組み立てます」の「10 用紙カセットに用紙をセットします。」（22 ページ）をご覧ください。

メモ　マルチパーパストレイに用紙をセットすることもできます。

2 スキャナー部の操作パネルで用紙サイズを設定します。

セットした用紙のサイズを自動で検出することはできません。必ず、スキャナー部の操作パネルで用紙カセット（トレイ1）の用紙サイズを設定してください。

❶「メニュー」ボタンを押します。

```
ﾌﾟﾘﾝﾀ ｼﾞｮｳﾎｳ ｼｭﾄｸﾁｭｳ
```

```
ｲﾝﾌｫﾒｰｼｮﾝ
ﾌﾟﾘﾝﾀ ﾒﾆｭｰ
```

❷ ▽ キーを1回押し、［プリンタメニュー］を選択ます。

```
ｲﾝﾌｫﾒｰｼｮﾝ
ﾌﾟﾘﾝﾀ ﾒﾆｭｰ
```

❸「選択」ボタンを押します。

```
ﾄﾚｲ 1 ﾖｳｼ ｻｲｽﾞ: A4
MP ﾄﾚｲ ﾖｳｼ ｻｲｽﾞ: A4
```

❹［トレイ　1　ヨウシ　サイズ］が選択されていることを確認し、「選択」ボタンを押します。

```
ﾄﾚｲ 1 ﾖｳｼ ｻｲｽﾞ
A4/A5/A6/B5/Leagal/
```

❺ ◁、▷キーを使って用紙カセットにセットした用紙サイズを選択し、◯「選択」ボタンを押します。

トレイ 1 ヨウシ サイズ
A4/A5/A6/B5/Leagal/Leagal1

トレイ 1 ヨウシ サイズ：A5
MP トレイ ヨウシ サイズ：A4

メモ　スキャナシステムファームウェア Ver1.3 より前のバージョンでは、◯「選択」ボタンを押す必要はありません。

❻ ◯「戻る」ボタンを押します。

ローディング・・・
プリンタ デフォルト

インフォメーション
プリンタ メニュー

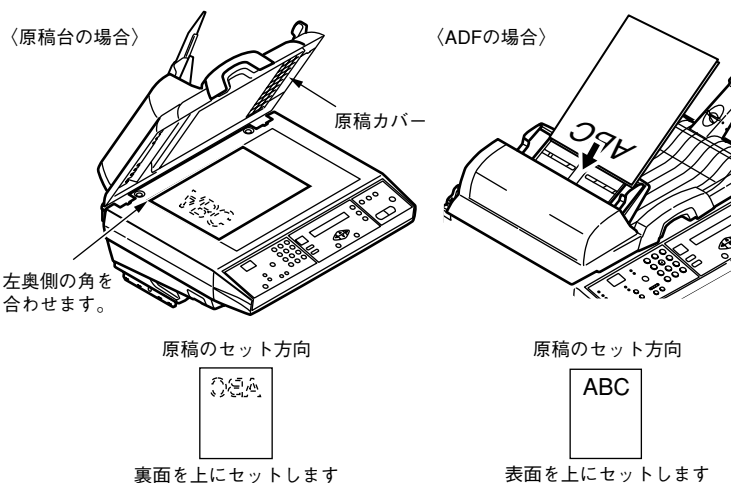
❼ ◯「戻る」ボタンを押します。

アテサキ
ケンメイ

メモ　マルチパーパストレイの用紙にコピーしたい場合は、応用編5章「便利なコピー機能」の「マルチパーパストレイの用紙にコピーしたい」を参照してください。

カラー／モノクロでコピーします

❶ C5510MFPスキャナー部の原稿台またはADFに読み取り原稿をセットします。

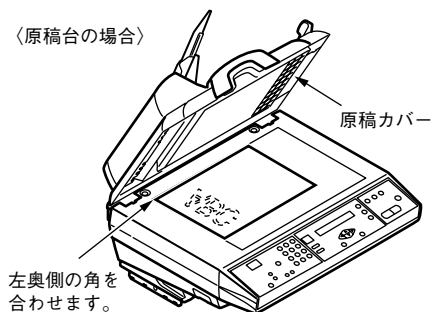
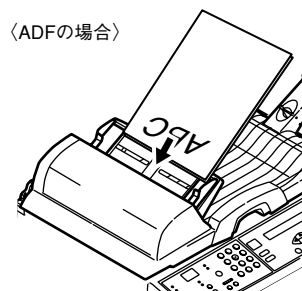
原稿台に原稿を載せた状態で原稿カバーを強く押さえ付けないでください。ガラス面が破損する恐れがあります。厚みがあり、ガラス面からはみ出すような原稿の場合、原稿カバーを上から強く押さえ付けると正常にコピーできないことがあります。
原稿カバーが閉まらないような場合は原稿が落ちないように軽く手で押さえる程度にしてください。

❷ 「コピーモード」ボタンを押します。

❸ 「カラースタート」ボタンまたは 「モノクロスタート」ボタンを押します。

[タイキモード　イコウジカン]で設定した時間以内に「スタート」ボタンを押してコピーを始めてください。
ボタンを押さずに、[タイキモード　イコウジカン]で設定した時間が経過すると、MFPは待機モード設定で設定されているモードに戻ります。
[タイキモード　イコウジカン]の設定方法については、応用編8章「その他の設定項目」の「待機モードに移行するまでの時間を変更したい」をご覧ください。

複数の部数をコピーします

❶C5510MFPスキャナー部の原稿台またはADFに読み取り原稿をセットします。

❷ 「コピーモード」ボタンを押します。

❸テンキーを使用して、コピーする部数を入力します。

- 1度にコピーできるのは、最大で99部までです。

メモ コピー部数を訂正したい場合は、Ⓒ ボタンを押します。

❸ 「カラースタート」ボタンまたは 「モノクロスタート」ボタンを押します。

注 [タイキモード　イコウジカン]で設定した時間以内に「スタート」ボタンを押してコピーを始めてください。
ボタンを押さずに、[タイキモード　イコウジカン]で設定した時間が経過すると、部数設定はクリアされ、操作パネル表示部は待機画面に戻ります。
[タイキモード　イコウジカン]の設定方法については、応用編8章「その他の設定項目」の「待機モードに移行するまでの時間を変更したい」をご覧ください。

8 C5510MFPの設定項目について

～ プリンタ部の設定項目 ～

現在の設定を確認します（ステータスページ印刷）

1 スキャナー部の操作パネルで用紙サイズを設定します。

メニューマップを印刷する場合、トレイ1の用紙サイズ設定をA4にする必要があります。現在の設定がA4以外に設定されている場合は、必ず以下の手順で設定を変更しからメニューマップを印刷してください。

❶ 「メニュー」ボタンを押します。

ﾌﾟﾘﾝﾀ ｼﾞｮｳﾎｳ ｼｭﾄｸﾁｭｳ

ｲﾝﾌｫﾒｰｼｮﾝ
ﾌﾟﾘﾝﾀ ﾒﾆｭｰ

❷ ▽ キーを1回押し、[プリンタメニュー]を選択します。

❸ 「選択」ボタンを押します。

ﾄﾚｲ 1 ﾖｳｼ ｻｲｽﾞ: ﾚﾀｰ
MPﾄﾚｲ ﾖｳｼ ｻｲｽﾞ: A4

❹ 「トレイ1　ヨウシ　サイズ」が選択されていることを確認し、「選択」ボタンを押します。

❺ ◁、▷ キーを使って[A4]を選択し、「選択」ボタンを押します。

ﾄﾚｲ 1 ﾖｳｼ ｻｲｽﾞ
A4/A5/A6/B5/ﾘｰｶﾞﾙ/ﾘｰｶﾞﾙ1

ﾄﾚｲ 1 ﾖｳｼ ｻｲｽﾞ: A4
MPﾄﾚｲ ﾖｳｼ ｻｲｽﾞ: A4

メモ　スキャナシステムファームウェア Ver1.3 より前のバージョンでは、「選択」ボタンを押す必要はありません。

❻ 「戻る」ボタンを押します。

ﾛｰﾃﾞｨﾝｸﾞ・・・
ﾌﾟﾘﾝﾀ ﾃﾞﾌｫﾙﾄ

ｲﾝﾌｫﾒｰｼｮﾝ
ﾌﾟﾘﾝﾀ ﾒﾆｭｰ

❼ 「戻る」ボタンを押します。

ｱﾃｻｷ:
ｹﾝﾒｲ:

2 ステータスページを印刷します。

❶ トレイ1にA4用紙をセットします。

❷ プリンタ部の 「オンライン」スイッチを2〜5秒以上押して放します。

5秒以上押下した場合は、Demo Pageが印刷されます。

（サンプル）

Status Page C5510

Printer Serial Number:AE58028404 ﾌﾟﾘﾝﾀ ｶﾝﾘ ﾊﾞﾝｺﾞｳ:
CU version:H2.15 [I01.22 U03.11 S2.4.3p B01.01 PPC405PS 200MHz F35 J0]
PU version:01.03.01 [PI02.21 LO00.12.03] ET:000000010305041D1EFE090F00000000 KYMC-0000
Hiper-C version:00.15
DIMM Slot A:CU Program ROM
Total Memory Size:96 MB
Flash Memory:512 KB [F35]
JP1

ｼｮｳﾓｳﾋﾝ

ｲﾝｻﾂﾍﾟｰｼﾞ ﾏｲｽｳ
ﾄﾚｲ1 39
MPﾄﾚｲ 0
ｶﾗｰﾍﾟｰｼﾞ 18
ﾓﾉｸﾛﾍﾟｰｼﾞ 19

ｼｮｳﾓｳﾋﾝ ﾉｺﾘ
K ﾄﾅｰ 5K=99% 3K=99%
C ﾄﾅｰ 5K=100% 3K=100%
M ﾄﾅｰ 5K=100% 3K=100%
Y ﾄﾅｰ 5K=100% 3K=100%

K ﾄﾞﾗﾑ 99%
C ﾄﾞﾗﾑ 99%
M ﾄﾞﾗﾑ 99%
Y ﾄﾞﾗﾑ 99%

ﾍﾞﾙﾄ 99%
ﾌｭｰｻﾞ 99%

ﾄﾚｲ ｼﾞｮｳﾎｳ
ｷｭｳｼ ﾄﾚｲ ﾄﾚｲ1
ﾄﾚｲ1
ﾖｳｼｻｲｽﾞ A4
ﾖｳｼﾀｲﾌﾟ ﾌﾂｳｼ
ﾖｳｼｱﾂ ｱﾂｲｶﾐ
MPﾄﾚｲ
ﾖｳｼｻｲｽﾞ A4
ﾖｳｼﾀｲﾌﾟ ﾌﾂｳｼ
ﾖｳｼｱﾂ ｱﾂｲｶﾐ

ﾗﾝﾌﾟﾉｾﾂﾒｲ
ｵﾝﾗｲﾝ
ｳｵｰﾑｱｯﾌﾟ,ﾃﾞｰﾀ,ﾌﾟﾘﾝﾃｨﾝｸﾞ
ﾖｳｼｶﾝｹｲｴﾗｰ
ﾖｳｼﾅｼ,ﾃｻｼﾖｳｷｭｳ
ｼｮｳﾓｳﾋﾝ ｹｲｺｸ
K ﾄﾅｰｺｳｶﾝｼﾞｭﾝﾋﾞﾅﾄﾞ
ｴﾗｰ
ｶﾊﾞｰｵｰﾌﾟﾝ,ﾖｳｼｼﾞｬﾑ,ﾄﾞﾗﾑﾅｼ..

ｽｲｯﾁ ｿｳｻ
ON-LINE StatusPageｲﾝｻﾂ(2ﾋﾞｮｳ ｵｽ)
Demo Pageｲﾝｻﾂ(5ﾋﾞｮｳ ｵｽ)
CANCEL ｲﾝｻﾂ ｷｬﾝｾﾙ (2ﾋﾞｮｳ ｵｽ)

～ スキャナー部の設定項目 ～

現在の設定を確認します（メニューマップ印刷）

1 スキャナー部の操作パネルで用紙サイズを設定します。

メニューマップを印刷する場合、トレイ1の用紙サイズ設定をA4にする必要があります。現在の設定がA4以外に設定されている場合は、必ず以下の手順で設定を変更しからメニューマップを印刷してください。

❶「メニュー」ボタンを押します。

```
ﾌﾟﾘﾝﾀ ｼﾞｮｳﾎｳ ｼｭﾄｸﾁｭｳ
```

```
ｲﾝﾌｫﾒｰｼｮﾝ
ﾌﾟﾘﾝﾀ ﾒﾆｭｰ
```

❷ ▽ キーを1回押し、[プリンタメニュー]を選択します。

❸「選択」ボタンを押します。

```
ﾄﾚｲ 1 ﾖｳｼ ｻｲｽﾞ: ﾚﾀｰ
MPﾄﾚｲ ﾖｳｼ ｻｲｽﾞ: A4
```

❹「トレイ1　ヨウシ　サイズ」が選択されていることを確認し、「選択」ボタンを押します。

❺ ◁ 、▷ キーを使って[A4]を選択し、「選択」ボタンを押します。

```
ﾄﾚｲ 1 ﾖｳｼ ｻｲｽﾞ
A4/A5/A6/B5/ﾘｰｶﾞﾙ/ﾘｰｶﾞﾙ1
```

```
ﾄﾚｲ 1 ﾖｳｼ ｻｲｽﾞ: A4
MPﾄﾚｲ ﾖｳｼ ｻｲｽﾞ: A4
```

メモ　スキャナシステムファームウェア Ver1.3 より前のバージョンでは、「選択」ボタンを押す必要はありません。

❻「戻る」ボタンを押します。

```
ﾛｰﾃﾞｨﾝｸﾞ･･･
ﾌﾟﾘﾝﾀ ﾃﾞﾌｫﾙﾄ
```

```
ｲﾝﾌｫﾒｰｼｮﾝ
ﾌﾟﾘﾝﾀ ﾒﾆｭｰ
```

❼「戻る」ボタンを押します。

```
ｱﾃｻｷ:
ｹﾝﾒｲ:
```

2 メニューマップを印刷します。

注 ユーザメニューおよび管理者メニューの設定情報が印刷されます。

❶ トレイ1にA4用紙をセットします。

❷ 「メニュー」ボタンを押します。

❸ キーを4回押して、［レポート　インサツ］を選択し、「選択」ボタンを押します。

❹ ［メニューマップ］が選択されていることを確認し、「選択」ボタンを押します。
メニューマップ印刷が開始されます。

（サンプル）

メニューマップ <ページ1>

ショウサイセッテイ

<<コピーセッテイ>>

ブタンイ インサツ	: オフ
レイアウトタイプ	: ツウジョウインサツ
ワクショウキョ	: 0mm
ヨハクイドウーミギ	: 0mm
ヨハクイドウーシタ	: 0mm
ヨウシセッテイ	: A4
キュウシトレイ	: トレイ1

<<スキャンToセッテイ>>

テンプファイルメイ	:
ハッシンシャメイ	:
ヘンシンサキアドレス	:
<<カラーシュツリョクケイシキ>>	
ファイルケイシキ	: PDF
アッシュクレベル	: テイ
<<モノクロシュツリョクケイシキ>>	
マルチレベル モノクログレイ	: オフ
ファイルケイシキ	: PDF
アッシュクレベル	: テイ
カイゾウド	: 200dpi
ジドウゲンコウオクリモード	: オン
ゲンコウサイズ	: A4

メニューセッテイ

<<インフォメーション>>

モデルメイ	: C5510MFP
デバイスメイ	: ML009393
シリアルバンゴウ	: スキャナー = 000232009393
	プリンタ = AE55038599
ファームウェアバージョン	: スキャナーファームウェア = 1.00
	システムファームウェア = 1.19
	コピープロファイル = 1.01
	Webページ = 1.16
	リソースファイル = 1.19
	プリンタCU = H2.15
	プリンタPU = 01.03.01

<<プリンタメニュー>>

トレイ1ヨウシサイズ	: A4
MPトレイヨウシサイズ	: A4
トレイ1メディアウェイト	: アツイカミ
トレイ1メディアタイプ	: フツウシ
MPトレイメディアウェイト	: アツイカミ
MPトレイメディアタイプ	: フツウシ
ノウドソウサ	: シュドウ

<<ネットワークセッテイ>>

IPアドレス	: 192.168.0.153
サブネットマスク	: 255.255.255.0
ゲートウェイアドレス	: 192.168.0.254
DNSサーバー	: 192.168.0.24
DHCPユウコウ	: オフ
デバイスメイ	: ML009393

9 メンテナンスをします

消耗品の寿命を確認します

レポートを印刷して確認する方法

1 スキャナー部の操作パネルで用紙サイズを設定します。

メニューマップを印刷する場合、トレイ1の用紙サイズ設定をA4にする必要があります。現在の設定がA4以外に設定されている場合は、必ず以下の手順で設定を変更しからメニューマップを印刷してください。

❶ 「メニュー」ボタンを押します。

```
ﾌﾟﾘﾝﾀ ｼﾞｮｳﾎｳ ｼｭﾄｸﾁｭｳ
```

```
ｲﾝﾌｫﾒｰｼｮﾝ
ﾌﾟﾘﾝﾀ ﾒﾆｭｰ
```

❷ ▽ キーを1回押し、[プリンタメニュー]を選択します。

❸ 「選択」ボタンを押します。

```
ﾄﾚｲ 1 ﾖｳｼ ｻｲｽﾞ: ﾚﾀｰ
MPﾄﾚｲ ﾖｳｼ ｻｲｽﾞ: A4
```

❹ 「トレイ1　ヨウシ　サイズ」が選択されていることを確認し、「選択」ボタンを押します。

❺ ◁ 、▷ キーを使って[A4]を選択し、「選択」ボタンを押します。

```
ﾄﾚｲ 1 ﾖｳｼ ｻｲｽﾞ
A4/A5/A6/B5/ﾘｰｶﾞﾙ/ﾘｰｶﾞﾙ1
```

```
ﾄﾚｲ 1 ﾖｳｼ ｻｲｽﾞ: A4
MPﾄﾚｲ ﾖｳｼ ｻｲｽﾞ: A4
```

メモ　スキャナシステムファームウェア Ver1.3 より前のバージョンでは、「選択」ボタンを押す必要はありません。

❻ 「戻る」ボタンを押します。

```
ﾛｰﾃﾞｨﾝｸﾞ･･･
ﾌﾟﾘﾝﾀ ﾃﾞﾌｫﾙﾄ
```

```
ｲﾝﾌｫﾒｰｼｮﾝ
ﾌﾟﾘﾝﾀ ﾒﾆｭｰ
```

❼ 「戻る」ボタンを押します。

```
ｱﾃｻｷ:
ｹﾝﾒｲ:
```

2 レポート（消耗品残量）を印刷します。

消耗品（ドラム、ベルトユニット、定着器ユニット、およびトナー）の残量情報が印刷されます。

❶ トレイ1にA4用紙をセットします。

❷ 「メニュー」ボタンを押します。

ﾌﾟﾘﾝﾀ ｼﾞｮｳﾎｳ ｼｭﾄｸﾁｭｳ

ｲﾝﾌｫﾒｰｼｮﾝ
ﾌﾟﾘﾝﾀ ﾒﾆｭｰ

❸ ▽ キーを4回押して、[レポート　インサツ]を選択し、「選択」ボタンを押します。

ﾒｰﾙｻｰﾊﾞ
ﾚﾎﾟｰﾄ ｲﾝｻﾂ

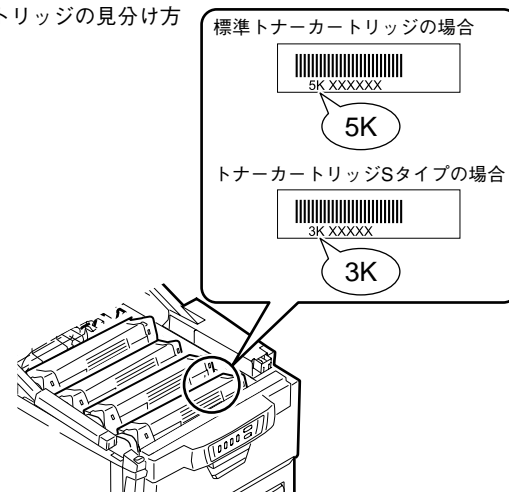
❹ ▽ キーを3回押して、[ショウモウヒン ザンリョウ]を選択し、「選択」ボタンを押します。

ｼﾞｮﾌﾞ ｶｳﾝﾃｨﾝｸﾞ
ｼｮｳﾓｳﾋﾝ ｻﾞﾝﾘｮｳ

レポートが印刷されます。

ステータスページを印刷して確認する方法

ステータスページには、消耗品（ドラム、ベルトユニット、定着器ユニット、およびトナー）の残量情報が印刷されます。印刷手順については、8章「現在の設定を確認します（ステータスページ印刷）」（139ページ）をご覧ください。

メモ　トナー残量は目安です。イメージドラム交換時に使用途中のトナーカートリッジを取り付けた場合は、正しい残量が表示されません。

トナーカートリッジを交換します

トナーカートリッジの交換の目安

トナーが少なくなると操作パネルに[＊　トナーフソク／＊　トナーコウカン　ジュンビ](＊は各色を表わします)のメッセージが表示されますので、新しいトナーカートリッジを準備してください。そのまま印刷を続けると[＊　トナーナシ／＊　トナーヲ　コウカンシテクダサイ]を表示して印刷を停止しますので、トナーカートリッジを交換してください。
お使いの環境によっては、メッセージが表示される前に印刷が薄くなることもあります。このようなときは、トナーカートリッジを外して、イメージドラムカートリッジ内のトナーを確認し、空の場合は新しいトナーカートリッジに交換してください。
トナーカートリッジ交換の目安は、A4サイズの用紙5%の印刷密度の場合(1ページの印刷可能領域でトナーのついている面積の割合)で以下の通りです。

- 標準トナーカートリッジ、イメージドラムカートリッジ(単色)添付のトナーカートリッジの場合：約5,000枚
- トナーカートリッジSタイプ、イメージドラム3色パック添付のトナーカートリッジの場合：約3,000枚

新しいドラムカートリッジに1本目のトナーカートリッジを取りつけたときの交換の目安は以下のようになります。これは、新しいイメージドラムカートリッジ内にトナーが入っていないので、1本目のトナーカートリッジからトナーを充填するためです。

- 標準トナーカートリッジ、イメージドラムカートリッジ(単色)添付のトナーカートリッジの場合：約3,500枚
- トナーカートリッジSタイプ、イメージドラム3色パック添付のトナーカートリッジの場合：約1,500枚

＊　トナーフソク ＊　トナーコウカン　ジ゛ュンビ゛	→	＊　トナーナシ ＊　トナーヲ　コウカンシテクタ゛サイ

メモ　[＊　トナーフソク／＊　トナーコウカン　ジュンビ]を表示してから[＊　トナーナシ／＊　トナーヲ　コウカンシテクダサイ]になるまでの目安は、約250枚です。(A4サイズ、片面印刷、5%印刷密度の場合)

- スタータトナー(製品購入時に添付されているトナーカートリッジ)は、A4, 5%の印刷密度の場合、約1,500枚印刷可能です。
- 開封後1年以上経過すると印刷品質が低下しますので、新しいトナーカートリッジを準備してください。
- [＊　トナーナシ／＊　トナーヲ　コウカンシテクダサイ]表示の後も、トップカバーを開閉するとしばらくは印刷を続けることはできますが、イメージドラムカートリッジの故障の原因となりますので、トナーカートリッジを交換してください。
- 商品本来の性能を発揮させるために、沖データ純正の消耗品をご使用ください。
  純正品以外の消耗品をご使用になると、印刷品質の低下をはじめ本来の性能を発揮できない場合があります。
  純正品以外の消耗品をご使用になって生じた不具合の対応は、無償保障期間中あるいは保守契約期間中であっても有償となります。(純正品以外の消耗品の使用が全て不具合を起こすわけではありませんが、ご使用にあたっては十分にご留意ください。)

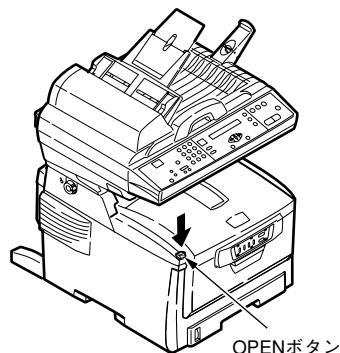
品　名	型　名
トナーカートリッジ　ブラック	TNR-C4BK1
トナーカートリッジ　イエロー	TNR-C4BY1
トナーカートリッジ　マゼンタ	TNR-C4BM1
トナーカートリッジ　シアン	TNR-C4BC1
トナーカートリッジ　ブラックS	TNR-C4BK3
トナーカートリッジ　イエローS	TNR-C4BY3
トナーカートリッジ　マゼンタS	TNR-C4BM3
トナーカートリッジ　シアンS	TNR-C4BC3

※お近くの販売店でお求めください。

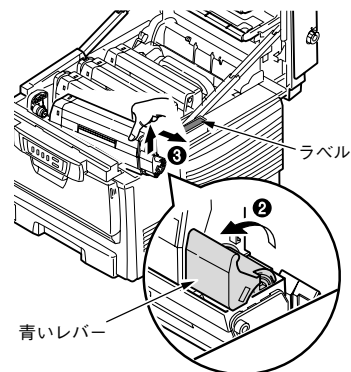
トナーカートリッジを交換します

1 OPEN ボタンを押し下げ、トップカバーを開けます。

⚠注意	やけどのおそれがあります。	

定着器ユニットは高温になっていますので、触らないでください。

2 使用済みのトナーカートリッジを取り出します。

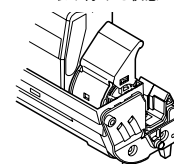
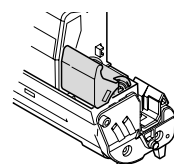
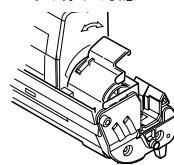
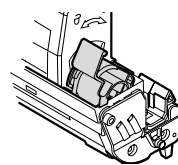
⚠警告	使用済みトナーカートリッジは絶対に火の中に入れないでください。中に入っているトナーが飛び散り爆発し、やけどのおそれがあります。

メモ 使用済みトナーカートリッジの回収を行っています。詳しくは「使用済み消耗品の回収について」(184ページ)をご覧ください。やむを得ず処分される場合は、ポリ袋などに入れて、必ず地域の条例や自治体の指示に従って廃棄してください。

❶交換するトナーカートリッジをラベルの色で確認します。

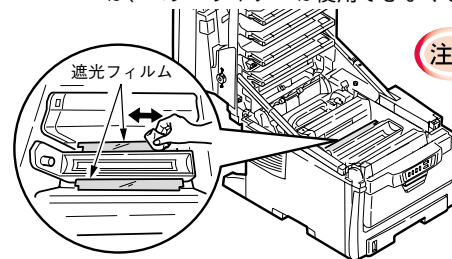
❷トナーカートリッジの青いレバーを矢印の方向に止まるまで回します。

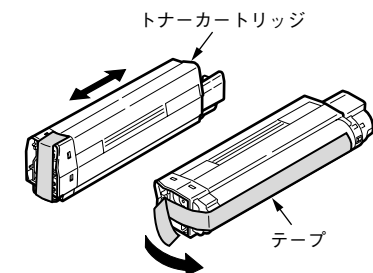
❸トナーカートリッジのレバー側の端を持って、斜めに持ち上げます。

❹トナーカートリッジを斜めにしたまま、横方向に引き抜きます。

【トナーカートリッジのレバー位置】

スタータトナーカートリッジの場合

通常のトナーカートリッジの場合

注
- トナーカートリッジのレバーと反対側はイメージドラムカートリッジのポストが差し込まれています。無理に持ち上げたり、引き抜くと、ポストが破損することがあります。
- スタータトナーがセットされている場合は、[トナー　ナシ]になってから交換してください。通常のトナーカートリッジをセットした後は、スタータトナーは使用できなくなります。

注 トナー交換時に遮光フィルムにトナーを落とした場合は、LEDレンズにトナーがつく可能性があります。柔らかいティッシュペーパーで拭きとってください。

3 新しいトナーカートリッジをセットします。

❶新しいトナーカートリッジを包装袋から取り出します。

新しいトナーカートリッジの色に間違いがないことを確認してください。

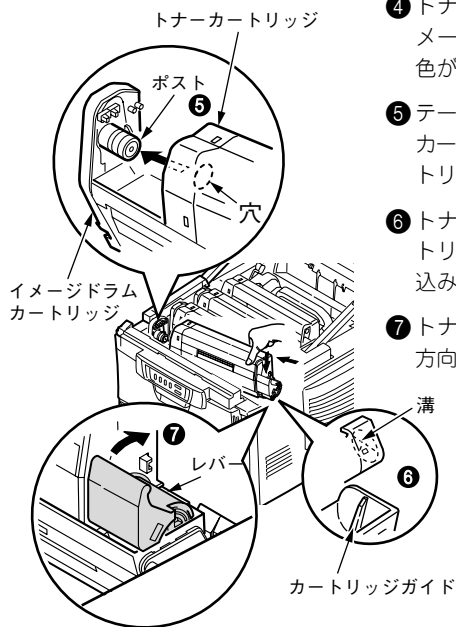
❷縦と横に数回振ります。

❸トナーカートリッジを水平にして、テープをゆっくりとはがします。

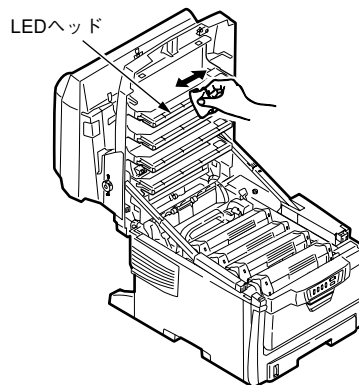
❹トナーカートリッジのラベルの色とイメージドラムカートリッジのラベルの色が合っていることを確認します。

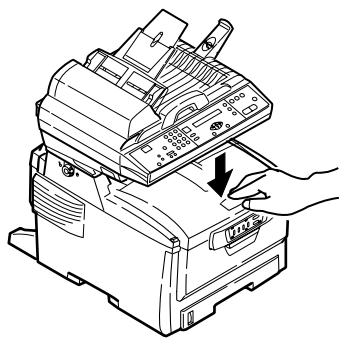
❺テープをはがした面を下にして、トナーカートリッジの穴をイメージドラムカートリッジのポストに差し込みます。

❻トナーカートリッジの右側の溝をカートリッジガイドの突起にしっかり押し込みます。

❼トナーカートリッジのレバーを矢印の方向に止るまで回します。

- トナーカートリッジを無理に押し込まないでください。きちんと入らないときは、トナーカートリッジのレバーとイメージドラムカートリッジのラベルの色が合っているか確認してください。色が一致しないとトナーカートリッジは取り付けられないようになっています。
- トナーカートリッジがきちんと固定されていないと、印刷品質が低下することがあります。

4 柔らかいティッシュペーパーでLEDヘッドのレンズ面を軽く拭きます。

注

メチルアルコールやシンナーなどの溶剤は、LEDヘッドを傷めますので使用しないでください。

5 トップカバーを閉じます。

メモ トナーカートリッジを交換しても、[＊　トナーナシ／＊　トナーヲ　コウカンシテクダサイ]のメッセージが消えないときは、トナーカートリッジを取り付け直してください。

イメージドラムカートリッジを交換します

イメージドラムカートリッジ交換の目安

イメージドラムカートリッジが寿命になると操作パネルに[＊　ドラム　ジュミョウ　マジカ／＊　ドラムコウカン　ジュンビ](＊は各色を表わします)のメッセージが表示されます。そのまま印刷を続けると[＊　ドラム　ジュミョウ／＊　ドラムヲ　コウカンシテクダサイ]を表示して印刷を停止します。
イメージドラムカートリッジ交換の目安は、A4サイズの用紙(片面印刷時)で約15,000枚です。ただし、これは一般的な使用状況(一度に3枚ずつ)で印刷した場合の枚数です。1枚ずつ印刷する場合には、約半分でドラム寿命になります。(連続印刷で約22,000枚に相当します。)

＊　ﾄﾞﾗﾑ　ｼﾞｭﾐｮｳ　ﾏｼﾞｶ ＊　ﾄﾞﾗﾑ　ｺｳｶﾝ　ｼﾞｭﾝﾋﾞ	→	＊　ﾄﾞﾗﾑ　ｼﾞｭﾐｮｳ ＊　ﾄﾞﾗﾑｦ　ｺｳｶﾝｼﾃｸﾀﾞｻｲ

メモ [＊　ドラムコウカン　マジカ／＊　ドラムコウカン　ジュンビ]を表示してから[＊　ドラム　ジュミョウ／＊　ドラムヲ　コウカンシテクダサイ]になるまでの目安は、約500枚です。(A4サイズ、一度に3枚ずつ印刷した場合)

- 開封後1年以上経過すると印刷品質が低下しますので、新しいイメージドラムカートリッジを準備してください。
- 「＊　ドラム　ジュミョウ／＊　ドラムヲ　コウカンシテクダサイ」表示の後も、トップカバーを開閉するとトナーが残っていれば印刷を続けることはできますが、印刷品質が低下することがありますので、早めに交換してください。
- 封筒、はがき、ラベル紙、ごく厚い紙の場合、モノクロ印刷でもカラードラムを消費する場合があります。

- 商品本来の性能を発揮させるために、沖データ純正の消耗品をご使用ください。
純正品以外の消耗品をご使用になると、印刷品質の低下をはじめ本来の性能を発揮できない場合があります。
純正品以外の消耗品をご使用になって生じた不具合の対応は、無償保障期間中あるいは保守契約期間中であっても有償となります。(純正品以外の消耗品の使用が全て不具合を起こすわけではありませんが、ご使用にあたっては十分ご留意ください。)

品　名	型　名
イメージドラムカートリッジ　ブラック	ID-C4BK
イメージドラムカートリッジ　イエロー	ID-C4BY
イメージドラムカートリッジ　マゼンタ	ID-C4BM
イメージドラムカートリッジ　シアン	ID-C4BC
イメージドラム3色パック	ID-C4BP

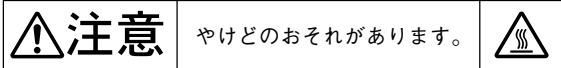
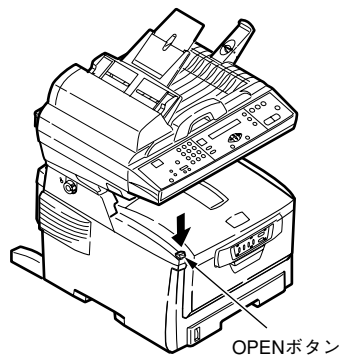
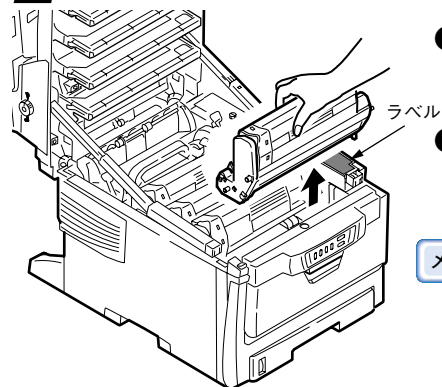
※お近くの販売店でお求めください。

イメージドラムカートリッジを交換します

1 OPEN ボタンを押し下げ、トップカバーを開けます。

⚠注意	やけどのおそれがあります。	

定着器ユニットは高温になっていますので、触らないでください。

2

❶ 交換するイメージドラムカートリッジをラベルの色で確認します。

❷ トナーカートリッジをつけたまま、イメージドラムカートリッジを取り出します。

メモ 使用済みイメージドラムカートリッジとトナーカートリッジの回収を行っています。詳しくは「使用済み消耗品の回収について」（184 ページ）をご覧ください。やむを得ず処分される場合は、ポリ袋などに入れて、必ず地域の条例や自治体の指示に従って廃棄してください。

⚠警告	使用済みイメージドラムカートリッジとトナーカートリッジは絶対に火の中に入れないでください。中に入っているトナーが飛び散り爆発し、やけどのおそれがあります。

3 新しいイメージドラムカートリッジを準備します。

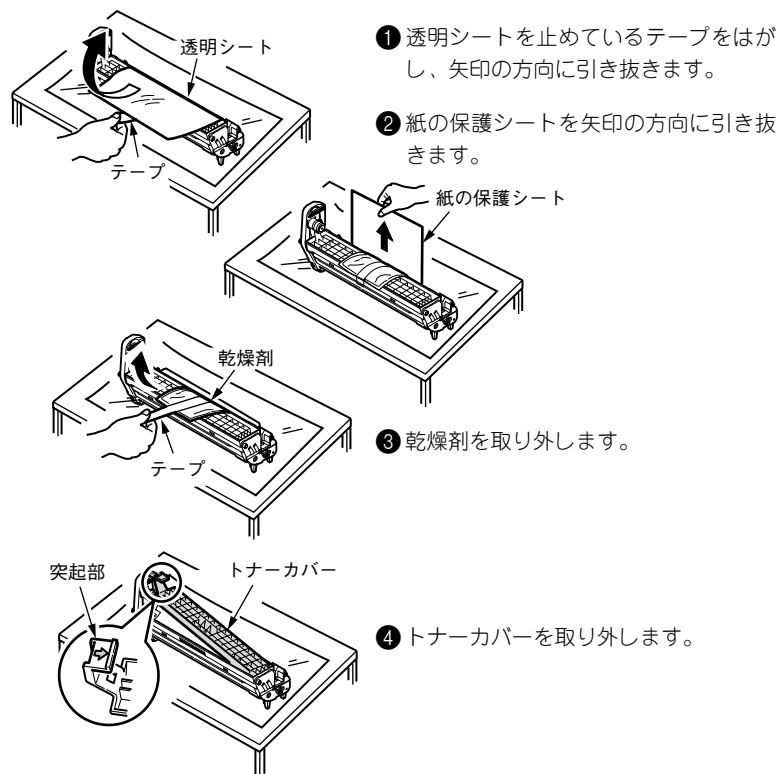
イメージドラムを傾けないでください。トナーがこぼれる場合があります。

- イメージドラム(緑の筒の部分)は、非常に傷つきやすいため取り扱いには十分注意してください。
- イメージドラムカートリッジは、直射日光や強い光(約1500ルクス以上)に当てないでください。室内の照明の下でも5分間以上は放置しないでください。

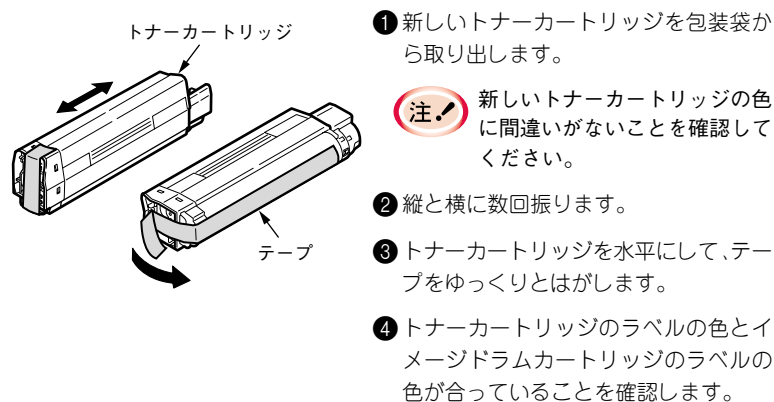
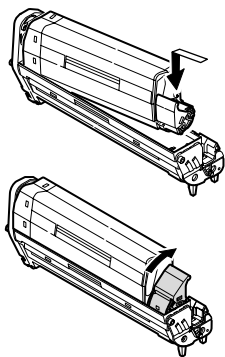
❶ 透明シートを止めているテープをはがし、矢印の方向に引き抜きます。

❷ 紙の保護シートを矢印の方向に引き抜きます。

❸ 乾燥剤を取り外します。

❹ トナーカバーを取り外します。

4 新しいトナーカートリッジをイメージドラムカートリッジに取り付けます。

今まで使用していたトナーカートリッジをセットすることも可能ですが、以下の理由により、新しいトナーカートリッジを使用されることを推奨します。

- 今まで使用していたトナーカートリッジが開封後1年以上経過している場合は、印刷品質が低下する可能性があります。
- 新しいイメージドラムカートリッジ内にはトナーが入っていないため、セットしたトナーカートリッジからトナーが充填されます。残量の少ないトナーカートリッジをセットした場合、すぐに「＊　トナーナシ／＊　トナーヲ　コウカンシテクダサイ」のメッセージが表示される場合があります。
- 今まで使用していたトナーカートリッジをセットした場合、「＊　トナーフソク／＊　トナーコウカン　ジュンビ」のメッセージが表示されるまでのトナー残量表示が不正確となります。

❶ 新しいトナーカートリッジを包装袋から取り出します。

新しいトナーカートリッジの色に間違いがないことを確認してください。

❷ 縦と横に数回振ります。

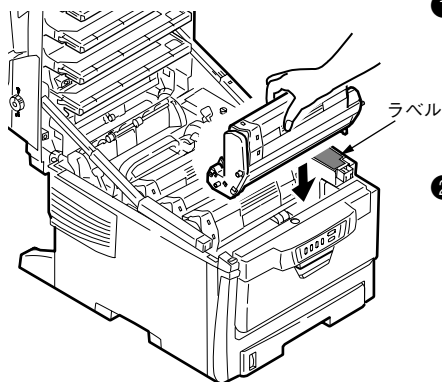
❸ トナーカートリッジを水平にして、テープをゆっくりとはがします。

❹ トナーカートリッジのラベルの色とイメージドラムカートリッジのラベルの色が合っていることを確認します。

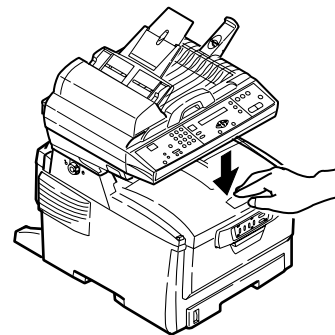
❺ テープをはがした面を下にして、トナーカートリッジの穴をイメージドラムカートリッジのポストに差し込みます。

❻ トナーカートリッジの右側の溝をカートリッジガイドの突起にしっかり押し込みます。

❼ トナーカートリッジのレバーを矢印の方向に止るまで回します。

5 イメージドラムカートリッジを MFP にセットします。

❶ イメージドラムカートリッジのラベルの色と MFP のラベルの色が合っていることを確認します。

❷ イメージドラムカートリッジを静かにセットします。

6 トップカバーを閉じます。

ベルトユニットを交換します

ベルトユニット交換の目安

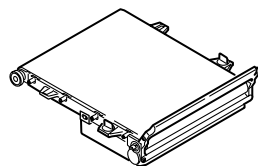
ベルトユニットの交換時期になると、操作パネルに[ベルト　ジュミョウ　マジカ／ベルト　コウカン　ジュンビ]のメッセージが表示されます。そのまま印刷を続けると[ベルト　ジュミョウ／ベルトヲ　コウカンシテクダサイ]を表示し印刷を停止しますので、新しいベルトユニットに交換してください。
ベルトユニット交換の目安は、A4サイズの用紙で約50,000枚です。ただし、これは一般的な使用状況で印刷した場合(一度に3枚ずつ)の枚数です。1枚ずつ印刷する場合には、約半分でベルトユニットの寿命になります。

ベ゛ルト　シ゛ュミョウ　マシ゛カ ベ゛ルト　コウカン　ジュンビ	→	ベ゛ルト　シ゛ュミョウ ベ゛ルトヲ　コウカンシテクタ゛サイ

[ベルト　ジュミョウ　マジカ／ベルト　コウカン　ジュンビ]を表示してから[ベルト　ジュミョウ／ベルトヲ　コウカンシテクダサイ]になるまでの目安は、約750枚です。(A4サイズ、一度に3枚ずつ印刷した場合)

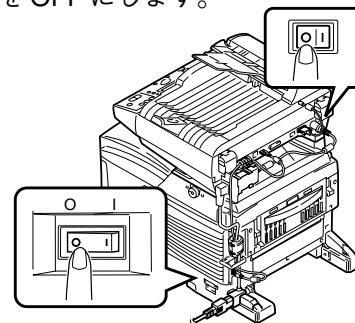
注

「ベルト　ジュミョウ／ベルトヲ　コウカンシテクダサイ」表示の後も、トップカバーを開閉するとしばらくは印刷を続けることはできますが、MFPの故障の原因となりますので、ベルトユニットを交換してください。

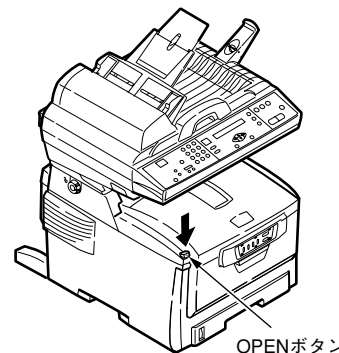
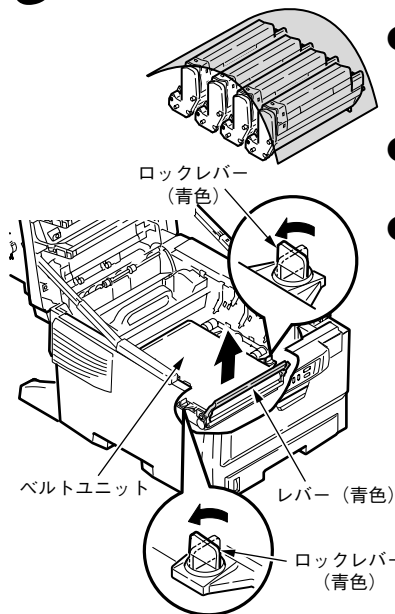
ベルトユニット

型名：MLBLT-C4C

お近くの販売店でお求めください。

ベルトユニットを交換します

1 MFPの電源をOFFにします。

2 OPENボタンを押し下げ、トップカバーを開けます。

⚠注意	やけどのおそれがあります。	

定着器ユニットは高温になっていますので、触らないでください。

3 使用済みのベルトユニットを取り出します。

❶ イメージドラムカートリッジ（4個）を取り出し、平らなテーブルの上に置きます。

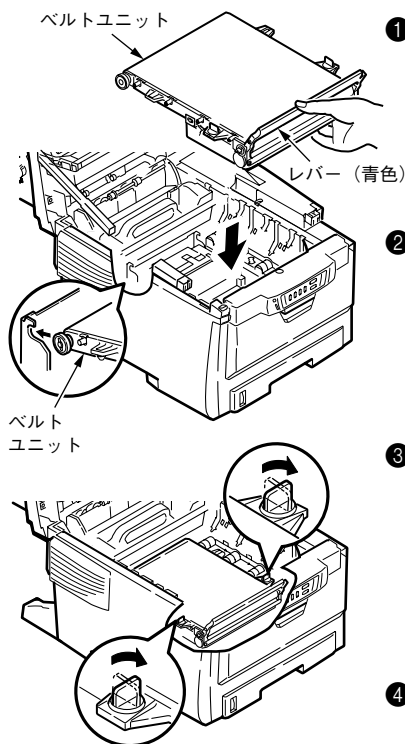
❷ 取り出したイメージドラムカートリッジに黒い紙をかぶせます。

❸ ロックレバー（青色2ヶ所）を矢印 の方向に回転し、レバー（青色）を持ち、ベルトユニットを取り外します。

メモ
・使用済みのベルトユニットの回収を行っています。詳しくは、「使用済み消耗品の回収について」（184ページ）をご覧ください。やむを得ず処分される場合は、ポリ袋などに入れて、必ず地域の条例や自治体の指示に従って廃棄してください。

注
・イメージドラム（緑の筒の部分）は、非常に傷つきやすいため、取り扱いには十分注意してください。
・イメージドラムカートリッジは直射日光や強い光（約1500ルクス以上）に当てないでください。室内の照明の下でも5分間以上は放置しないでください。

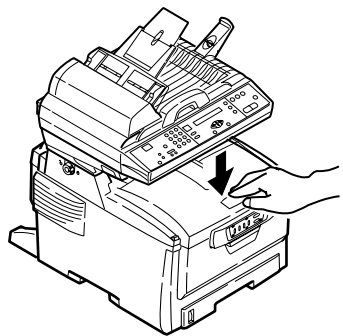
⚠警告	使用済みベルトユニットは絶対に火の中に入れないでください。中に入っているトナーが飛び散り爆発し、やけどのおそれがあります。

4 新しいベルトユニットをセットします。

❶ 新しいベルトユニットを包装袋から取り出します。

❷ ベルトユニットのレバー（青色）を持ち、ベルトユニットをセットします。

❸ ロックレバー（青色2ヶ所）を矢印 の方向に回転し、ベルトユニットが確実に固定されたことを確認します。

❹ イメージドラムカートリッジ（4個）を静かにMFPに戻します。

5 トップカバーを閉じます。

注 イメージドラムカートリッジがセットできなかったり、トップカバーが閉まらない場合は、ベルトユニットのロックレバーの位置を確認してください。

定着器ユニットを交換します

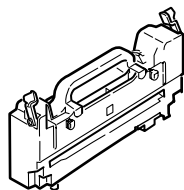
定着器ユニット交換の目安

定着器ユニットの交換時期になると、操作パネルに[テイチャクキユニット　ジュミョウ　マジカ／テイチャクキ　コウカン　ジュンビ]のメッセージが表示されます。そのまま印刷を続けると、操作パネルに[テイチャクキユニット　ジュミョウ／テイチャクキヲ　コウカンシテクダサイ]のメッセージが表示され、印刷を停止しますので、新しい定着器ユニットに交換してください。
定着器ユニット交換の目安は、A4サイズの用紙で約45,000枚です。

テｲﾁｬｸｷﾕﾆｯﾄ　ｼﾞｭﾐｮｳ　ﾏｼﾞｶ ﾃｲﾁｬｸｷ　ｺｳｶﾝ　ｼﾞｭﾝﾋﾞ		ﾃｲﾁｬｸｷﾕﾆｯﾄ　ｼﾞｭﾐｮｳ ﾃｲﾁｬｸｷｦ　ｺｳｶﾝｼﾃｸﾀﾞｻｲ

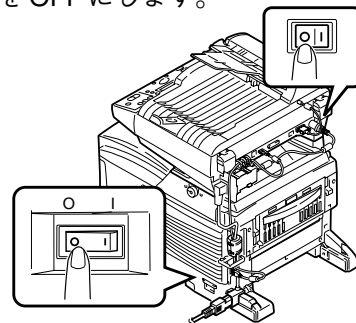
メモ　[テイチャクキユニット　ジュミョウ　マジカ／テイチャクキ　コウカン　ジュンビ]を表示してから[テイチャクキ　ジュミョウ／テイチャクキヲ　コウカンシテクダサイ]になるまでの目安は、A4サイズで約750枚です。

注　「テイチャクキユニット　ジュミョウ／テイチャクキヲ　コウカンシテクダサイ」表示の後も、トップカバーを開閉するとしばらくは印刷を続けることはできますが、MFPの故障や紙づまりの原因となりますので、定着器ユニットを交換してください。

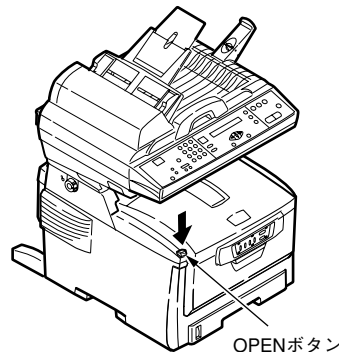
定着器ユニット

型名：MLFUS-C4D

お近くの販売店でお求めください。

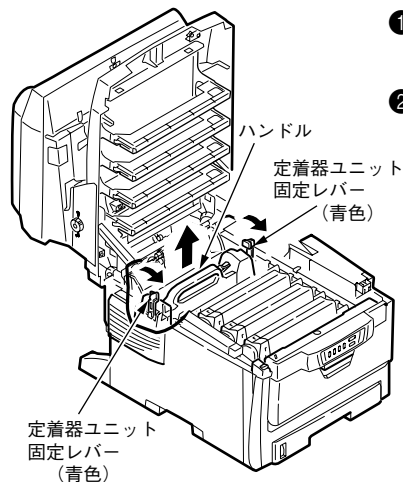
定着器ユニットを交換します

1 MFPの電源をOFFにします。

2 OPENボタンを押し下げ、トップカバーを開けます。

⚠注意	やけどのおそれがあります。	

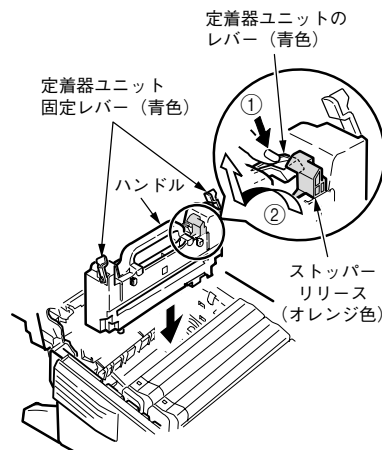
定着器ユニットは高温になっていますので、触らないでください。

3 使用済みの定着器ユニットを取り出します。

⚠注意	やけどのおそれがあります。	

定着器ユニットは高温になっています。手を触れないよう十分注意をしてください。熱いときは無理をせず、冷めるまで待ってから作業を行ってください。

❶ 定着器ユニット固定レバー（青色 2ヶ所）を矢印の方向へ起します。

❷ 定着器ユニットのハンドルを持ち、取り出します。

メモ 使用済みの定着器ユニットの回収を行っています。詳しくは、「使用済み消耗品の回収について」（184ページ）をご覧ください。やむを得ず処分される場合は、ポリ袋などに入れて、必ず地域の条例や自治体の指示に従って廃棄してください。

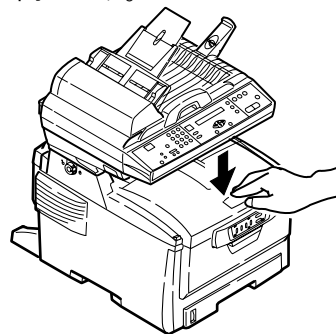
4 新しい定着器ユニットをセットします。

❶ 新しい定着器ユニットを包装袋から取り出します。

❷ 定着器ユニットのレバー（青色）を矢印①の方向へ押し下げながら、ストッパーリリース（オレンジ色）を矢印②の方向へ取り外します。

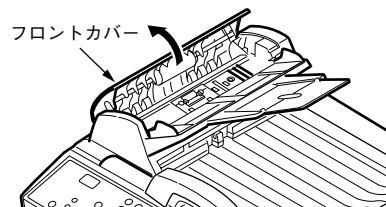
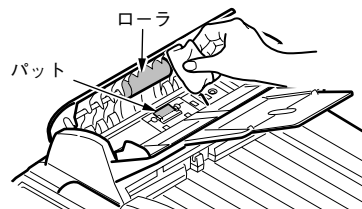
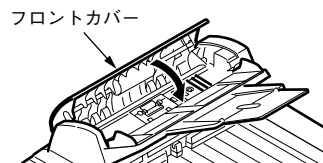
注 ストッパーリリースは MFP を輸送するときに使います。必ず保管してください。

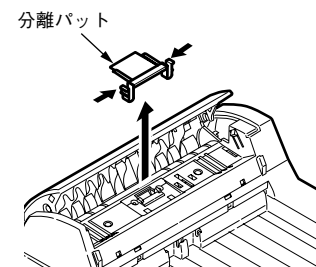
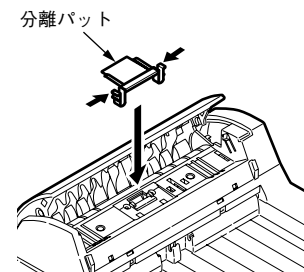
❸ 定着器ユニットのハンドルを持ち、定着器ユニットをMFPの中へ静かに入れます。

❹ 定着器ユニット固定レバー（青色 2ヶ所）を奥側に倒し、固定します。

5 トップカバーを閉じます。

ADFユニットの清掃をします

原稿がスムーズにADFに給紙されない場合、ADFのローラやパッドが、インクや紙粉などで汚れている場合があります。
このようなとき、ADFユニットの清掃をします。

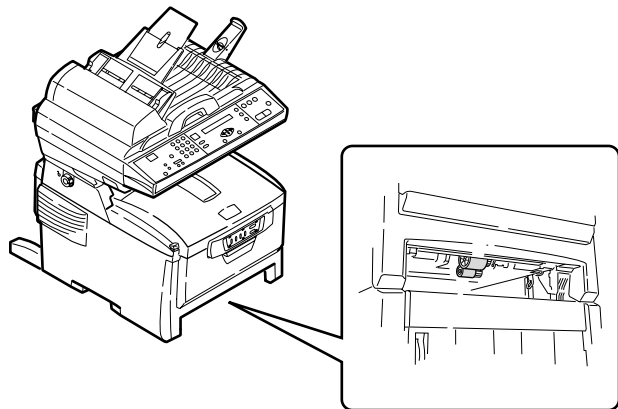
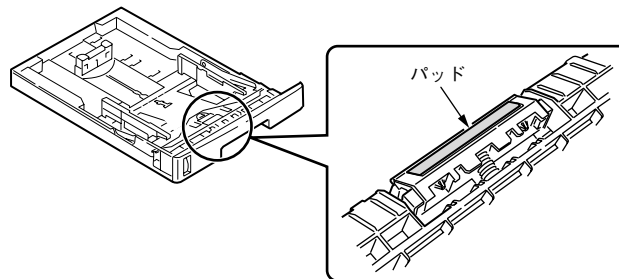
1 ADF のフロントカバーを開けます。

2 水を含ませてかたく絞った布でローラとパッドを清掃します。

3 ADF のフロントカバーを閉じます。

注 パッドを清掃しても直らない場合は、スペアの分離パッドと交換してください。

❶ 分離パッドを左右からたわませながら外します。

❷ 新しいパッドを取り付けます。

スペアの分離パッドが無い場合は、お客様相談センターにご連絡ください。

給紙ローラとパッドを清掃します

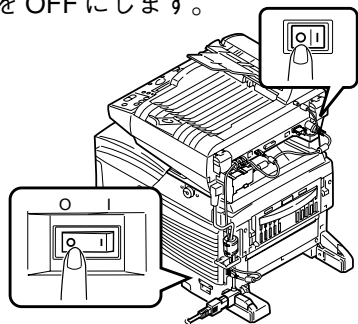
用紙カセットからの給紙ミスが頻発する場合に行ってください。

1 用紙カセットを引き出します。

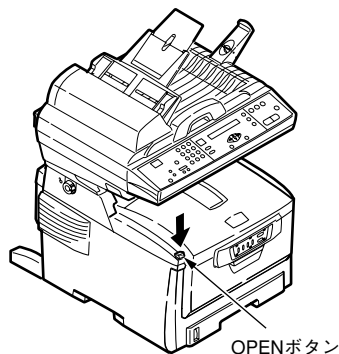
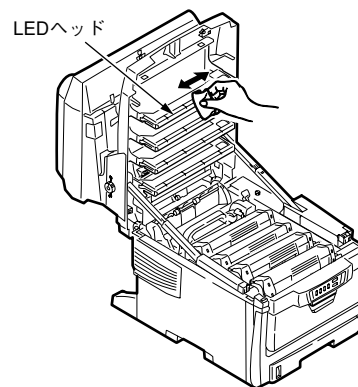
2 給紙ローラ（大）、給紙ローラ（小）を、水を含ませてかたく絞った布で拭きます。

3 用紙カセットのパッド部分を､水を含ませてかたく絞った布で拭きます。

注 マルチパーパストレイからの給紙ミスが頻発する場合は、マルチパーパストレイの給紙ローラを同様に清掃してください。

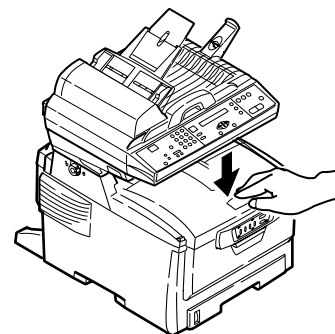
LEDヘッドを清掃します

印刷時にかすれや白いすじが入ったり、文字がにじんだりする場合に行ってください。

1 MFP の電源を OFF にします。

2 OPEN ボタンを押し下げ、トップカバーを開けます。

⚠注意	やけどのおそれがあります。	

定着器ユニットは高温になっていますので、触らないでください。

3 柔らかいティッシュペーパーでLEDヘッドのレンズ面（4ヶ所）を軽く拭きます。

注 メチルアルコールやシンナーなどの溶剤は、LEDヘッドを傷めますので使用しないでください。

4 トップカバーを閉じます。

色ずれ補正調整をします

MFPは電源をONにしたときやトップカバーを開閉したとき、また連続して印刷しているとき400枚印刷するごとに自動的に色ずれ補正調整を行いますが、色ずれが気になる場合は、スキャナー部の操作パネルで調整を行ってください。

1. 「メニュー」ボタンを押します。

   ﾌﾟﾘﾝﾀ ｼﾞｮｳﾎｳ ｼｭﾄｸﾁｭｳ

   ｲﾝﾌｫﾒｰｼｮﾝ
   ﾌﾟﾘﾝﾀ ﾒﾆｭｰ

2. ▽ キーを押し、[プリンタ　メニュー]を選択します。
3. 「選択」ボタンを押します。
4. ▽ キーを数回押し、[イロズレ　ホセイ]を選択します。

   ﾉｳﾄﾞ ﾎｾｲ
   ｲﾛｽﾞﾚ ﾎｾｲ

5. 「選択」ボタンを押します。

   ｲﾛｽﾞﾚ ﾎｾｲ
   ｼﾞｯｺｳﾁｭｳ

   [イロズレ　ホセイ／ジッコウチュウ]と表示して、色ずれ補正調整動作が開始されます。

濃度補正調整をします

MFPは新しいイメージドラムカートリッジを取り付けたとき、また連続して印刷しているとき500枚印刷するごとに自動的に濃度補正調整を行いますが、印刷濃度が気になる場合は、スキャナー部の操作パネルで調整を行ってください。

1. 「メニュー」ボタンを押します。

   ﾌﾟﾘﾝﾀ ｼﾞｮｳﾎｳ ｼｭﾄｸﾁｭｳ

   ｲﾝﾌｫﾒｰｼｮﾝ
   ﾌﾟﾘﾝﾀ ﾒﾆｭｰ

2. ▽ キーを押し、[プリンタ　メニュー]を選択します。
3. 「選択」ボタンを押します。
4. ▽ キーを数回押し、[ノウド　ホセイ]を選択します。

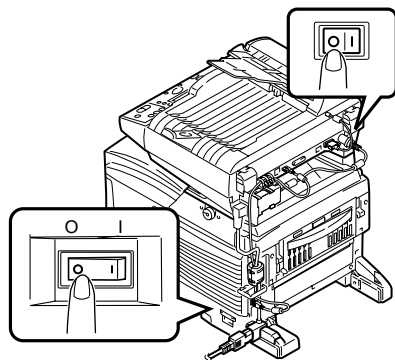
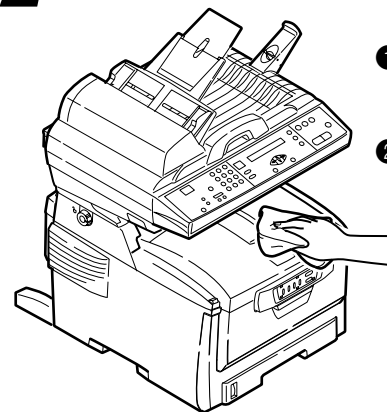
   ﾉｳﾄﾞ ｿｳｻ: ｼﾞﾄﾞｳ
   ﾉｳﾄﾞ ﾎｾｲ

5. 「選択」ボタンを押します。

   ﾉｳﾄﾞ ﾎｾｲ
   ｼﾞｯｺｳﾁｭｳ

   [ノウド　ホセイ／ジッコウチュウ]と表示して、濃度補正調整動作が開始されます。

表面を清掃します

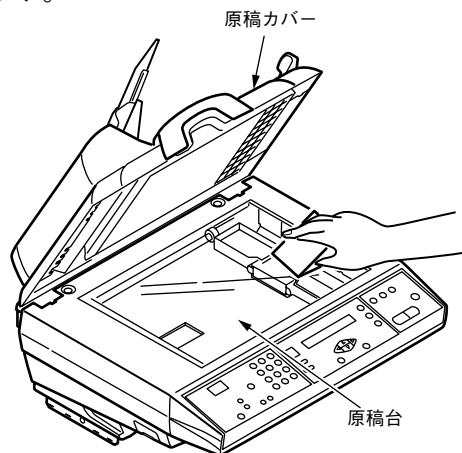
1 MFPの電源をOFFにします。

2 MFPの表面を拭きます。

❶水または中性洗剤を含ませて、かたく絞った布で拭きます。

❷柔らかい乾いた布で拭きます。

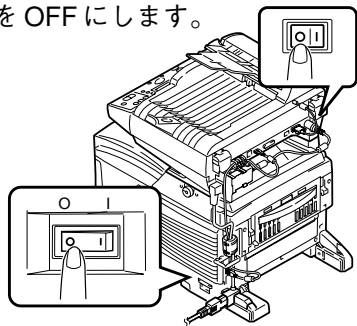
注
- 水または中性洗剤以外は使用しないでください。
- 本製品は油をさす必要はありません。注油しないでください。

原稿台のガラスを清掃します

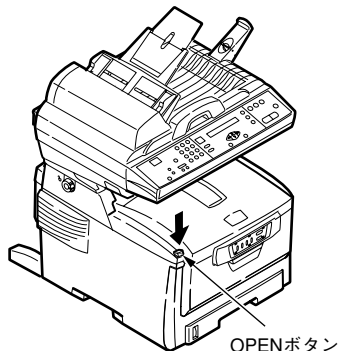
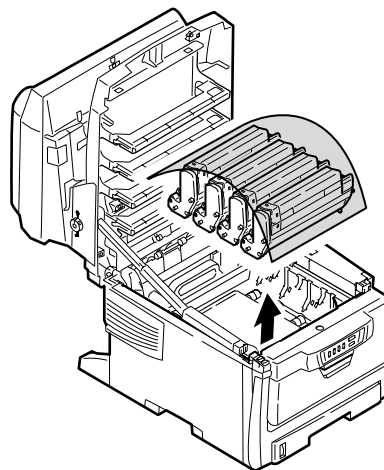
コピーに汚れが生じる場合、原稿台を清掃します。

原稿カバーを開き、ガラスを柔らかいティッシュペーパーで清掃します。

プリンタ部の内部を清掃します

印刷パターンにより定着器とシアンイメージドラムカートリッジの間の金属シャフトにトナーが付着する場合があります。
金属シャフトにトナーが付着した場合に行ってください。

1 MFP の電源を OFF にします。

2 OPEN ボタンを押し下げ、トップカバーを開けます。

⚠注意	やけどのおそれがあります。	

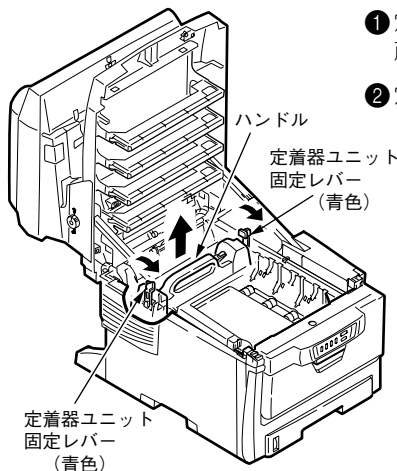
定着器ユニットは高温になっていますので、触らないでください。

3 イメージドラムカートリッジを取り出します。

❶ イメージドラムカートリッジ（4個）を取り出し、平らなテーブルの上に置きます。

❷ 取り出したイメージドラムカートリッジに黒い紙をかぶせます。

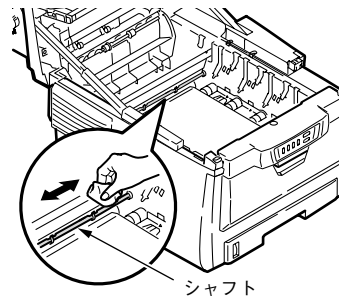
- イメージドラム（緑の筒の部分）は、非常に傷つきやすいため、取り扱いには十分注意してください。
- イメージドラムカートリッジは直射日光や強い光（約1500ルクス以上）に当てないでください。室内の照明の下でも5分間以上は放置しないでください。

4 定着器ユニットを取り出します。

⚠注意	やけどのおそれがあります。	

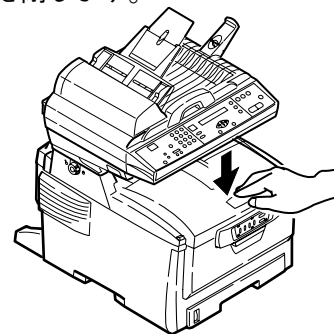
定着器ユニットは高温になっています。手を触れないよう十分注意をしてください。熱いときは無理をせず、冷めるまで待ってから作業を行ってください。

❶ 定着器ユニット固定レバー（青色2ヶ所）を矢印の方向へ起します。

❷ 定着器ユニットのハンドルを持ち、取り出します。

5 柔らかい布、またはティッシュペーパーで金属シャフトを拭きます。

6 定着器ユニットをセットします。

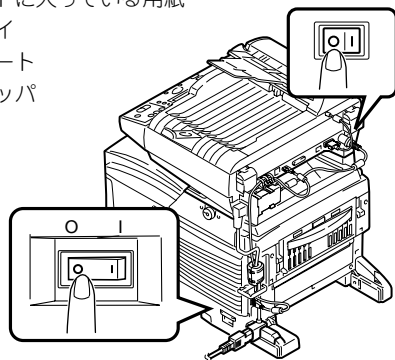
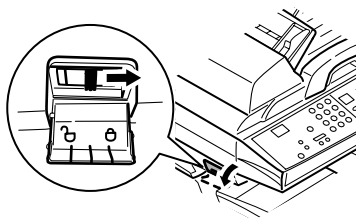
詳しくは「定着器ユニットを交換します」（159 ページ）をご覧ください。

7 イメージドラムカートリッジ（4個）を静かにプリンタ部に戻します。

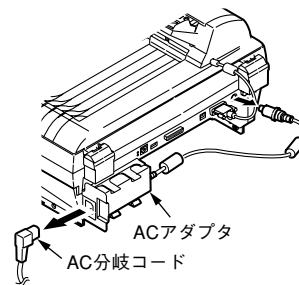
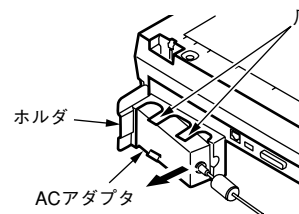
8 トップカバーを閉じます。

MFPを輸送するとき

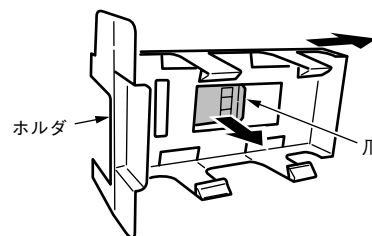
MFPは精密機器ですので、梱包方法によっては輸送中に破損することがあります。次の手順で輸送してください。

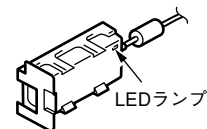
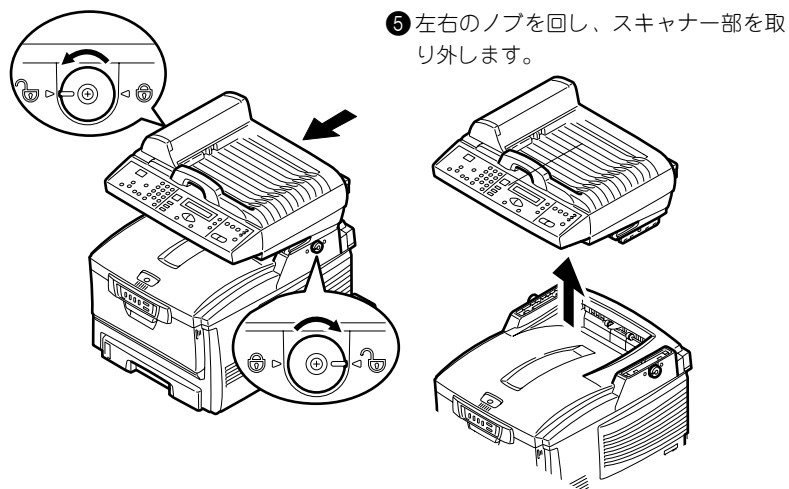
1 MFP の電源を OFF にし、次の部品を取り外します。

- 電源コード、アース線
- USBケーブル
- 用紙カセットに入っている用紙
- ペーパトレイ
- ペーパサポート
- ペーパストッパ

2 スキャナー部をプリンタ部から取り外します。

❶ スキャナー部をロックします。

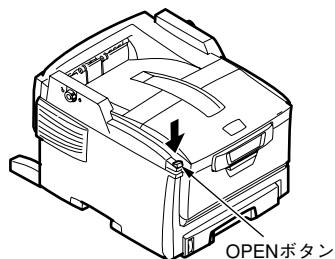
原稿カバーを開けて、読み取り部が、左側によっていることを確認してから、ロックしてください。読み取り部が左端にないときは、スキャナー部の電源をON-OFFしてください。

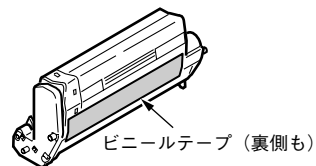
❷ USBケーブル（短）とAC分岐コードを外します。

❸ AC アダプタを外します。

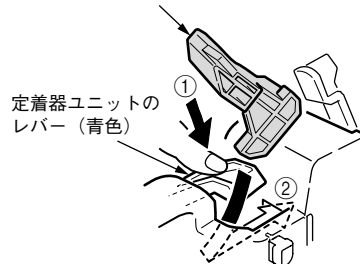
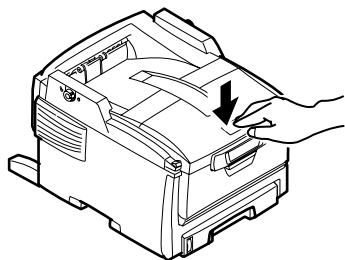
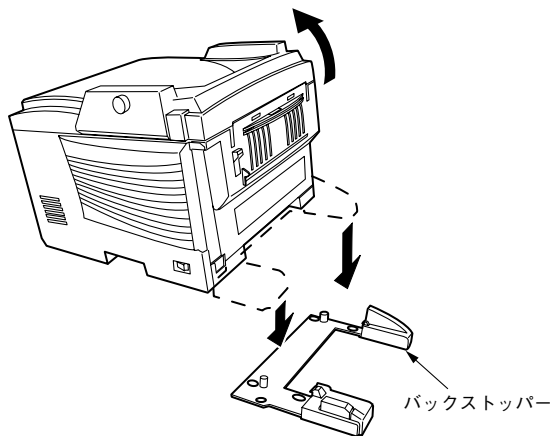
❹ ホルダを外します。

取り外した AC アダプタは、ホルダに、LED ランプが見える向きではめておきます。

❺左右のノブを回し、スキャナー部を取り外します。

3 トップカバーを開け、イメージドラムカートリッジ（4個）を取り出し、平らなテーブルの上に置きます。

⚠注意	やけどのおそれがあります。	

定着器ユニットは高温になっていますので、触らないでください。

4 イメージドラムカートリッジとトナーカートリッジの接合部分をビニールテープで止めて、プリンタ部に戻します。

プリンタ部にイメージドラムカートリッジを同梱して輸送します。トナーがこぼれないようにビニールテープで密封してください。

5 定着器ユニットにストッパーリリースを取り付けます。

❶定着器ユニットのレバー（青色）を矢印①の方向へ押し下げながら、矢印②の方向にストッパーリリース（オレンジ色）を取り付けます。

6 トップカバーを閉じます。

7 バックストッパーを取り外します。

8 緩衝材で MFP を保護し、梱包箱に入れます。

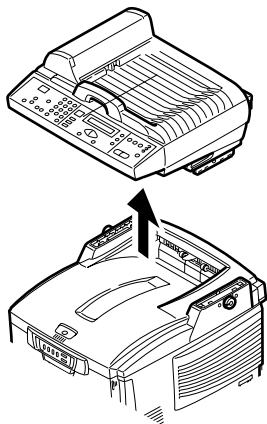
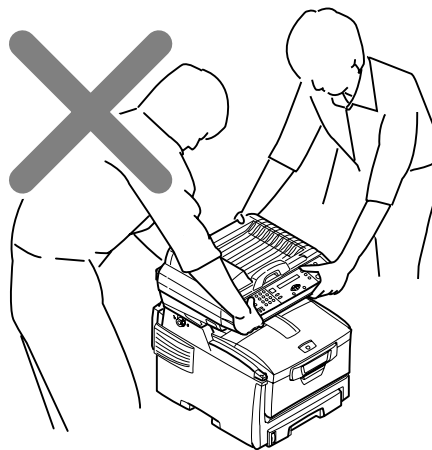
注

MFP購入時に付いていた梱包箱と緩衝材を使用してください。

メモ

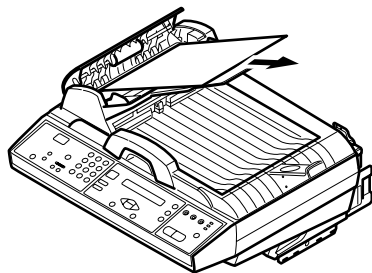
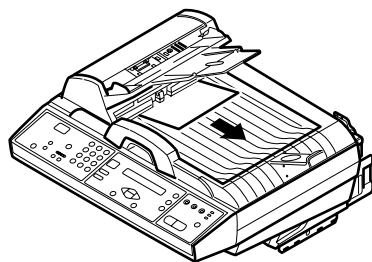
MFPを輸送後、再度設置するときには、イメージドラムカートリッジとトナーカートリッジを止めたテープをはがし、ストッパーリリースを取り外してください。

MFPを移動したい

MFPを移動する場合は、必ずスキャナー部をプリンタ部から分離して運んでください。

スキャナー部を持って移動しないでください。

10 困ったときには

ADF部が紙づまりになったとき

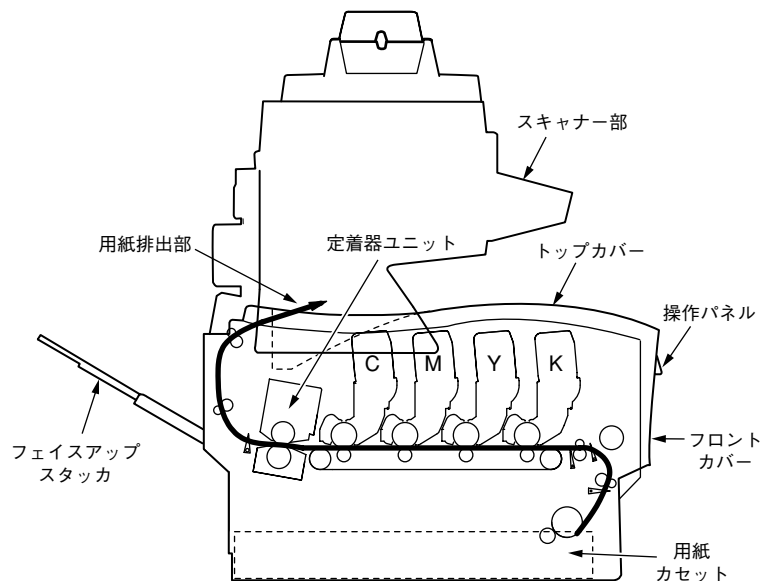
1 ADF のフロントカバーを開けます。

2 つまっている原稿を取り除きます。

原稿の先端が見えない場合　　原稿の先端が見える場合

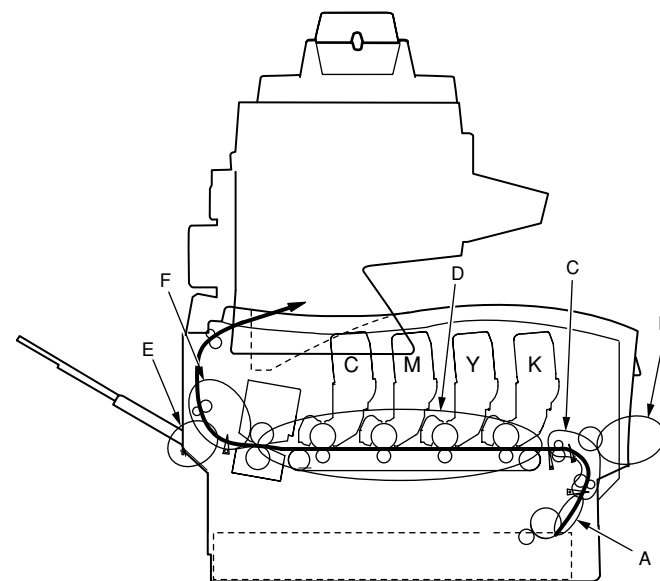
3 ADF のフロントカバーを閉じます。

プリンタ部が紙づまりになったとき

紙づまりが発生すると、操作パネルに[ヨウシ　ジャム]メッセージが表示されます。

次の手順でつまった用紙を取り除いてください。

（MFPを横から見た図）

紙づまり（ジャム）発生場所とエラーメッセージ

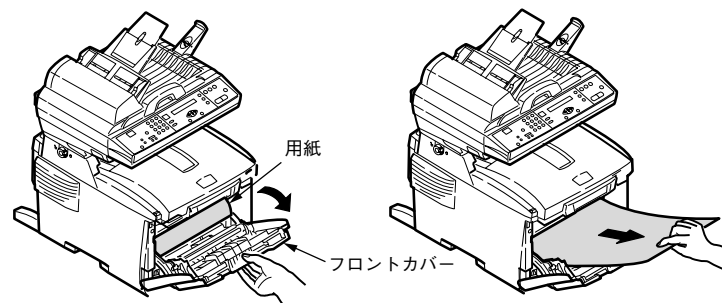
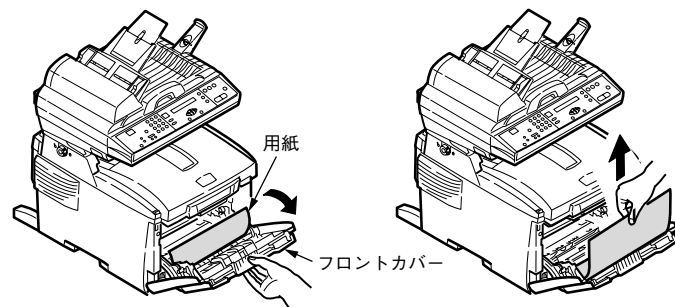
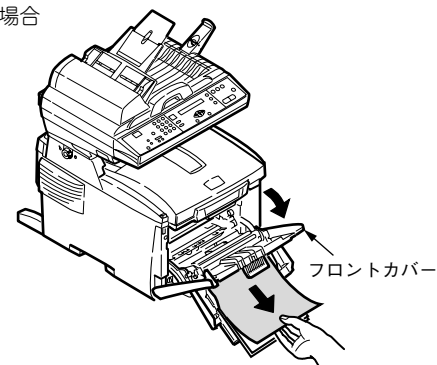
紙づまりの場所によって、エラーメッセージは異なります。

（MFPを横から見た図）

発生場所	エラーメッセージ
A・B・C	ヨウシ　ジャム フロント　カバーヲ　アケテクダサイ
D	ヨウシ　ジャム - ヨウシ　ソウコウチュウ トップ　カバーヲ　アケテクダサイ
E	ヨウシ　ジャム - マルチフィード
F	ヨウシ　ジャム - デグチ トップ　カバーヲ　アケテクダサイ

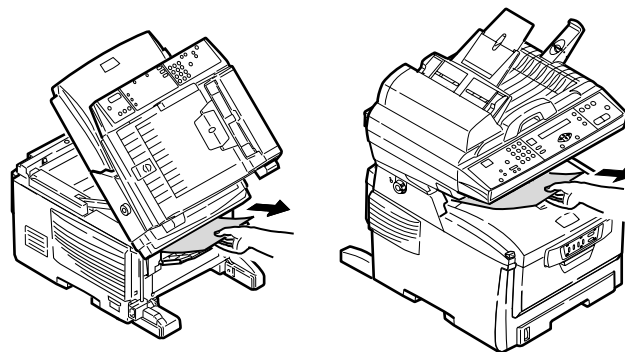
1 つまった用紙を取り除きます。

フロントカバー部（発生場所：A・B・C・D）

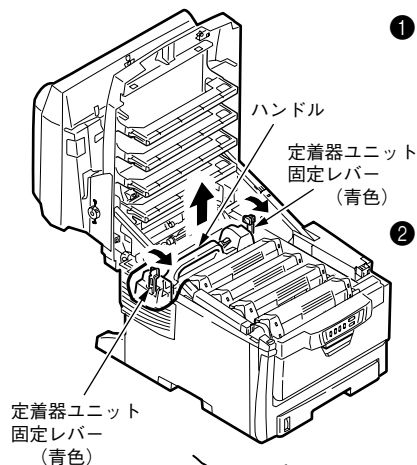
フロントカバーを開け、用紙の先端および後端が見えている場合は、つまっている用紙をゆっくり引き出します。
なお、用紙が自動的に排出されることがあります。この場合は、フロントカバーを開閉するとエラーは解除されます。

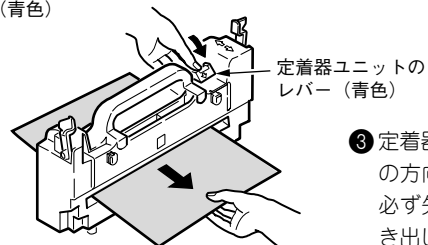
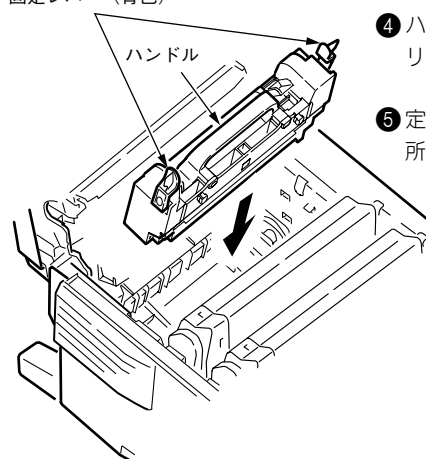
後端が見える場合

先端が見える場合

先端が見えない場合

用紙排出部（発生場所：F）

排出口から用紙をゆっくり引き出します。

用紙排出部でつまった場合でも、トップカバー内部に用紙が見えている場合は、プリンタ部内側に用紙を引き出してください。無理に後ろに引き出すと定着器ユニットを傷めるおそれがあります。

定着器ユニット部(発生場所：D・E・F)

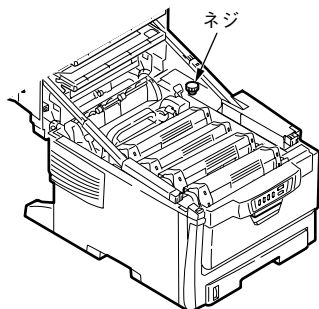
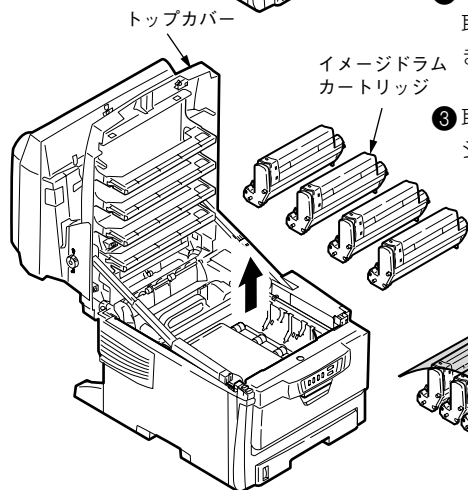
⚠注意	やけどのおそれがあります。	

定着器ユニットは高温になっています。手を触れないように十分注意してください。熱いときは無理をせず、少し冷めるまで待ってから用紙を取ってください。

❶定着器ユニット固定レバー（青色2ヶ所）を矢印の方向へ起します。

❷ハンドルを持ち定着器ユニットを取り出し、平らなテーブルの上に置きます。

❸定着器ユニットのレバー（青色）を矢印の方向に押しながら、つまった用紙を必ず矢印方向（手前方向）へゆっくり引き出します。

❹ハンドルを持ち、定着器ユニットをプリンタ部の中へ静かに戻します。

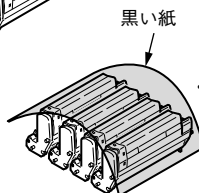
❺定着器ユニット固定レバー（青色2ヶ所）を奥側に倒し、固定します。

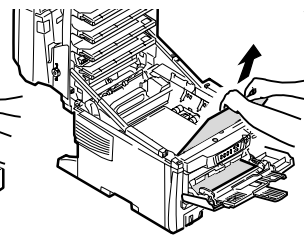
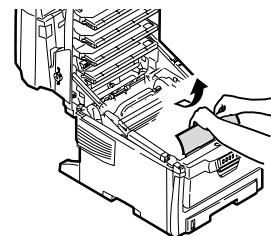
注 定着器ユニット部のつまった用紙を取り除いた後は、定着器ユニット内部に未定着のトナーが残っていることがあるため、ステータスページ印刷(25ページ)、白紙等を数回印刷してください。

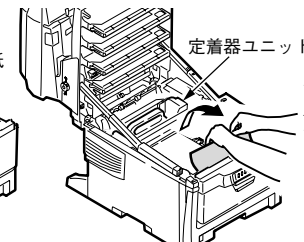
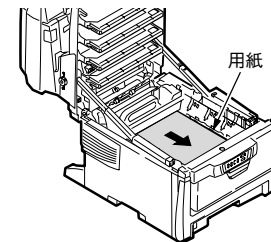
つまった用紙を取り除いても紙づまりエラーが解除されない場合は、以下の手順で他のつまった用紙を取り除きます。

❶ ネジに手を触れて静電気を逃がします。

❷ イメージドラムカートリッジ（4個）を取り出し、平らなテーブルの上に置きます。

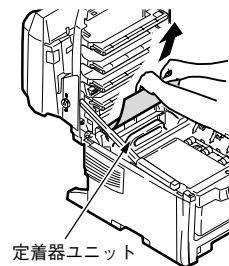
❸ 取り出したイメージドラムカートリッジに黒い紙をかぶせます。

注

- イメージドラム（緑の筒の部分）は、非常に傷つきやすいため取り扱いには十分注意してください。
- イメージドラムカートリッジは直射日光や強い光（約1500ルクス以上）に当てないでください。室内の照明の下でも、5分間以上は放置しないでください。

❹ つまっている用紙をゆっくり引き出します。

用紙先端が見えている場合

プリンタ部の内側へゆっくり引き出します。

用紙の先端も後端も見えない場合

つまっている用紙を矢印方向にずらしてからゆっくり引き出します。

用紙の後端が見えている場合

定着器ユニットのレバーを矢印方向に押しながらつまっている用紙をゆっくり引き出します。

❺ イメージドラムカートリッジを戻します。

WindowsXP Service Pack 2に関する制限事項

Windows ファイアウォールの設定による制限事項について

Windows XP Service Pack 2 セキュリティ強化機能搭載では、Windowsファイアーウォールの機能が強化されておりますが、それに伴いプリンタドライバ・ユーティリティに以下の制限事項が生じる場合があります。

項　目	発生する制限事項	詳細、回避方法
プリンタドライバ全般	PC ネットワーク共有時、印刷ができません。	サーバ側で［Windows ファイアウォール］-［例外］を開き、「ファイルとプリンタの共有」にチェックを入れてください。
プリンタドライバインストーラ	プリンタ検索が行えません。	ファイアウォールの設定で「例外を許可しない」にチェックがついている場合は、ルータを超えるセグメントに対してプリンタの検索ができなくなります。同一セグメント内に接続されたプリンタは問題あ りません。プリンタの検索ができない場合でも、「TCP/IP 接続」画面で「IP アドレス」を選択し、IP アドレスを直接入力することで設定で きます。
AdminManager	プリンタ検索、NIC の設定が行えません。	ルータを超えるセグメントに対してプリンタの検索、NIC の設定ができなく なります。 同一セグメント内に接続されたプリンタは問題ありません。 ルータを超えるプリンタの検索、NIC の設定を行う場合は、［Windows ファイアウォール］-［例外］-［プログラムの追加］を開き、AdminManager を追加し、チェックを入れてください。
OKILPR ユーティリティ	プリンタ検索が行えません。	ファイアウォールの設定で「例外を許可しない」にチェックがついている場合は、ルータを超えるセグメントに対してプリンタの検索ができなくなります。同一セグメント内に接続されたプリンタは問題ありません 。プリンタの検索ができない場合でも、「プリンタの追加」や「プリンタの再設定」画面で IP アドレスを直接入力することで設定できます 。
Web ブラウザ	ポップアップウインドウがブロックされます。	Internet Explorer の［ツール］メニューの［ポップアップブロックの設定］を開き、［許可する Web サイトのアドレス］にプリンタの IP アドレスを追加してください。

項　目	発生する制限事項	詳細、回避方法
Print Job Accounting	プリンタ検索が行えません。	ファイアウォールの設定で「例外を許可しない」にチェックがついている場合は、ルータを超えるセグメントに対してプリンタの検索ができなくなります。同一セグメント内に接続されたプリンタは問題ありません 。プリンタの検索ができない場合でも、ログ取得プリンタの追加ウィザードで「プリンタを接続先で指定する」を選択し、「接続先」で「 TCP/IP ネットワーク」を選択し、IP アドレスを直接入力することで設定できます。
	ログ取得スケジュールに従ってログが取得されていません。また、「プリンタ」－「ログを直ちに取得」を行っても、「ログ取得 スケジュールに従って、ログを取得中のためできません。」が表示され、取得ができません。	WindowsXP Service Pack 1 以前に、プリン トジョブアカウンティングにプリンタを登録し、ログの取得を開始している状態で、WindowsXP Service Pack2 にアップデートを行うと、左 記の現象が発生する場合があります。このような場合は、Windows を再起動します。
Print Super Vision	リモート PC からアクセスできません。	［Windows ファイアウォール］-［例外］-［ポートの追加］を開き、PrintSuperVision がインストールされている Web サイトのポート番号を追加してください。 ※設定方法は、［すべてのプログラム］-［沖データ］-［PrintSuperVision］-［お読みください］を参照してください。
	ポップアップウインドウがブロックされます。	※設定方法は、［すべてのプログラム］-［沖データ］-［PrintSuperVision］-［お読みください］を参照してください。
Web Driver Installer	プリンタ検索が行えません。	ファイアウォールの設定で「例外を許可しない」にチェックがついている場 合は、ルータを超えるセグメントに対してプリンタの検索ができなくなります。同一セグメント内に接続されたプリンタは問題ありません 。プリンタの検索ができない場合でも、グループの検索範囲の 4 桁目を *（例：192.168.0.*）にすると、検索できます。
	リモート PC からアクセスできません。	［Windows ファイアウォール］-［例外］-［ポートの追加］を開き、Web Driver Installer がインストールされている Web サイトのポート番号を追加し、［管理ツール］-［コンポーネント サービス］で Web Driver Installer 用コンポーネントのアクセス権を変更してください。 ※設定方法は、［すべてのプログラム］-［沖データ］-［Web Driver Installer］-［お読みください］を参照してください。

※ 詳細は弊社ホームページ「http://www.okidata.co.jp/」をご覧ください。

付　録

ユーザサポートサービスについて

保証について

- 本製品には「保証書」が入っています。
- 「保証書」は、お買い上げの販売店が所定事項を記入してお渡しします。記入内容をご確認の上、大切に保管してください。
- 保証期間中に万一故障が生じたときは、「保証書」に記載されている当社保証規定に基づき無償で修理します。無償保証期間は「保証書」に記載されています。
- 「保証書」に所定事項が記入されていない場合や紛失した場合は、保証期間中であっても、保証が無効となる場合があります。
- 保証期間経過後は、修理によって本製品の性能が維持できる場合、お客様のご要望により有償にて修理します。詳しくは、お客様相談センターまたは、お買い上げの販売店にご相談ください。
- 本製品の故障、またはその使用によって生じた直接・間接の損害については、当社はその責任を負わないものとします。

最新版のMFPソフトウェアを入手したい

最新版のネットワークセットアップツール、ファームウェア、スキャナードライバ、およびプリンタドライバを、当社ホームページよりダウンロードすることができます。
なお、最新のファームウェアをMFPにアップデートする場合、ネットワークセットアップツールを使用します。詳しくは、当社ホームページをご覧ください。

ダウンロードサービス

沖データホームページ
http://www.okidata.co.jp

消耗品を購入したい

MFPをお買い上げいただいた販売店よりご購入ください。

MFPのご相談と修理について

MFPの操作方法がわからない、故障かもしれない、修理をして欲しい、商品について聞きたいなど、MFPに関するお問い合わせをお受けします。次の「お問い合わせチェックシート」に記入してからお電話ください。

お客様相談センター 0120-654-632
（携帯電話からは03-5833-5710）

受付時間 9：00 ～ 20：00 月曜日～金曜日
9：00 ～ 17：00 土曜日
(但し、日曜、祝日、年末年始等を除く)

※ 月曜日～金曜日の17:30～20:00及び土曜日のお問い合わせで、訪問修理が必要な場合は、 翌営業日に改めてご連絡をさしあげます。
※ 上記以外にも弊社都合によりお休みをいただくことがあります。

◆本製品のサポートサービスは(株)沖電気カスタマアドテック(OCA)とそのグループ会社が担当しております。

(個人情報の取り扱いについて)

当社はお客様の個人情報を厳正に管理し、以下の場合を除き、第三者への開示や、提供はしないものとします。

a) 当社が指定する業務提携会社に対して、お客様の氏名・住所・電話番号など保守サービス等の業務を委託するために必要な限度でお客様情報を提供すること。
b) お客様情報を統計的に集計・分析し、個人を識別、特定できない形態に加工した統計データを作成させていただき、製品開発、サービス向上の判断材料として利用すること。
c) 予め登録時に同意頂いたお客様に対して、当社または当社の提携会社より、サービス提供, アンケートその他の告知等のため電子メールや郵便物の郵送、または営業担当者からコンタクトを取らせて頂くこと。
d) 裁判所の発行する令状、捜査事項照会書その他法令に基づいてお客様情報を開示すること。

― お問い合わせに回答できない場合について ―

1. UNIX 環境でのお問い合わせ
2. アプリケーションの使い方
3. 問題解決に必要な情報が不足している場合
4. お客様固有のシステム環境のアドバイスやコンサルティング
5 MFP の非公開仕様に関するお問い合わせ

お問い合わせチェックシート

具体的な症状

環境
機種名：＿＿＿＿ 製造番号：＿＿＿＿ 購入月：＿＿年＿＿月
追加オプション： なし ・ あり（ ）

コンピュータ環境
□Windows バージョン：＿＿＿＿
□Mac OS バージョン：＿＿＿＿

接続方法
□パラレル □USB □ネットワーク
□TCP/IP □IPX/SPX □EtherTalk □NetBEUI

プリンタドライバ
プリンタドライバ名：＿＿＿＿ バージョン：＿＿＿＿

アプリケーションソフト
アプリケーションソフト名：＿＿＿＿ バージョン：＿＿＿＿
使用フォント名：＿＿＿＿

エラー表示（正確に）
コンピュータの画面に表示される内容 ：＿＿＿＿
MFPの操作パネルに表示される内容 ：＿＿＿＿

その他
他のアプリケーションからの印刷：□正常 □印刷できない
他のコンピュータからの印刷 ：□正常 □印刷できない

MFPを廃棄したい

お買い上げいただいたMFPの廃棄の際、事業所でお使いの場合は、産業廃棄物処理業者に委託してください。一般家庭でお使いの場合は、お客様がお住まいの地方自治体の条例に従って廃棄してください。
なお、詳しくは各自治体にお問い合わせください。

⚠注意　ケガをするおそれがあります。

このMFPのプリンタ部は重量が約26Kgありますので、2人以上で持ち上げてください。

使用済み消耗品の回収について

沖データでは環境保全と再資源化を目的として、使用済みの沖データ製品の消耗品とメンテナンスユニットの無料回収を行っています。
右の用紙をコピーし、必要事項を記入してFAX、もしくは、弊社のホームページ(http://www.okidata.co.jp)よりご連絡いただければ、お客様のところまで指定の宅配業者が回収におうかがいいたします。

（お願い）

- 包装箱やビニール袋は捨てずに保管し、ご使用済みの消耗品およびメンテナンスユニットの回収時に利用してください。
- カートリッジ1本でも回収にうかがいますが、地球環境への負荷をできるだけ低減させるためまとめ回収にご協力ください。
- できましたら、回収品の数が多い場合、不要になったダンボール箱などにまとめて頂くようお願いいたします。

皆様のご協力をお願いします。

FAX 0120-107995

沖データ回収センタ　宛

受付 No.　：
＊ 弊社にて記入いたしますので、お客様の記入は不要です。

西暦　　年　　月　　日

お客様名（会社名）：
ご担当者名　：
ご住所　：
お電話番号　：
回収ご希望日　：　　年　　月　　日

【お断り：受付時間以降にFAXされた場合、回収日がずれる場合があります。】

回収依頼品

品目	数量
イメージドラムカートリッジ　：	個
トナーカートリッジ　：	個
定着器オイルローラ　：	個
廃棄トナーボックス　：	個
転写ベルトユニット　：	個
定着器ユニット　：	個
インクリボンカートリッジ　：	個
その他マイクロライン消耗品　：	個

【*不要となったダンボール箱などにまとめて入れてください。】
まとめた箱の荷姿で合計　：　個口

ご不明な点は下記へご連絡ください。
沖データ回収センタ
TEL 024-594-2185
フリーダイヤル 0120-640991（携帯電話からもご利用いただけます）
受付時間：月～金曜日（祝日、弊社休日を除く）
9：00～12：00、13：00～17：00

仕様

主な仕様

スキャナー部

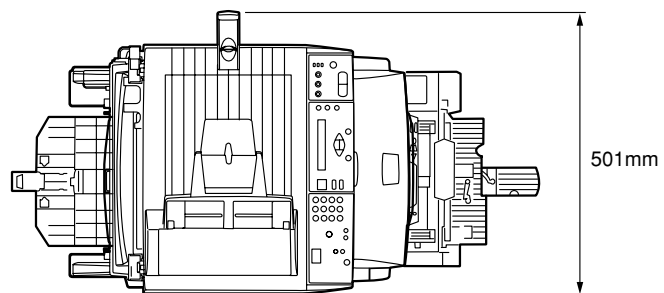
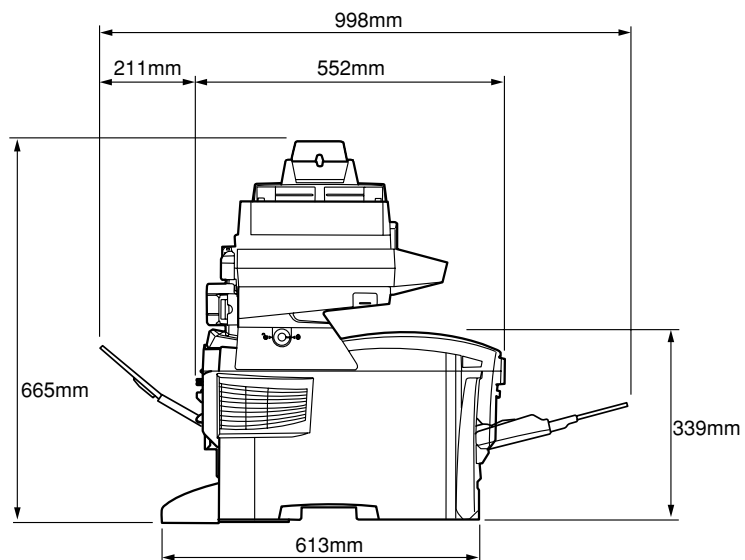
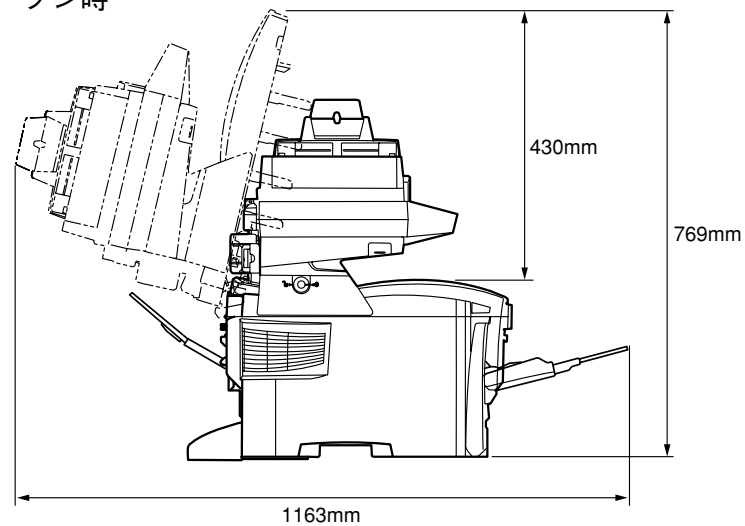
形式	A4フラットベッドカラースキャナー（ADF付き）
解像度	フラットベッド　600×600dpi　　ADF　600×600dpi
イメージセンサ	CCD、4 lines
CPU	TX4927(200MHz)
メモリ容量	64MB
光源	蛍光ランプ
カラー出力	24ビットカラー、8ビットグレースケール、4ビットCMYK、1ビットモノクロ
電源	AC100V―240V、50/60Hz±1Hz　　出力：DC24V 2A
消費電力	動作時　：最大36W 待機時　：最大24W 節電モード時　：最大18W
インタフェース	USB(Hi-Speed USBをサポート) 100 BASE-TX/10 BASE
読み取り領域	原稿台：216×297mm以下 ADF：幅114～140mm　長さ216～356mm
自動給紙原稿厚	60g/m^2～105g/m^2
装置寿命	スキャナー部本体：5年または5万回スキャン ADF：5年または20万回給紙 蛍光ランプ：1万時間以上
使用環境条件	10～35℃／10～85%RH（最高湿球温度25℃、最高乾球湿球温度差2℃）
重量	約6.2kg

プリンタ部

印刷方式	LED(発光ダイオード)を露光光源とする乾式電子写真記録方式
解像度	600ドット/インチ(LEDヘッド)
印刷色	イエロー、マゼンタ、シアン、黒の4色
CPU	PowerPC405PSプロセッサ(200MHz)
RAM容量	32MB(最大288MB)
対応OS	Windows Server2003/XP/Me/98/2000/NT4.0日本語版 *4 詳しくは動作環境をご覧ください。
印刷言語	HIPER-C（High Performance Color）
インタフェース	USB（Hi-Speed USBをサポート）
印刷速度 *1	カラー　：12ページ/分（普通紙、A4コピーモード時）、5ページ/分（OHPシート）、 7ページ/分（104kg(121g/m^2)以上の厚紙・官製はがき・ラベル紙）、 モノクロ：20ページ/分（普通紙、A4コピーモード時）、10ページ/分、（OHPシート）、 7ページ/分（104kg(121g/m^2)以上の厚紙・官製はがき・ラベル紙）、
用紙サイズ *2	A4、A5、A6、B5、レター、リーガル13インチ、リーガル13.5インチ、リーガル14インチ、 エグゼクティブ、カスタム、はがき、往復はがき、封筒（9種）
用紙種類 *2	普通紙（連量55～172kg）、官製はがき、封筒、ラベル紙、OHPシート
給紙方法 *2	用紙カセットによる自動給紙、マルチパーパストレイによる自動給紙と手差給紙
給紙容量	用紙カセット　:普通紙300枚／連量70kg　総厚30mm以下 マルチパーパストレイ :普通紙100枚／連量70kg　総厚10mm以下　はがき40枚,封筒10枚／坪量85g/m^2
排出方法 *2	フェイスアップ（表排出）／フェイスダウン（裏排出）
排出容量	フェイスアップ：約100枚／連量70kg　　フェイスダウン：約250枚／連量70kg
印刷保証範囲	用紙の端から6.35mm以上（封筒などの特殊な用紙は除く）
印刷精度	書き出し位置精度 ±2mm　用紙の斜行 ±1mm/100mm　画像伸縮 ±1mm/100mm(連量70kgの場合)
ウォーミングアップ時間	電源投入後90秒以内（25℃）
電源	AC100V±10%、50/60Hz±1Hz
消費電力	動作時　：最大950W、平均330W(25℃) 待機時　：最大850W、平均110W(25℃) 節電モード時　：最大16W
突入電流	70A以下(25℃)
使用環境条件	動作時：10～32℃／20～80%RH（最高湿球温度25℃、最高乾球湿球温度差2℃） 停止時：0～43℃／10～90%RH（最高湿球温度26.8℃、最高乾球湿球温度差2℃）
印刷品質保証条件	温度10℃時　湿度30～73%RH、温度32℃時　湿度30～54%RH、 湿度30%RH時　温度10～32℃、湿度80%RH時　温度10～27℃、 カラー印刷時　温度17～27℃、湿度50～70%RH
標準使用条件	平均電源ON時間　：220H／月　　平均印刷枚数　：4,000枚／月
消耗品・ﾒﾝﾃﾅﾝｽﾕﾆｯﾄ	トナーカートリッジ、イメージドラムカートリッジ、ベルトユニット、定着器ユニット
装置寿命	5年または42万ページ
総重量 *3	約26kg

*1：用紙のサイズ、種類、厚さ、給紙方法により、印刷速度は変わります。
*2：用紙のサイズ、種類、厚さにより、給紙方法、排出方法に制限があります。
*3：本体および消耗品を含みます。オプション、用紙重量は含みません。
*4：NT4.0は共有プリンタのクライアントのみです。

外形寸法

平面図

側面図

オープン時

ユーザーズマニュアルCD-ROMの内容

ユーザーズマニュアルCD-ROMには、次のマニュアルがPDF形式で収録されています。バージョン5以降のAcrobatに対応しています。
Adobe Readerは、MFPソフトウェアCD-ROMに収納されています。

- C5510MFPsetup.pdf :C5510MFPユーザーズマニュアル(セットアップ編)です。(本書)
- C5510MFPapp.pdf : C5510MFPユーザーズマニュアルの応用編です。

マニュアルをハードディスクにコピーして使う場合は、セットアップ編と応用編を同じフォルダに保存してご利用ください。

ユーザーズマニュアル（応用編）の内容

1 Windowsソフトウェア
- カラーユーティリティ
  - カラー調整ユーティリティ
  - 色見本印刷ユーティリティ
- ネットワークユーティリティ
  - OKIMFPネットワークセットアップツール
  - OKI LPRユーティリティ
  - Network Extension
  - PrintSuperVision
  - Web Driver Installer
  - Webブラウザ
- PaperPort9.0

2 いろいろな用紙に印刷するための設定
- はがき、往復はがき、封筒に印刷したい
- ラベル紙、OHPシートに印刷したい

3 便利な印刷機能
- 印刷をキャンセルしたい
- 複数ページを1枚に印刷したい
- 複数枚に拡大して印刷したい(ポスター印刷)
- 任意の用紙サイズに印刷したい(カスタムページ・長尺印刷)
- 表紙のみ別のトレイから給紙したい(表紙印刷)
- 用紙サイズを変更したい
- ウォーターマークを印刷したい(スタンプ印刷)
- 文書を部単位で印刷したい(丁合印刷)
- 高解像度で印刷したい
- 細線がかすれるのを防ぎたい
- プリンタドライバの設定を保存して、繰り返し使用したい
- プリンタドライバのデフォルトを変更したい
- トナーをセーブして試し印刷したい
- 写真やイラストをきれいに印刷したい

4 便利なスキャン機能
- Eメールアドレス帳を編集したい
- メールアドレス帳から検索して宛先を設定したい
- スキャンしてサーバに転送したい(スキャンTo FTP)
- スキャンしてサーバに転送したい(スキャン To HTTP)
- スキャンしてWindowsの共有フォルダに転送したい(スキャンTo CIFS)
- 解像度を変更してスキャンしたい
- 添付ファイル名を変えてEメールで送信したい
- 発信者名を設定してEメールを送信したい
- 返信先アドレスを設定してEメールを送信したい

索引

索 引

コ

サ

シ

ス

セ

ソ

タ

チ

テ

ト

ナ

ネ

索引

索引

オキカラーマルチファンクションプリンター

C5510MFP

ユーザーズマニュアル（セットアップ編）

発行日　2007年 2月　第2版
発行者　株式会社 沖データ

43304601EE

株式会社 沖データ
お客様相談センター
0120-654-632
(携帯電話からは03-5833-5710)

受付時間 9:00～20:00 月曜日～金曜日
9:00～17:00 土曜日
（但し 祝日を除く）